



横浜市敬老特別乗車証制度のあり方に関する検討専門分科会  
第4回 次第

日 時 令和元年 11 月 14 日 午後 2 時 00 分～  
場 所 横浜市技能文化会館 802 大研修室

1 開 会

2 審議事項

- (1) 利用者アンケート結果（速報値）
- (2) 市民アンケート結果
- (3) 三者負担の考え方
- (4) 対象者
- (5) 対象交通機関

3 閉 会



# 第4回

---

## 横浜市敬老特別乗車証制度の あり方に関する検討専門分科会

令和元年 11月14日

横浜市健康福祉局  
高齢健康福祉課



## 第4回 議事資料目次

---

### 1 利用者アンケート結果（速報値）

### 2 市民アンケート結果

### 3 三者負担の考え方

(1) 利用上限設定方式の試算

(2) 都度支払い方式の試算

### 4 対象者

(1) 年齢制限

(2) 所得制限

### 5 対象交通機関



# 1 利用者アンケート結果（速報値）①

## 1 調査の概要

- (1) 調査方法：納付書等とともに郵送配付  
    一 区役所・郵便局でパス交付時に回収
- (2) 調査対象：すでにパスを利用している一斉更新対象者 約40万人
- (3) 調査期間：9月2日～10月11日
- (4) 送付資料：・アンケート質問・回答用紙

## 2 回答状況

- (1) 回答数：50,000件（10月25日集計時点）  
    （参考）平成30年度アンケート回答数 168,350件



# 1 利用者アンケート結果（速報値）②

## 3 結果 …関係資料1参照

※全集計完了後の最終結果は第6回検討専門分科会でご報告します。

【問5】 次の交通機関を8月におおよそ何回利用したか

	月1	月2	月3	週1	週2	週3	週4	週5	週6	週7	利用 せず	無回答
乗合バス	1,716 3.4%	2,575 5.2%	2,900 5.8%	5,058 10.1%	9,621 19.2%	9,306 18.6%	5,463 10.9%	4,001 8.0%	2,013 4.0%	1,789 3.6%	1,834 3.7%	3,724 7.4%
市営 地下鉄	7,076 14.2%	5,042 10.1%	2,678 5.4%	4,993 10.0%	5,003 10.0%	3,099 6.2%	1,436 2.9%	894 1.8%	393 0.8%	310 0.6%	13,071 26.1%	6,005 12.0%
ツサイド ライン	2,738 5.5%	943 1.9%	461 0.9%	781 1.6%	644 1.3%	443 0.9%	236 0.5%	115 0.2%	52 0.1%	52 0.1%	32,403 64.8%	11,132 22.3%



# 1 利用者アンケート結果（速報値）③

【問5】 次の交通機関を8月におおよそ何回利用したか

※月平均利用回数

	総計	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
乗合バス	20.45	19.28	20.89	21.55	20.56	21.44
市営地下鉄	7.57	7.39	7.91	7.77	6.67	7.72
サイドライ	1.18	1.28	1.21	1.15	0.89	1.23

H30年度アンケートでは市営バスと民営バスで設問が分かれていましたが、今回アンケートでは両者を分けていないため、回数が減となったと見込まれます。

# 1 利用者アンケート結果（速報値）④

※月平均利用回数（区別）

	乗合バス	市営地下鉄		シーサイドライン	
	回数	回数	駅数	回数	駅数
総計	20.45	7.57	39駅	1.18	14駅
鶴見区	22.22	2.14		0.20	
神奈川区	20.96	8.78	3駅	0.38	
西区	23.44	7.17	2駅	0.35	
中区	24.14	6.36	4駅	0.60	
南区	20.56	12.17	3駅	0.69	
港南区	21.12	13.26	4駅	0.68	
保土ヶ谷区	21.49	3.97		0.27	
旭区	20.69	3.58		0.18	
磯子区	22.34	6.96		2.21	1駅
金沢区	16.42	3.99		8.42	13駅
港北区	18.95	10.56	7駅	0.25	
緑区	21.90	7.31	1駅	0.23	
青葉区	22.05	6.64	1駅	0.15	
都筑区	15.83	16.81	8駅	0.24	
戸塚区	20.81	8.63	2駅	0.29	
栄区	22.52	4.98		0.62	
泉区	15.73	11.07	4駅	0.27	
瀬谷区	18.23	4.14		0.35	
無回答	21.28	7.63		1.22	

（最多回数の区は黄色＋太枠、最少回数の区は水色）



## 2 市民アンケート結果①

---

### 1 調査の概要

- (1) 調査方法：郵送配付－郵送回収
- (2) 調査対象：20歳以上の市民 30,000人
- (3) 調査期間：8月20日～9月3日
- (4) 送付資料：
  - ・制度の現状に関する説明資料
  - ・アンケート質問用紙
  - ・回答用ハガキ

### 2 回答状況

- (1) 回答数（率）：10,381件（34.6%）





## 2 市民アンケート結果②

### 3 結果 …関係資料2参照

#### 【問1】年齢

年齢	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	合計
発送数	3,892	4,421	5,897	5,094	4,087	3,982	2,627	-	30,000
回答数	587	991	1,570	1,728	1,931	2,418	1,128	28	10,381
回答率	15.1%	22.4%	26.6%	33.9%	47.2%	60.7%	42.9%	-	34.6%

※年齢層ごとに回答率に差があるため、問17～22についてはウエイトバック集計を行っています。

#### <ウエイトバック集計とは>

回収されたサンプル（標本）を母集団の構成に合わせて集計する方法のこと。母集団と回収サンプルの構成比が異なる場合に、属性の抽出率や回収率の違いを補正し母集団構成比を復元する場合などに使用します。今回の調査も、ウエイトバック集計を行うことが妥当との見解を、専門業者から得ています。

## 2 市民アンケート結果③

### 【問7】主な移動手段

		【問7】移動手段							
		合計	自動車 (自分が 運転)	自動車 (家族等 が運転)	公共交通 機関 (鉄道)	公共交通 機関 (バス)	徒歩・ 自転車	その他	無回答
全体		3,546 100.0%	440 12.4%	196 5.5%	611 17.2%	1,756 49.5%	273 7.7%	131 3.7%	139 3.9%
【問14】 敬老パスの 有無	敬老パスあり	2,583 100.0%	162 6.3%	78 3.0%	402 15.6%	1,642 63.6%	140 5.4%	54 2.1%	105 4.1%
	敬老パスなし	833 100.0%	261 31.3%	106 12.7%	191 22.9%	57 6.8%	125 15.0%	70 8.4%	23 2.8%
	無回答	130 100.0%	17 13.1%	12 9.2%	18 13.8%	57 43.8%	8 6.2%	7 5.4%	11 8.5%

## 2 市民アンケート結果④

【問8】バスの利用回数（「問7主な移動手段」でバスと答えた場合のみ）

	合計	月1回	月2回	月3回	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回	週6回	週7回	利用しな かった	無回答
全体	2,659 100.0%	11 0.4%	56 2.1%	80 3.0%	200 7.5%	471 17.7%	547 20.6%	429 16.1%	462 17.4%	194 7.3%	157 5.9%	32 1.2%	20 0.8%
敬老バスあり	1,642 100.0%	8 0.5%	35 2.1%	52 3.2%	134 8.2%	338 20.6%	390 23.8%	284 17.3%	202 12.3%	85 5.2%	90 5.5%	10 0.6%	14 0.9%
敬老バスなし	57 100.0%	3 5.3%	7 12.3%	5 8.8%	9 15.8%	4 7.0%	7 12.3%	4 7.0%	3 5.3%	2 3.5%	2 3.5%	11 19.3%	0 0.0%
無回答	57 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 7.0%	10 17.5%	9 15.8%	15 26.3%	11 19.3%	3 5.3%	2 3.5%	0 0.0%	3 5.3%
70歳未満等 非該当	903 100.0%	0 0.0%	14 1.6%	23 2.5%	53 5.9%	119 13.2%	141 15.6%	126 14.0%	246 27.2%	104 11.5%	63 7.0%	11 1.2%	3 0.3%

※月平均利用回数

全体	【問14】敬老バスの交付			
	あり	なし	無回答	非該当
27.6	25.9	14.5	27.8	31.3

← 主な移動手段がバスであると回答した方の平均利用回数であるため、回数が多くなっていると考えられます。



## 2 市民アンケート結果⑤

### 【問17】利用者負担について

	ウイバ ック集計	単純集計	
利用者負担を増やすべきだと思う	39.6%	3,700	35.6%
利用者負担を減らすべきだと思う	9.8%	1,020	9.8%
現行水準を維持すべきだと思う	31.5%	3,660	35.3%
どちらともいえない	17.6%	1,833	17.7%
無回答	1.4%	168	1.6%

### 【問18】市費負担について

	ウイバ ック集計	単純集計	
市費負担（市税負担）を増やすべきだと思う	13.2%	1,388	13.4%
市費負担（市税負担）を減らすべきだと思う	25.7%	2,363	22.8%
現行水準を維持すべきだと思う	38.8%	4,239	40.8%
どちらともいえない	21.1%	2,240	21.6%
無回答	1.2%	151	1.5%

## 2 市民アンケート結果⑥

### 【問19】利用者負担の支払い方

	ウイバツ集計	単純集計	
乗車回数にかかわらず、 所得に応じて一定の負担額を支払う方（応能負担）がよい	32.8%	3,743	36.1%
所得にかかわらず、 乗車回数に応じて負担額を支払う方（応益負担）がよい	27.6%	2,629	25.3%
応能負担と応益負担の仕組みを組み合わせた方がよい	29.3%	2,817	27.1%
どちらともいえない	9.1%	1,034	10.0%
無回答	1.3%	158	1.5%

### 【問20】対象年齢について

	ウイバツ集計	単純集計	
年齢を引き上げる（例えば75歳以上など）方がよい	23.2%	2,382	22.9%
今のまま（70歳以上）でよい	62.5%	6,630	63.9%
年齢を引き下げる（例えば65歳以上など）方がよい	8.5%	770	7.4%
どちらともいえない	5.3%	526	5.1%
無回答	0.6%	73	0.7%



## 2 市民アンケート結果⑦

### 【問21】 所得制限について

	ウイトバック集計	単純集計	
所得制限を設けることもやむを得ないと思う	62.7%	6,334	61.0%
現行制度のまま、所得制限を設けるべきでないと思う	26.0%	2,828	27.2%
どちらともいえない	10.4%	1,111	10.7%
無回答	0.8%	108	1.0%

### 【問22】 対象交通機関について

	ウイトバック集計	単純集計	
市営バス、民営バスに限定するべき	20.0%	1,904	18.3%
市営地下鉄及び金沢シーサイドラインに限定するべき	1.7%	165	1.6%
今のままでよい	69.3%	7,428	71.6%
どちらともいえない	8.0%	771	7.4%
無回答	0.9%	113	1.1%

## 2 市民アンケート結果⑧

### 結果を踏まえた論点整理

※割合（％）はいずれもウエイトバック集計結果

#### ①利用者負担について

利用者負担を増やすべきだと思う	39.6%
利用者負担を減らすべきだと思う	9.8%
現行水準を維持すべきだと思う	31.5%
どちらともいえない	17.6%
無回答	1.4%

⇒「減らすべき」9.8%

「現行水準を維持すべき」31.5%で、  
合計すると「増やすべきではない」  
という意見が41.3%となる。

#### ②市費負担（市税負担）について

市費負担（市税負担）を増やすべきだと思う	13.2%
市費負担（市税負担）を減らすべきだと思う	25.7%
現行水準を維持すべきだと思う	38.8%
どちらともいえない	21.1%
無回答	1.2%

⇒「減らすべき」25.7%

「現行水準を維持すべき」38.8%で、  
合計すると「増やすべきではない」  
という意見が64.5%となる。

★論点：上記①・②を両立させるにはどう考えるか。

### 3 三者負担の考え方

## 応能負担・応益負担

	方式	代表都市	例
応能負担	フリーパス方式	横浜市・東京都・ 名古屋市・京都市	(京都市) 本人が市民税非課税の方…3,000円/年 ↑↓ 合計所得金額が700万円以上の方 …15,000円/年
応益負担	利用上限設定方式	札幌市・仙台市	(札幌市) 利用者納入金1,000円～17,000円で 10,000円～70,000円分利用可能
	都度支払い方式 (ワンコイン方式)	大阪市・神戸市	(大阪市) 利用者は乗車時に50円負担 (神戸市) 大人料金の半額負担(110円を上限)

➡ 今回は利用上限設定方式・都度支払い方式に着目して試算する。



### 3 三者負担の考え方

## 応能負担・応益負担に対する意見①

### 1 市民アンケート結果

n=10,381

回答	割合	
	単純集計	ウェイトバック
乗車回数にかかわらず、所得に応じて一定の負担額を支払う方（応能負担）がよい	36.1%	32.8%
所得にかかわらず、乗車回数に応じて負担額を支払う方（応益負担）がよい	25.3%	27.6%
応能負担と応益負担の仕組みを組み合わせた方がよい	27.1%	29.3%
どちらともいえない	10.0%	9.1%
無回答	1.5%	1.3%
合計	100.0%	100.0%

### 3 三者負担の考え方

## 応能負担・応益負担に対する意見②

### 2 利用者ヒアリングでの主な意見

#### (1) 応能負担がよい

- 支払金額が少々高くなってもこの制度（フリーパス）を続けてほしい。
- 応能負担は良い。使わないと損かもしれないが、決められた手続きで一度支払えばよい。あとは自由に使える。応益負担の場合はあとどれくらい乗れるのか自分で管理しないといけない。私たちの年齢ではそれが鬱陶しくなる。結果的には表に出たくなくなる。
- 利用回数が多くて所得が少ない人は応能の方がよい。低所得の方のことも考えてもらえるとありがたい。

### 3 三者負担の考え方

## 応能負担・応益負担に対する意見③

### 2 利用者ヒアリングでの主な意見

#### (2) 応益負担がよい

- 月に2、3回しか利用していないという人もいるので、神戸市のような応益負担もいいかなと思う。
- (利用回数に) 差があるなと痛感した。少ない人は2、3回、多い人は25回、差があるなら考えないといけないと思った。
- 利用者負担を払えばいくらでも使ってもいいというのは考えた方がいいのではないかな。ある程度使ったら頭打ちにして残りは実費を払ってもらうとか。

### 3 三者負担の考え方

#### (1) 利用上限設定方式の試算

- ①利用上限設定方式 (バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月25回)
- ②利用上限設定方式 (バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月25回)
- ③利用上限設定方式 (バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月25回)
- ④利用上限設定方式 (バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月20回)
- ⑤利用上限設定方式 (バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月20回)
- ⑥利用上限設定方式 (バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月20回)
- ⑦利用上限設定方式 (バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月15回)
- ⑧利用上限設定方式 (バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月15回)
- ⑨利用上限設定方式 (バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月15回)

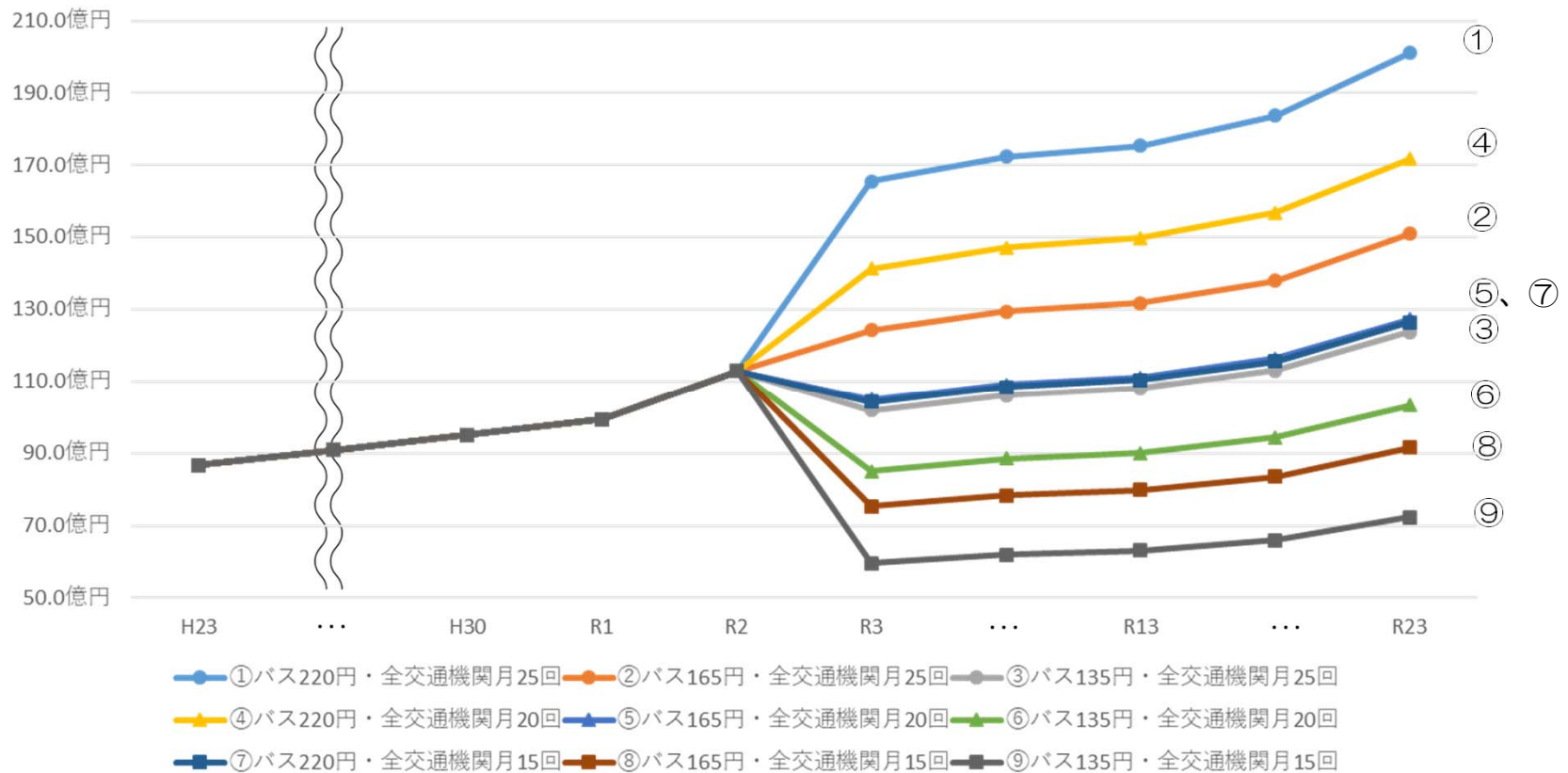


交付者数の増に対応するため、利用者負担を増額 (1.3倍)

### 3 三者負担の考え方

## (1) 利用上限設定方式の試算

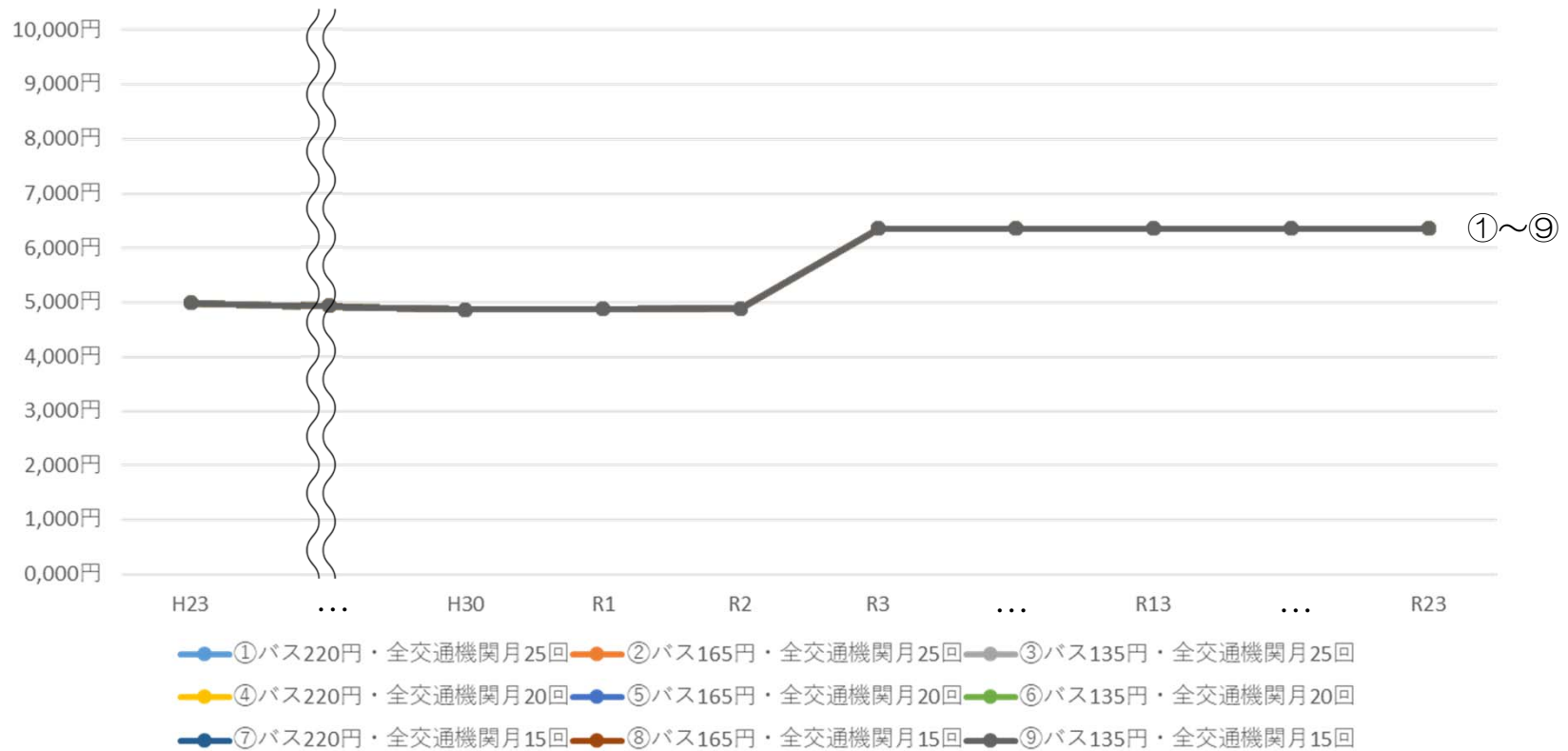
●市費負担（年額）



### 3 三者負担の考え方

## (1) 利用上限設定方式の試算

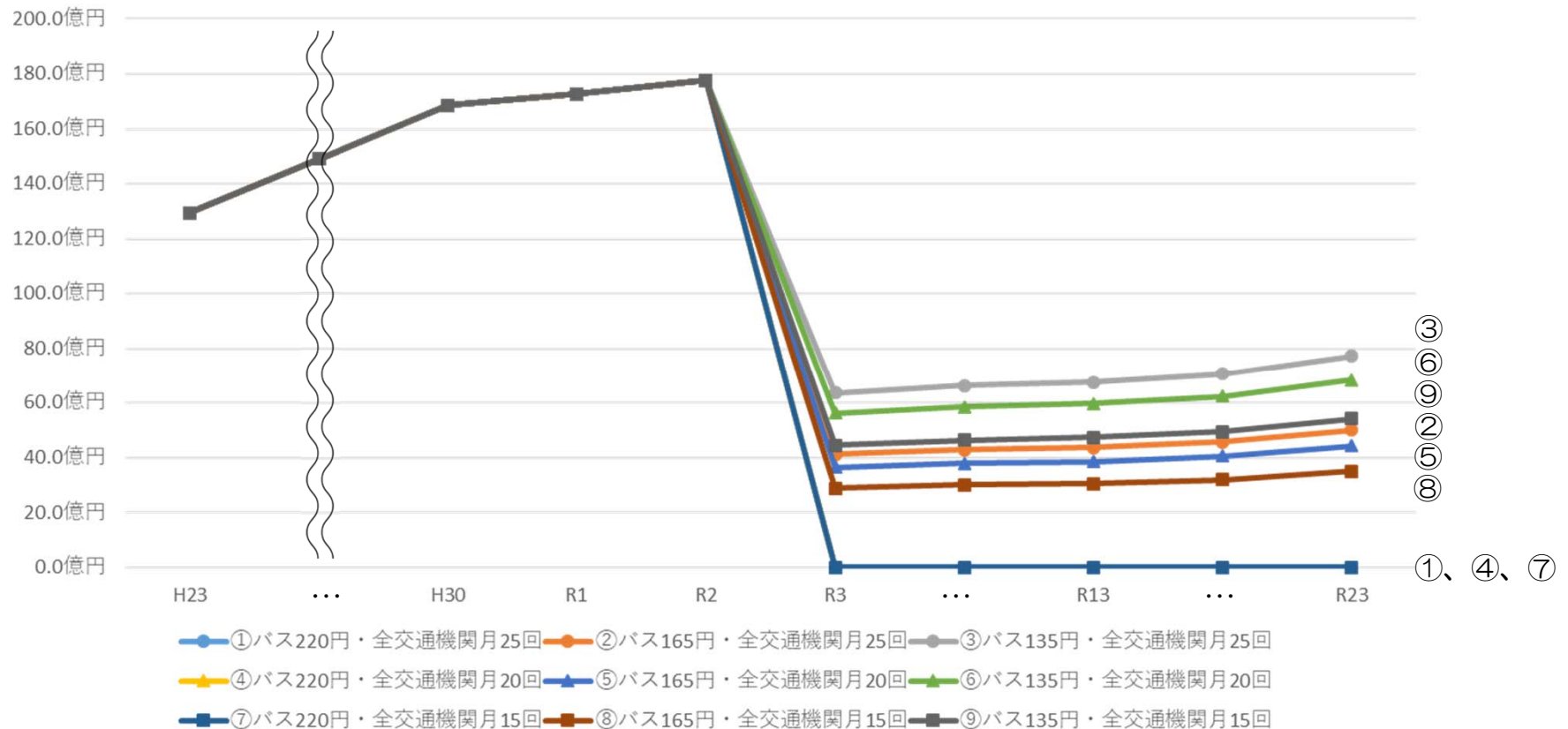
#### ●平均利用者負担



### 3 三者負担の考え方

## (1) 利用上限設定方式の試算

●バス事業者負担（年額）



### 3 三者負担の考え方

#### (1) ①利用上限設定方式

(バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月25回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-①参照

●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- バス単価を220円とする。
- 交付者一人当たりの月利用上限回数を25回とする。各交通機関の月の平均想定利用回数は次のとおり仮定。
- バス：21回、市営地下鉄：3.1回、金沢シーサイドライン：0.9回  
（補足）全体の月乗車回数を25回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを21回（20.5回を切り上げ）とし、残りの4回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未滿を考慮して試算する（別紙参照）。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する
- 交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- 利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3ポイント減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6ポイント減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6ポイント減少している。
- 事務費は除外



### 3 三者負担の考え方

#### (1) ①利用上限設定方式

(バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月25回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-①参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	412,790人	437,569人	501,478人
事業費	119.6億円	191.8億円	203.3億円	233.0億円
市費負担	99.4億円	165.5億円	175.4億円	201.0億円
利用者負担	20.2億円	26.3億円	27.8億円	31.9億円
平均利用者負担	4,886円	6,362円	6,362円	6,362円

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ①利用上限設定方式

(バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月25回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-①参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円
市費	83.7億円	142.1億円	150.7億円	172.7億円
利用者	17.0億円	22.6億円	23.9億円	27.4億円
バス事業者	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%
市費	30.6%	86.3%	86.3%	86.3%
利用者	6.2%	13.7%	13.7%	13.7%

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ②利用上限設定方式

(バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月25回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-②参照

●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- バス単価を165円とする。
- 交付者一人当たりの月利用上限回数を25回とする。各交通機関の月の平均想定利用回数は次のとおり仮定。
- バス：21回、市営地下鉄：3.1回、金沢シーサイドライン：0.9回  
（補足）全体の月乗車回数を25回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを21回（20.5回を切り上げ）とし、残りの4回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未滿を考慮して試算する（別紙参照）。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する
- 交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- 利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3ポイント減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6ポイント減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6ポイント減少している。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ②利用上限設定方式

(バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月25回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-②参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	412,790人	437,569人	501,478人
事業費	119.6億円	150.6億円	159.6億円	182.9億円
市費負担	99.4億円	124.3億円	131.8億円	151.0億円
利用者負担	20.2億円	26.3億円	27.8億円	31.9億円
平均利用者負担	4,886円	6,362円	6,362円	6,362円

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ②利用上限設定方式

(バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月25回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-②参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	41.2億円	43.7億円	50.0億円
市費	83.7億円	102.0億円	108.1億円	123.9億円
利用者	17.0億円	21.6億円	22.8億円	26.2億円
バス事業者	63.2%	25.0%	25.0%	25.0%
市費	30.6%	61.9%	61.9%	61.9%
利用者	6.2%	13.1%	13.1%	13.1%

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ③利用上限設定方式

(バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月25回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-③参照

●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- バス単価を135円とする。
- 交付者一人当たりの月利用上限回数を25回とする。各交通機関の月の平均想定利用回数は次のとおり仮定。
- バス：21回、市営地下鉄：3.1回、金沢シーサイドライン：0.9回  
（補足）全体の月乗車回数を25回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを21回（20.5回を切り上げ）とし、残りの4回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未滿を考慮して試算する（別紙参照）。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する
- 交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- 利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3ポイント減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6ポイント減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6ポイント減少している。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ③利用上限設定方式

(バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月25回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-③参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	412,790人	437,569人	501,478人
事業費	119.6億円	128.1億円	135.8億円	155.6億円
市費負担	99.4億円	101.8億円	108.0億円	123.7億円
利用者負担	20.2億円	26.3億円	27.8億円	31.9億円
平均利用者負担	4,886円	6,362円	6,362円	6,362円

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ③利用上限設定方式

(バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月25回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-③参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	63.6億円	67.5億円	77.3億円
市費	83.7億円	80.3億円	85.3億円	97.7億円
利用者	17.0億円	20.8億円	21.9億円	25.2億円
バス事業者	63.2%	38.6%	38.6%	38.6%
市費	30.6%	48.8%	48.8%	48.8%
利用者	6.2%	12.6%	12.6%	12.6%



### 3 三者負担の考え方

#### (1) ④利用上限設定方式

(バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月20回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-④参照

●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- バス単価を220円とする。
- 交付者一人当たりの月利用上限回数を20回とする。各交通機関の月の平均想定利用回数は次のとおり仮定。
- バス：17回、市営地下鉄：2.3回、金沢シーサイドライン：0.7回  
（補足）全体の月乗車回数を20回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを17回（16.4回を切り上げ）とし、残りの3回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未滿を考慮して試算する（別紙参照）。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する
- 交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- 利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3ポイント減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6ポイント減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6ポイント減少している。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ④利用上限設定方式

(バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月20回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-④参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	412,790人	437,569人	501,478人
事業費	119.6億円	166.9億円	173.8億円	202.8億円
市費負担	99.4億円	140.6億円	146.4億円	170.8億円
利用者負担	20.2億円	26.3億円	27.8億円	31.9億円
平均利用者負担	4,886円	6,362円	6,362円	6,362円

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ④利用上限設定方式

(バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月20回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-④参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円
市費	83.7億円	122.8億円	130.2億円	149.2億円
利用者	17.0億円	23.0億円	24.3億円	27.9億円
バス事業者	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%
市費	30.6%	84.2%	84.3%	84.3%
利用者	6.2%	15.8%	15.7%	15.7%

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑤利用上限設定方式

(バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月20回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑤参照

●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- バス単価を165円とする。
- 交付者一人当たりの月利用上限回数を20回とする。各交通機関の月の平均想定利用回数は次のとおり仮定。
- バス：17回、市営地下鉄：2.3回、金沢シーサイドライン：0.7回  
（補足）全体の月乗車回数を20回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを17回（16.4回を切り上げ）とし、残りの3回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未滿を考慮して試算する（別紙参照）。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する
- 交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- 利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3ポイント減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6ポイント減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6ポイント減少している。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑤利用上限設定方式

(バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月20回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑤参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	412,790人	437,569人	501,478人
事業費	119.6億円	130.5億円	138.3億円	158.5億円
市費負担	99.4億円	104.2億円	110.5億円	126.6億円
利用者負担	20.2億円	26.3億円	27.8億円	31.9億円
平均利用者負担	4,886円	6,362円	6,362円	6,362円

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑤利用上限設定方式

(バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月20回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑤参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	36.4億円	38.6億円	44.3億円
市費	83.7億円	87.3億円	92.5億円	106.1億円
利用者	17.0億円	22.0億円	23.3億円	26.7億円
バス事業者	63.2%	25.0%	25.0%	25.0%
市費	30.6%	59.9%	59.9%	59.9%
利用者	6.2%	15.1%	15.1%	15.1%

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑥利用上限設定方式

(バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月20回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑥参照

●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- バス単価を135円とする。
- 交付者一人当たりの月利用上限回数を20回とする。各交通機関の月の平均想定利用回数は次のとおり仮定。
- バス：17回、市営地下鉄：2.3回、金沢シーサイドライン：0.7回  
（補足）全体の月乗車回数を20回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを17回（16.4回を切り上げ）とし、残りの3回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未滿を考慮して試算する（別紙参照）。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する
- 交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- 利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3ポイント減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6ポイント減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6ポイント減少している。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑥利用上限設定方式

(バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月20回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑥参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	412,790人	437,569人	501,478人
事業費	119.6億円	110.6億円	117.2億円	134.3億円
市費負担	99.4億円	84.3億円	89.4億円	102.4億円
利用者負担	20.2億円	26.3億円	27.8億円	31.9億円
平均利用者負担	4,886円	6,362円	6,362円	6,362円



### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑥利用上限設定方式

(バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月20回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑥参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	56.3億円	59.7億円	68.4億円
市費	83.7億円	68.2億円	72.3億円	82.8億円
利用者	17.0億円	21.3億円	22.5億円	25.8億円
バス事業者	63.2%	38.6%	38.6%	38.6%
市費	30.6%	46.8%	46.8%	46.8%
利用者	6.2%	14.6%	14.6%	14.6%

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑦利用上限設定方式

(バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月15回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑦参照

●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- バス単価を220円とする。
- 交付者一人当たりの月利用上限回数を15回とする。各交通機関の月の平均想定利用回数は次のとおり仮定。
- バス：13回、市営地下鉄：1.6回、金沢シーサイドライン：0.4回  
（補足）全体の月乗車回数を15回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを13回（12.3回を切り上げ）とし、残りの3回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未滿を考慮して試算する（別紙参照）。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する
- 交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- 利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3ポイント減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6ポイント減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6ポイント減少している。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑦利用上限設定方式

(バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月15回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑦参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	412,790人	437,569人	501,478人
事業費	119.6億円	130.3億円	138.2億円	158.3億円
市費負担	99.4億円	104.1億円	110.3億円	126.4億円
利用者負担	20.2億円	26.3億円	27.8億円	31.9億円
平均利用者負担	4,886円	6,362円	6,362円	6,362円

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑦利用上限設定方式

(バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月15回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑦参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円
市費	83.7億円	92.2億円	97.8億円	111.9億円
利用者	17.0億円	23.3億円	24.6億円	28.3億円
バス事業者	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%
市費	30.6%	79.8%	79.9%	79.8%
利用者	6.2%	20.2%	20.1%	20.2%

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑧利用上限設定方式

(バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月15回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑧参照

●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- バス単価を165円とする。
- 交付者一人当たりの月利用上限回数を15回とする。各交通機関の月の平均想定利用回数は次のとおり仮定。
- バス：13回、市営地下鉄：1.6回、金沢シーサイドライン：0.4回  
（補足）全体の月乗車回数を15回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを13回（12.3回を切り上げ）とし、残りの3回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未滿を考慮して試算する（別紙参照）。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する
- 交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- 利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3ポイント減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6ポイント減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6ポイント減少している。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑧利用上限設定方式

(バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月15回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑧参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	412,790人	437,569人	501,478人
事業費	119.6億円	101.5億円	107.6億円	123.3億円
市費負担	99.4億円	75.2億円	79.7億円	91.4億円
利用者負担	20.2億円	26.3億円	27.8億円	31.9億円
平均利用者負担	4,886円	6,362円	6,362円	6,362円

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑧利用上限設定方式

(バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月15回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑧参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	28.9億円	30.6億円	35.1億円
市費	83.7億円	64.2億円	68.0億円	78.0億円
利用者	17.0億円	22.4億円	23.7億円	27.2億円
バス事業者	63.2%	25.0%	25.0%	25.0%
市費	30.6%	55.6%	55.6%	55.6%
利用者	6.2%	19.4%	19.4%	19.4%

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑨利用上限設定方式

(バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月15回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑨参照

●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- バス単価を135円とする。
- 交付者一人当たりの月利用上限回数を15回とする。各交通機関の月の平均想定利用回数は次のとおり仮定。
- バス：13回、市営地下鉄：1.6回、金沢シーサイドライン：0.4回  
（補足）全体の月乗車回数を15回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを13回（12.3回を切り上げ）とし、残りの3回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未滿を考慮して試算する（別紙参照）。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する
- 交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- 利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3ポイント減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6ポイント減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6ポイント減少している。
- 事務費は除外



### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑨利用上限設定方式

(バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月15回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑨参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	412,790人	437,569人	501,478人
事業費	119.6億円	85.7億円	90.9億円	104.2億円
市費負担	99.4億円	59.5億円	63.0億円	72.3億円
利用者負担	20.2億円	26.3億円	27.8億円	31.9億円
平均利用者負担	4,886円	6,362円	6,362円	6,362円

### 3 三者負担の考え方

#### (1) ⑨利用上限設定方式

(バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月15回・利用者負担1.3倍)

…関係資料3-1-⑨参照

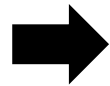
●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	44.6億円	47.3億円	54.2億円
市費	83.7億円	49.1億円	52.1億円	59.7億円
利用者	17.0億円	21.7億円	23.0億円	26.4億円
バス事業者	63.2%	38.6%	38.6%	38.6%
市費	30.6%	42.5%	42.6%	42.6%
利用者	6.2%	18.8%	18.8%	18.8%

### 3 三者負担の考え方

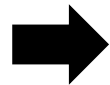
## (2) 都度支払い方式の試算

- ①都度支払い方式（バス1乗車あたり負担：利用者110円・市費110円・事業者 0円）
- ②都度支払い方式（バス1乗車あたり負担：利用者110円・市費 55円・事業者55円）
- ③都度支払い方式（バス1乗車あたり負担：利用者110円・市費 25円・事業者85円）



全交通機関の月乗車想定回数10回

- ④都度支払い方式（バス1乗車あたり負担：利用者 50円・市費170円・事業者 0円）
- ⑤都度支払い方式（バス1乗車あたり負担：利用者 50円・市費115円・事業者55円）
- ⑥都度支払い方式（バス1乗車あたり負担：利用者 50円・市費 85円・事業者85円）



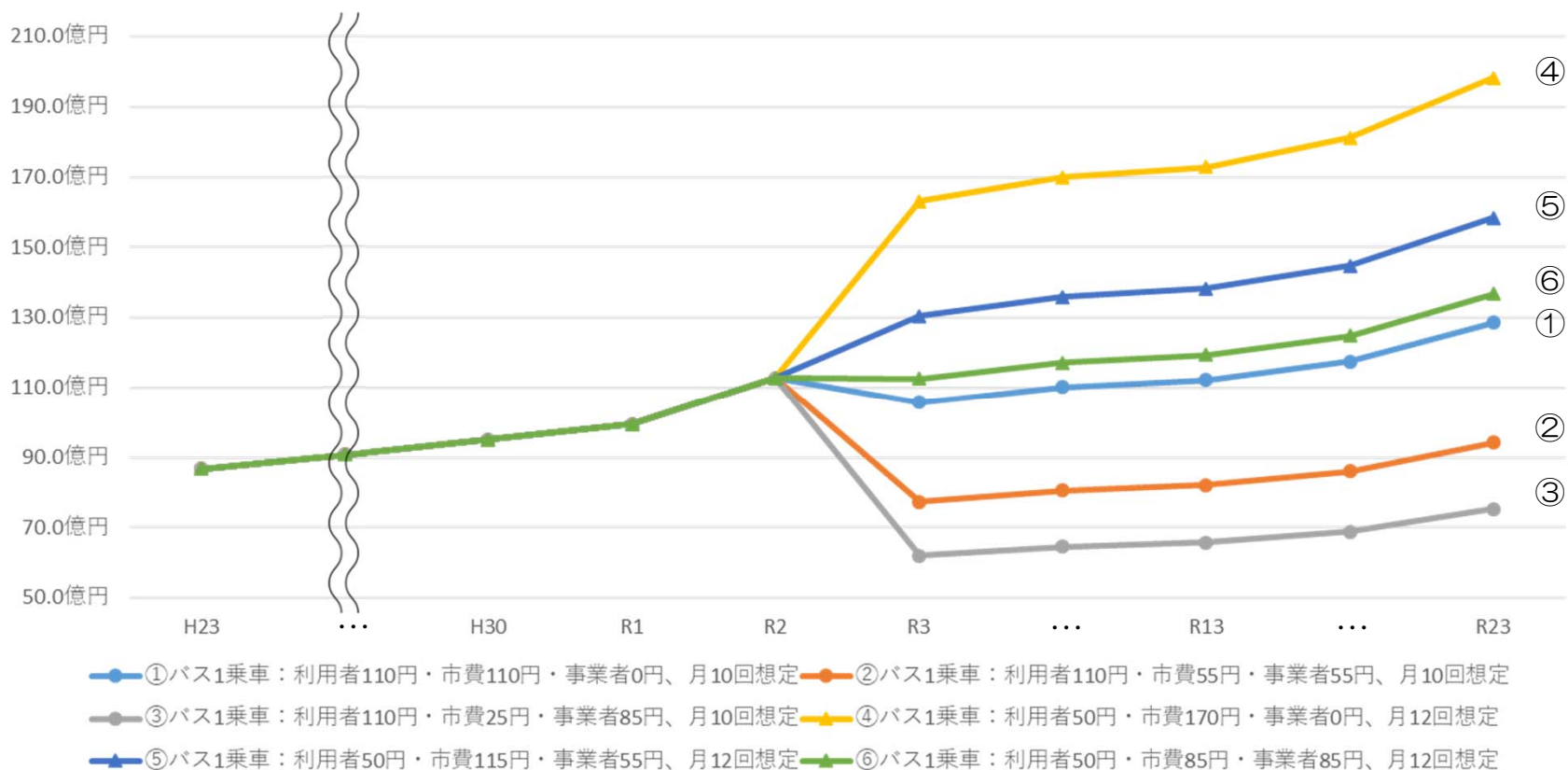
全交通機関の月乗車想定回数12回

### 3 三者負担の考え方

## (2) 都度支払い方式の試算

●市費負担（年額）

下記はあくまで仮定の乗車回数（月10回又は12回）の場合の市費負担を示しており、利用回数によって増減することに注意が必要

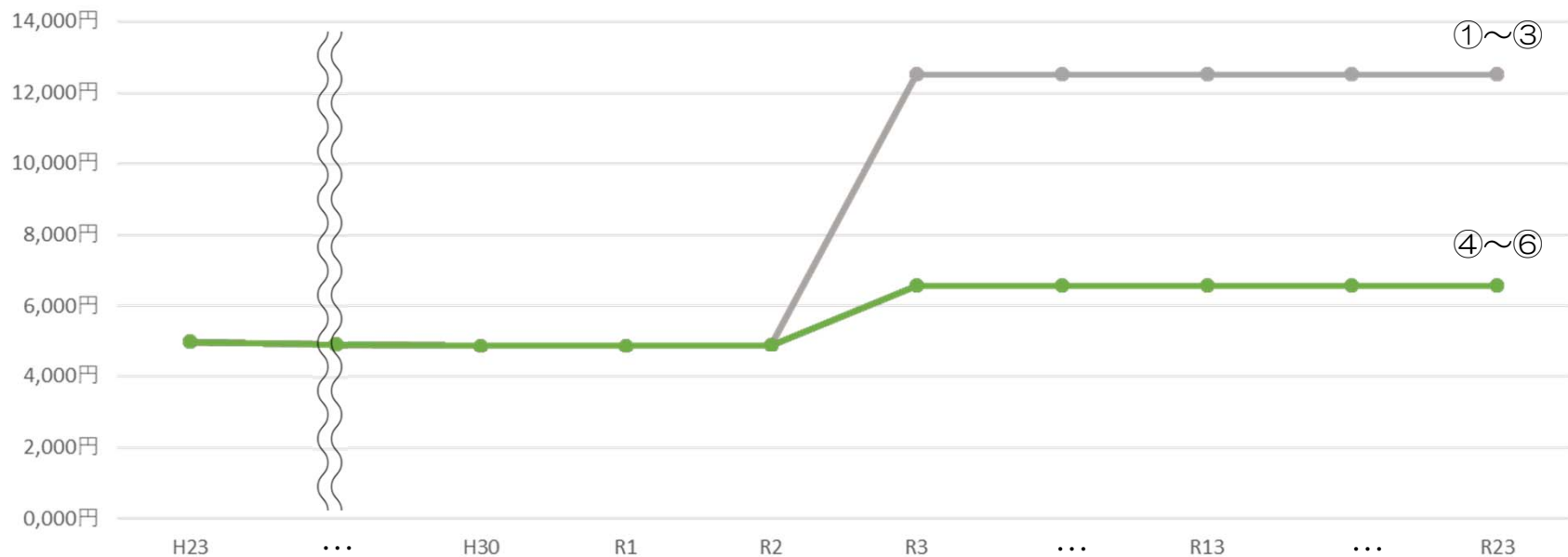


### 3 三者負担の考え方

## (2) 都度支払い方式の試算

#### ● 平均利用者負担

下記はあくまで仮定の乗車回数（月10回又は12回）の場合の平均利用者負担を示しており、利用回数によって増減することに注意が必要



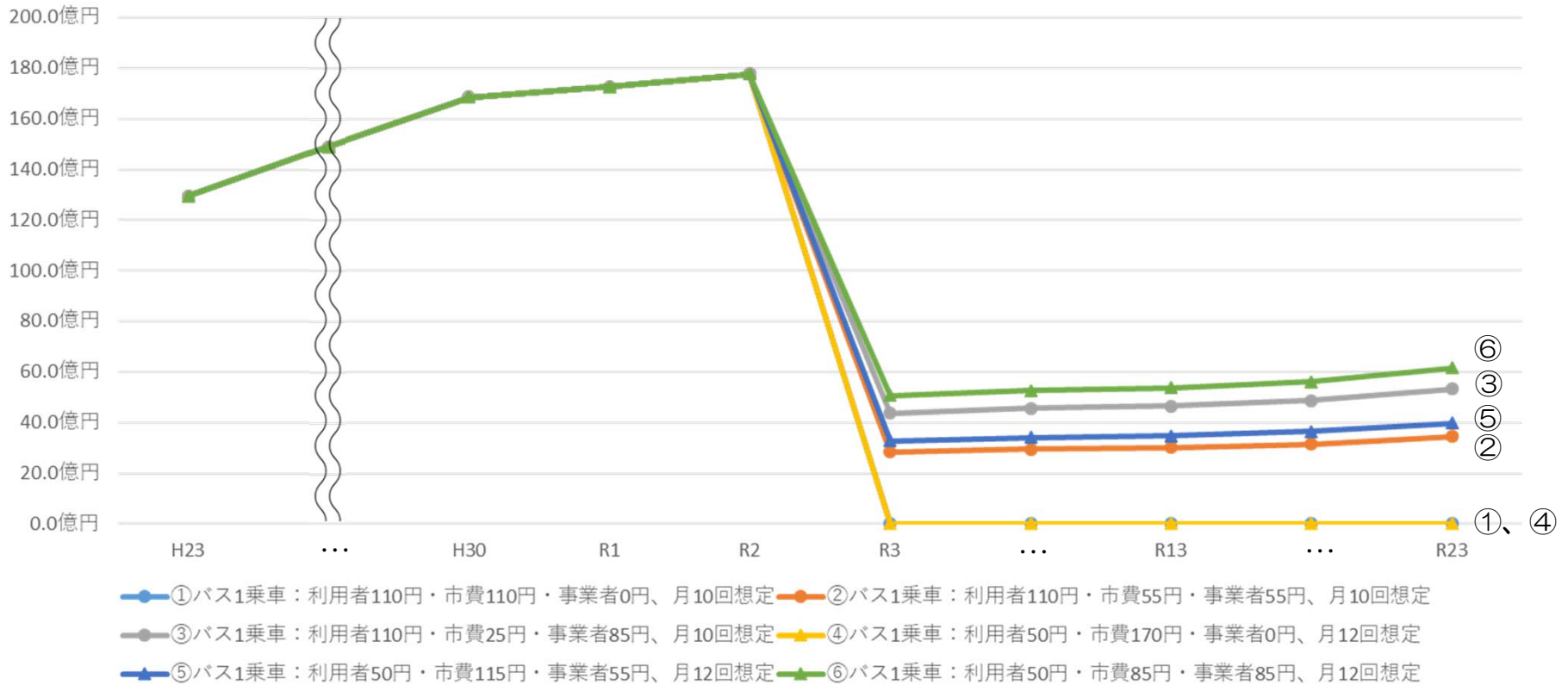
- ①バス1乗車：利用者110円・市費110円・事業者0円、月10回想定
- ②バス1乗車：利用者110円・市費55円・事業者55円、月10回想定
- ③バス1乗車：利用者110円・市費25円・事業者85円、月10回想定
- ④バス1乗車：利用者50円・市費170円・事業者0円、月12回想定
- ⑤バス1乗車：利用者50円・市費115円・事業者55円、月12回想定
- ⑥バス1乗車：利用者50円・市費85円・事業者85円、月12回想定

### 3 三者負担の考え方

## (2) 都度支払い方式の試算

#### ●バス事業者負担（年額）

下記はあくまで仮定の乗車回数（月10回又は12回）の場合のバス事業者負担を示しており、利用回数によって増減することに注意が必要



## 3 三者負担の考え方

### (2) ①都度支払い方式

(バス1乗車：利用者110円・市費110円・事業者0円、全交通機関月乗車想定回数10回)

…関係資料3-2-①参照

#### ●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- 1乗車ごとの利用者単価は小児運賃額と同等とし、市費負担額は次のとおりとする。
  - バス：利用者負担額110円、市費負担額110円、バス事業者負担0円
  - 市営地下鉄：利用者負担額130円、市費負担額120円
  - 金沢シーサイドライン：利用者負担額150円、市費負担額150円ただし、現行無料区分の方には月29回上限の回数券を別途交付する（想定月利用回数はバス約20回、地下鉄約8回、シーサイド約1回）。
- 無料区分以外の方の平均月乗車回数は10回を想定。各交通機関の内訳は次のとおり。  
バス：7.0回、市営地下鉄：2.6回、金沢シーサイドライン：0.4回  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）を活用し、各交通機関で別紙のとおり分布すると試算。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。
- 乗車の都度、正規運賃から割り引かれた金額を支払いする方式になるため、交付者数が増加（R3年に交付率が58.43%から70%に増加すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）交付率は他都市の状況から推計。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方

#### (2) ①都度支払い方式

(バス1乗車：利用者110円・市費110円・事業者0円、全交通機関月乗車想定回数10回)

…関係資料3-2-①参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	521,293人	552,586人	633,293人
事業費	119.6億円	171.0億円	181.3億円	207.8億円
市費負担	99.4億円	105.8億円	112.2億円	128.5億円
利用者負担	20.2億円	65.2億円	69.1億円	79.2億円
平均利用者負担	4,886円	12,508円	12,508円	12,508円



### 3 三者負担の考え方

#### (2) ①都度支払い方式

(バス1乗車：利用者110円・市費110円・事業者0円、全交通機関月乗車想定回数10回)

…関係資料3-2-①参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円
市費	83.7億円	69.5億円	73.7億円	84.4億円
利用者	17.0億円	44.0億円	46.6億円	53.4億円
バス事業者	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%
市費	30.6%	61.2%	61.2%	61.2%
利用者	6.2%	38.8%	38.8%	38.8%

## 3 三者負担の考え方

### (2) ②都度支払い方式

(バス1乗車：利用者110円・市費55円・事業者55円、全交通機関月乗車想定回数10回)

…関係資料3-2-②参照

#### ●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- 1乗車ごとの利用者単価は小児運賃額と同等とし、市費負担額は次のとおりとする。
  - バス：利用者負担額110円、市費負担額55円、バス事業者負担55円
  - 市営地下鉄：利用者負担額130円、市費負担額120円
  - 金沢シーサイドライン：利用者負担額150円、市費負担額150円ただし、現行無料区分の方には月29回上限の回数券を別途交付する（想定月利用回数はバス約20回、地下鉄約8回、シーサイド約1回）。
- 無料区分以外の方の平均月乗車回数は10回を想定。各交通機関の内訳は次のとおり。  
バス：7.0回、市営地下鉄：2.6回、金沢シーサイドライン：0.4回  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）を活用し、各交通機関で別紙のとおり分布すると試算。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。
- 乗車の都度、正規運賃から割り引かれた金額を支払いする方式になるため、交付者数が増加（R3年に交付率が58.43%から70%に増加すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）交付率は他都市の状況から推計。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方 (2) ②都度支払い方式

(バス1乗車：利用者110円・市費55円・事業者55円、全交通機関月乗車想定回数10回)

…関係資料3-2-②参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	521,293人	552,586人	633,293人
事業費	119.6億円	142.6億円	151.2億円	173.3億円
市費負担	99.4億円	77.4億円	82.1億円	94.1億円
利用者負担	20.2億円	65.2億円	69.1億円	79.2億円
平均利用者負担	4,886円	12,508円	12,508円	12,508円

### 3 三者負担の考え方

#### (2) ②都度支払い方式

(バス1乗車：利用者110円・市費55円・事業者55円、全交通機関月乗車想定回数10回)

…関係資料3-2-②参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	28.4億円	30.1億円	34.5億円
市費	83.7億円	41.1億円	43.6億円	49.9億円
利用者	17.0億円	44.0億円	46.6億円	53.4億円
バス事業者	63.2%	25.0%	25.0%	25.0%
市費	30.6%	36.2%	36.2%	36.2%
利用者	6.2%	38.8%	38.8%	38.8%

## 3 三者負担の考え方

### (2) ③都度支払い方式

(バス1乗車：利用者110円・市費25円・事業者85円、全交通機関月乗車想定回数10回)

…関係資料3-2-③参照

#### ●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- 1乗車ごとの利用者単価は小児運賃額と同等とし、市費負担額は次のとおりとする。
  - バス：利用者負担額110円、市費負担額25円、バス事業者負担85円
  - 市営地下鉄：利用者負担額130円、市費負担額120円
  - 金沢シーサイドライン：利用者負担額150円、市費負担額150円ただし、現行無料区分の方には月29回上限の回数券を別途交付する（想定月利用回数はバス約20回、地下鉄約8回、シーサイド約1回）。
- 無料区分以外の方の平均月乗車回数は10回を想定。各交通機関の内訳は次のとおり。  
バス：7.0回、市営地下鉄：2.6回、金沢シーサイドライン：0.4回  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）を活用し、各交通機関で別紙のとおり分布すると試算。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。
- 乗車の都度、正規運賃から割り引かれた金額を支払いする方式になるため、交付者数が増加（R3年に交付率が58.43%から70%に増加すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）交付率は他都市の状況から推計。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方 (2) ③都度支払い方式

(バス1乗車：利用者110円・市費25円・事業者85円、全交通機関月乗車想定回数10回)

…関係資料3-2-③参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	521,293人	552,586人	633,293人
事業費	119.6億円	127.2億円	134.8億円	154.5億円
市費負担	99.4億円	62.0億円	65.7億円	75.3億円
利用者負担	20.2億円	65.2億円	69.1億円	79.2億円
平均利用者負担	4,886円	12,508円	12,508円	12,508円

### 3 三者負担の考え方

#### (2) ③都度支払い方式

(バス1乗車：利用者110円・市費25円・事業者85円、全交通機関月乗車想定回数10回)

…関係資料3-2-③参照

#### ●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	43.8億円	46.5億円	53.2億円
市費	83.7億円	25.6億円	27.2億円	31.1億円
利用者	17.0億円	44.0億円	46.6億円	53.4億円
バス事業者	63.2%	38.6%	38.6%	38.6%
市費	30.6%	22.6%	22.6%	22.6%
利用者	6.2%	38.8%	38.8%	38.8%

### 3 三者負担の考え方

#### (2) ④都度支払い方式

(バス1乗車：利用者50円・市費170円・事業者0円、全交通機関月乗車想定回数12回)

…関係資料3-2-④参照

#### ●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- 1乗車ごとの利用者単価は50円とし、市費負担額は次のとおりとする。
  - バス：利用者負担額50円、市費負担額170円、バス事業者負担0円
  - 市営地下鉄：利用者負担額50円、市費負担額200円
  - 金沢シーサイドライン：利用者負担額50円、市費負担額250円ただし、現行無料区分の方には月29回上限の回数券を別途交付する（想定月利用回数はバス約20回、地下鉄約8回、シーサイド約1回）。
- 無料区分以外の方の平均月乗車回数は12回を想定。各交通機関の内訳は次のとおり。  
バス：8.4回、市営地下鉄：3.1回、金沢シーサイドライン：0.5回  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）を活用し、各交通機関で別紙のとおり分布すると試算。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。
- 乗車の都度、正規運賃から割り引かれた金額を支払いする方式になるため、交付者数が増加（R3年に交付率が58.43%から70%に増加すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）交付率は他都市の状況から推計。
- 事務費は除外



### 3 三者負担の考え方 (2) ④都度支払い方式

(バス1乗車：利用者50円・市費170円・事業者0円、全交通機関月乗車想定回数12回)

…関係資料3-2-④参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	521,293人	552,586人	633,293人
事業費	119.6億円	197.4億円	209.2億円	239.8億円
市費負担	99.4億円	163.1億円	172.9億円	198.2億円
利用者負担	20.2億円	34.3億円	36.3億円	41.6億円
平均利用者負担	4,886円	6,571円	6,571円	6,571円

### 3 三者負担の考え方

#### (2) ④都度支払い方式

(バス1乗車：利用者50円・市費170円・事業者0円、全交通機関月乗車想定回数12回)

…関係資料3-2-④参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円
市費	83.7億円	107.1億円	113.4億円	130.1億円
利用者	17.0億円	24.0億円	25.5億円	29.1億円
バス事業者	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%
市費	30.6%	81.7%	81.7%	81.7%
利用者	6.2%	18.3%	18.3%	18.3%

### 3 三者負担の考え方

#### (2) ⑤都度支払い方式

(バス1乗車：利用者50円・市費115円・事業者55円、全交通機関月乗車想定回数12回)

…関係資料3-2-⑤参照

#### ●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- 1乗車ごとの利用者単価は50円とし、市費負担額は次のとおりとする。
  - バス：利用者負担額50円、市費負担額115円、バス事業者負担55円
  - 市営地下鉄：利用者負担額50円、市費負担額200円
  - 金沢シーサイドライン：利用者負担額50円、市費負担額250円ただし、現行無料区分の方には月29回上限の回数券を別途交付する（想定月利用回数はバス約20回、地下鉄約8回、シーサイド約1回）。
- 無料区分以外の方の平均月乗車回数は12回を想定。各交通機関の内訳は次のとおり。  
バス：8.4回、市営地下鉄：3.1回、金沢シーサイドライン：0.5回  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）を活用し、各交通機関で別紙のとおり分布すると試算。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。
- 乗車の都度、正規運賃から割り引かれた金額を支払いする方式になるため、交付者数が増加（R3年に交付率が58.43%から70%に増加すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）交付率は他都市の状況から推計。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方 (2) ⑤都度支払い方式

(バス1乗車：利用者50円・市費115円・事業者55円、全交通機関月乗車想定回数12回)

…関係資料3-2-⑤参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	521,293人	552,586人	633,293人
事業費	119.6億円	164.6億円	174.5億円	200.0億円
市費負担	99.4億円	130.4億円	138.2億円	158.4億円
利用者負担	20.2億円	34.3億円	36.3億円	41.6億円
平均利用者負担	4,886円	6,571円	6,571円	6,571円

### 3 三者負担の考え方

#### (2) ⑤都度支払い方式

(バス1乗車：利用者50円・市費115円・事業者55円、全交通機関月乗車想定回数12回)

…関係資料3-2-⑤参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	32.8億円	34.7億円	39.8億円
市費	83.7億円	74.3億円	78.8億円	90.2億円
利用者	17.0億円	24.0億円	25.5億円	29.1億円
バス事業者	63.2%	25.0%	25.0%	25.0%
市費	30.6%	56.7%	56.7%	56.7%
利用者	6.2%	18.3%	18.3%	18.3%

# 3 三者負担の考え方

## (2) ⑥都度支払い方式

(バス1乗車：利用者50円・市費85円・事業者85円、全交通機関月乗車想定回数12回)

…関係資料3-2-⑥参照

### ●前提条件（あくまで試算であり、設定次第で数字が変動することに留意する必要がある）

- R3年に制度改正
- 1乗車ごとの利用者単価は50円とし、市費負担額は次のとおりとする。
  - バス：利用者負担額50円、市費負担額85円、バス事業者負担85円
  - 市営地下鉄：利用者負担額50円、市費負担額200円
  - 金沢シーサイドライン：利用者負担額50円、市費負担額250円ただし、現行無料区分の方には月29回上限の回数券を別途交付する（想定月利用回数はバス約20回、地下鉄約8回、シーサイド約1回）。
- 無料区分以外の方の平均月乗車回数は12回を想定。各交通機関の内訳は次のとおり。  
バス：8.4回、市営地下鉄：3.1回、金沢シーサイドライン：0.5回  
ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）を活用し、各交通機関で別紙のとおり分布すると試算。
- 実際のバスマ月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。
- 乗車の都度、正規運賃から割り引かれた金額を支払いする方式になるため、交付者数が増加（R3年に交付率が58.43%から70%に増加すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）交付率は他都市の状況から推計。
- 事務費は除外

### 3 三者負担の考え方 (2) ⑥都度支払い方式

(バス1乗車：利用者50円・市費85円・事業者85円、全交通機関月乗車想定回数12回)

…関係資料3-2-⑥参照

#### ●試算（事業費）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
交付者数	414,179人	521,293人	552,586人	633,293人
事業費	119.6億円	146.8億円	155.6億円	178.3億円
市費負担	99.4億円	112.5億円	119.3億円	136.7億円
利用者負担	20.2億円	34.3億円	36.3億円	41.6億円
平均利用者負担	4,886円	6,571円	6,571円	6,571円

### 3 三者負担の考え方

#### (2) ⑥都度支払い方式

(バス1乗車：利用者50円・市費85円・事業者85円、全交通機関月乗車想定回数12回)

…関係資料3-2-⑥参照

●バス事業部分のみの試算（バス事業者・市費・利用者の負担割合）

	R1	R3 (制度改正)	R13	R23
バス事業者	172.7億円	50.6億円	53.7億円	61.5億円
市費	83.7億円	56.4億円	59.8億円	68.5億円
利用者	17.0億円	24.0億円	25.5億円	29.1億円
バス事業者	63.2%	38.6%	38.6%	38.6%
市費	30.6%	43.1%	43.1%	43.1%
利用者	6.2%	18.3%	18.3%	18.3%



## 4 対象者

### (1) 年齢制限

#### 1 市民アンケート結果 (P12再掲)

n=10,381

	ウエイトバック集計	単純集計	
年齢を引き上げる（例えば75歳以上など）方がよい	23.2%	2,382	22.9%
今のまま（70歳以上）でよい	62.5%	6,630	63.9%
年齢を引き下げる（例えば65歳以上など）方がよい	8.5%	770	7.4%
どちらともいえない	5.3%	526	5.1%
無回答	0.6%	73	0.7%

#### 2 利用者ヒアリングでの意見

- 年齢が高くて働けるような状況になってきている。対象年齢の引き上げは考えられる。
- 対象年齢の引き上げも検討していただいても良いのではないか。
- （制度の対象が）70歳（以上なの）はいい。70歳でもやっと歩いている人もいる。杖をついている人もいる。
- 体力の問題だけでなく、年金の話も関わってくる。

## 4 対象者

### (1) 年齢制限

#### 3 試算

第3回で確認したフリーパス方式パターン⑥（バス乗車単価135円・月乗車想定回数20回・利用者負担は現行のまま）をベースに試算。

・R3年から対象年齢を70歳から75歳に引き上げた場合

	R1	R3		R13		R23	
		年齢制限なし	年齢制限あり	年齢制限なし	年齢制限あり	年齢制限なし	年齢制限あり
交付者数	414,179人	435,131人	289,685人	461,252人	352,063人	528,619人	369,443人
事業費	119.6億円	171.7億円	114.3億円	182.0億円	139.1億円	208.4億円	145.8億円
市費	99.4億円	150.4億円	100.1億円	159.4億円	121.8億円	182.6億円	127.8億円
利用者負担	20.2億円	21.3億円	14.2億円	22.6億円	17.2億円	25.9億円	18.1億円
平均利用者負担	4,886円	4,894円	4,894円	4,894円	4,894円	4,894円	4,894円

## 4 対象者

### (2) 所得制限

#### 1 市民アンケート結果（P13再掲）

n=10,381

	ウイバツ集計	単純集計	
所得制限を設けることもやむを得ないと思う	62.7%	6,334	61.0%
現行制度のまま、所得制限を設けるべきでないと思う	26.0%	2,828	27.2%
どちらともいえない	10.4%	1,111	10.7%
無回答	0.8%	108	1.0%

#### 2 利用者ヒアリングでの意見

- 収入があるうちは自己で負担するというのも一つの方法だと思う。
- 生活保護受給者や非課税者など64%の人をどうするかを良く検討しないといけない。  
高所得者だから対象から外すとなると、せっかくの今のいい制度がそっぽを向かれる。
- 所得制限により一定の所得がある人は敬老パスが使えないという考えより、応能負担が良いと思う。
- （非課税者が多いので）制限をかけてもあまり変わらないのではないか。

## 4 対象者

### (2) 所得制限

#### 3 H30年度 負担区分別交付者数（H30年度末の実績数値）

負担区分		交付者数	構成比
無料	障害者等	35,319人	8.74%
3,200円	生活保護受給者、世帯全員非課税	115,002人	28.45%
4,000円	本人は非課税だが、世帯員に課税者あり	109,812人	27.16%
7,000円	合計所得金額150万円未満 (年金収入のみ270万円未満)	59,615人	14.75%
8,000円	合計所得金額150～250万円未満 (年金収入のみ270～約383万円未満)	50,365人	12.46%
9,000円	合計所得金額250～500万円未満 (年金収入のみ約383～約681万円未満)	27,120人	6.71%
10,000円	合計所得金額500～700万円未満 (年金収入のみ約681～約813万円未満)	3,561人	0.88%
20,500円	合計所得金額700万円以上 (年金収入のみ約813万円以上)	3,481人	0.86%
		404,275人	100.00%

約21%

⇒ 合計所得金額150万円以上（負担区分8,000円以上）を制限すると仮定して試算

## 4 対象者

### (2) 所得制限

#### 4 試算

R3年から「市民税課税で合計所得金額150万円以上」（負担区分8,000円以上）の方を対象から除外したと仮定した場合

	R1	R3		R13		R23	
		所得制限なし	所得制限あり	所得制限なし	所得制限あり	所得制限なし	所得制限あり
交付者数	414,179人	435,131人	344,151人	461,252人	364,810人	528,619人	418,092人
事業費	119.6億円	171.7億円	135.8億円	182.0億円	175.2億円	208.4億円	200.7億円
市費	99.4億円	150.4億円	122.6億円	159.4億円	161.2億円	182.6億円	184.7億円
利用者負担	20.2億円	21.3億円	13.2億円	22.6億円	14.0億円	25.9億円	16.0億円
平均利用者負担	4,886円	4,894円	3,830円	4,894円	3,830円	4,894円	3,830円

年齢制限と比較して事業費等の減少幅は小さい。  
 一方、年齢制限の場合より利用者負担が大きく減少するため、  
 一定期間以降は所得制限した方が所得制限しない場合より市費が大きくなる。（逆転現象）

## 5 対象交通機関

### 対象交通機関についてどのように考えるか (市民アンケート結果)

n=10,381

回答	割合	
	単純集計	ウェイトバック
市営バス、民営バスに限定すべき	18.3%	20.0%
市営地下鉄及び金沢シーサイドラインに限定すべき	1.6%	1.7%
今のままでよい	71.6%	69.4%
どちらともいえない	7.4%	8.0%
無回答	1.1%	0.9%
合計	100.0%	100.0%

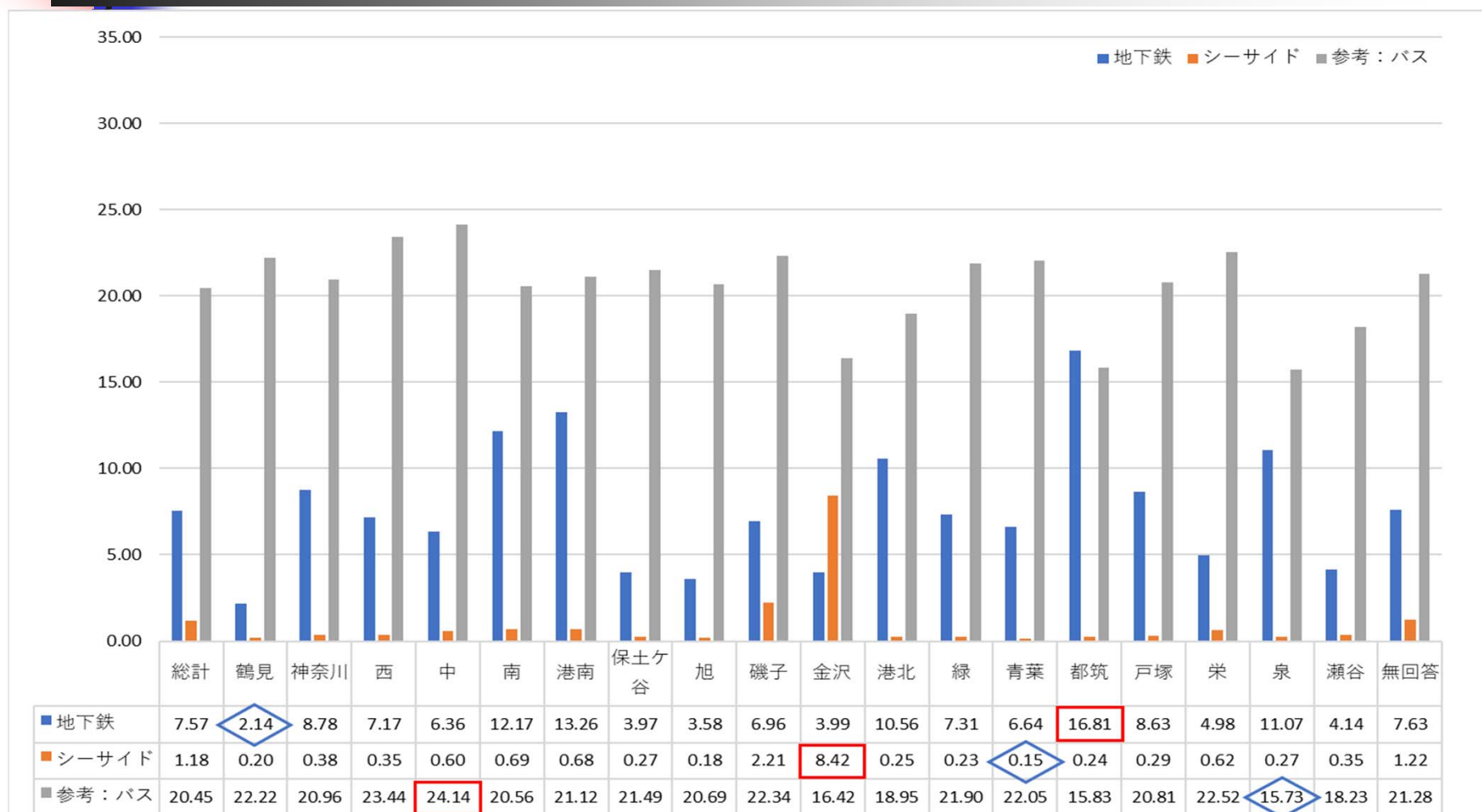
## 5 対象交通機関

### 沿線利用者（沿線区）の月利用回数 (H30利用者アンケート結果)



## 5 対象交通機関

沿線利用者（沿線区）の月利用回数  
（R1利用者アンケート（速報値））







## その他の高齢者関連施策（参考）

本市におけるその他の主な高齢者関連施策は以下のとおり（金額は令和元年度予算額）

○介護保険給付費（約2,665.6億円【市費:約333.2億円】）

在宅介護サービス費や施設介護サービス費等を給付。

○介護予防・生活支援サービス事業（約84.8億円【市費:約12.0億円】）

介護保険の要支援認定を受けた方等を対象に訪問介護相当サービス等を実施。

○地域包括支援センター運営事業（約38.2億円【市費:約7.4億円】）

市内142か所のセンター（高齢者や家族に対する総合的な相談・支援等）の運営。

○地域ケアプラザ運営事業（約28.0億円【市費:約27.9億円】）

市内139か所の地域ケアプラザ（地域における身近な福祉保健の拠点）の運営等。

○生活支援体制整備事業（10.0億円【市費:約2.0億円】）

地域ケアプラザ等に配置した生活支援コーディネーターを中心に、高齢者の生活支援・介護予防・社会参加が充実した地域づくりを支援。

○特別養護老人ホーム整備事業（約26.1億円【市費（市債）:約17.2億円】）

介護需要の増大に対応するため、施設整備に対する助成等を行う。



# 今後の日程

時 期	内 容 等	
11月14日	第4回	①市民アンケート、利用者アンケート結果について ②具体案の意見交換（3回目）
11月21日	第5回	①具体案の意見交換（4回目）
12月	第6回	①答申（案）について

## 関係資料

### 目次

- 1 利用者アンケート結果（速報値：5万件分） …関係資料 1
- 2 市民アンケート結果 …関係資料 2
- 3 試算バックデータ（利用上限設定方式①～⑨）  
試算バックデータ（都度支払い方式①～⑥） …関係資料 3

「敬老特別乗車証利用者アンケート」中間報告（速報値）

1 アンケート実施概要

- (1) 調査方法：納付書等とともに郵送配付  
 - 区役所・郵便局でパス交付時に回収
- (2) 調査対象：すでにパスを利用している一斉更新対象者 約40万人
- (3) 調査期間：9月2日～10月11日
- (4) 送付資料：・アンケート質問・回答用紙
- (5) 回答状況：有効回答数50,000件（令和元年10月25日集計時点）

2 集計結果

(1) 年齢

総計	70～74	75～79	80～84	85以上	無回答
50,000	16,526	16,361	10,379	5,641	1,093
100.0%	33.1%	32.7%	20.8%	11.3%	2.2%

(2) 居住区

総計	鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区	無回答
50,000	3,171	1,785	655	1,629	2,817	4,165	3,572	4,031	3,133	4,341	2,999	2,732	3,057	1,676	4,525	1,705	2,337	766	904
100.0%	6.3%	3.6%	1.3%	3.3%	5.6%	8.3%	7.1%	8.1%	6.3%	8.7%	6.0%	5.5%	6.1%	3.4%	9.1%	3.4%	4.7%	1.5%	1.8%

(3) 要介護認定

総計	なし	あり	無回答
50,000	42,755	4,704	2,541
100.0%	85.5%	9.4%	5.1%

※ありの場合、要支援・要介護認定区分

総計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
7,245	1,577	1,381	564	670	221	98	50	2,684
100.0%	21.8%	19.1%	7.8%	9.2%	3.1%	1.4%	0.7%	37.0%

## (4) 主な用途（複数選択可）

	総計	買物	趣味	地域活動	通院	通勤	その他	無回答
全体	50,000 100.0%	35,577 71.2%	25,145 50.3%	6,930 13.9%	28,239 56.5%	2,729 5.5%	3,009 6.0%	2,971 5.9%
70～74歳	16,526 100.0%	11,884 71.9%	9,270 56.1%	2,458 14.9%	8,084 48.9%	1,709 10.3%	961 5.8%	507 3.1%
75～79歳	16,361 100.0%	11,858 72.5%	8,802 53.8%	2,546 15.6%	9,518 58.2%	764 4.7%	902 5.5%	804 4.9%
80～84歳	10,379 100.0%	7,474 72.0%	4,803 46.3%	1,361 13.1%	6,584 63.4%	192 1.8%	709 6.8%	659 6.3%
85歳以上	5,641 100.0%	3,923 69.5%	2,018 35.8%	498 8.8%	3,683 65.3%	38 0.7%	392 6.9%	494 8.8%
無回答	1,093 100.0%	438 40.1%	252 23.1%	67 6.1%	370 33.9%	26 2.4%	45 4.1%	507 46.4%

## (5) 次の交通機関を8月におおよそ何回利用したか

## ①乗合バス

総計	月1	月2	月3	週1	週2	週3	週4	週5	週6	週7	利用 せず	無回答
50,000 100.0%	1,716 3.4%	2,575 5.2%	2,900 5.8%	5,058 10.1%	9,621 19.2%	9,306 18.6%	5,463 10.9%	4,001 8.0%	2,013 4.0%	1,789 3.6%	1,834 3.7%	3,724 7.4%

## ②市営地下鉄

総計	月1	月2	月3	週1	週2	週3	週4	週5	週6	週7	利用 せず	無回答
50,000 100.0%	7,076 14.2%	5,042 10.1%	2,678 5.4%	4,993 10.0%	5,003 10.0%	3,099 6.2%	1,436 2.9%	894 1.8%	393 0.8%	310 0.6%	13,071 26.1%	6,005 12.0%

## ③金沢シーサイドライン

総計	月1	月2	月3	週1	週2	週3	週4	週5	週6	週7	利用 せず	無回答
50,000 100.0%	2,738 5.5%	943 1.9%	461 0.9%	781 1.6%	644 1.3%	443 0.9%	236 0.5%	115 0.2%	52 0.1%	52 0.1%	32,403 64.8%	11,132 22.3%

※月平均利用回数（年齢別）

	総計	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
①乗合バス	20.45	19.28	20.89	21.55	20.56	21.44
②市営地下鉄	7.57	7.39	7.91	7.77	6.67	7.72
③シーサイドライン	1.18	1.28	1.21	1.15	0.89	1.23

※月平均利用回数（区別）

	①乗合バス	②市営地下鉄		③シーサイドライン	
	回数	回数	駅数	回数	駅数
総計	20.45	7.57	39駅	1.18	14駅
鶴見区	22.22	2.14		0.20	
神奈川区	20.96	8.78	3駅	0.38	
西区	23.44	7.17	2駅	0.35	
中区	24.14	6.36	4駅	0.60	
南区	20.56	12.17	3駅	0.69	
港南区	21.12	13.26	4駅	0.68	
保土ヶ谷区	21.49	3.97		0.27	
旭区	20.69	3.58		0.18	
磯子区	22.34	6.96		2.21	1駅
金沢区	16.42	3.99		8.42	13駅
港北区	18.95	10.56	7駅	0.25	
緑区	21.90	7.31	1駅	0.23	
青葉区	22.05	6.64	1駅	0.15	
都筑区	15.83	16.81	8駅	0.24	
戸塚区	20.81	8.63	2駅	0.29	
栄区	22.52	4.98		0.62	
泉区	15.73	11.07	4駅	0.27	
瀬谷区	18.23	4.14		0.35	
無回答	21.28	7.63		1.22	

※最多回数の区は網掛け+太枠、最少回数の区は網掛けのみ

(6) 負担金の金額

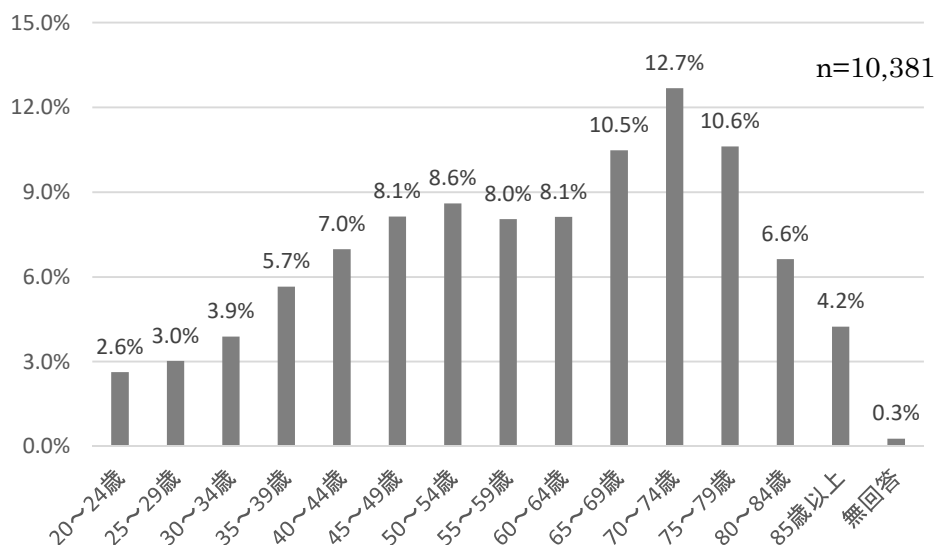
総計	無料	3200円	4000円	7000円	8000円	9000円	10000円	20500円	無回答
50,000	3,960	10,900	13,483	7,344	7,116	4,081	516	392	2,208
100.0%	7.9%	21.8%	27.0%	14.7%	14.2%	8.2%	1.0%	0.8%	4.4%

横浜市敬老特別乗車証（敬老パス）制度に関する  
市民アンケート調査結果

令和元年 11 月

問1 年齢層をお答えください。(いずれか一つに○)

「70～74歳」が12.7%と最も多く、次いで「75～79歳」が10.6%、「65～69歳」が10.5%となっています。



【参考】年齢5歳階層別回答率

今回のアンケート調査実施に当たり、今回対象の30000人について、横浜市の年齢5歳階層別人口比率に準じた形で比率計算したのが右図の「配布数」になります。

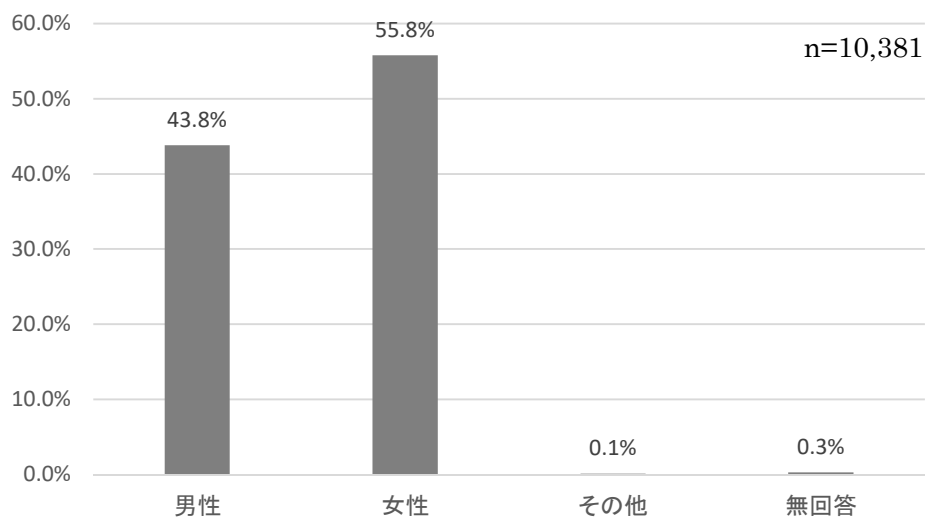
年代5歳階層別の配布数に対しての回答数の割合（「回答率」）については、64歳から84歳の各年代層で5割を超えている一方、年代が若くなるほど回答率が低くなっており、34歳未満の各年代で2割を切っています。

年代	回答数	配布数	回答率
20～24歳	273	1912	14.3%
25～29歳	314	1980	15.9%
30～34歳	404	2111	19.1%
35～39歳	587	2310	25.4%
40～44歳	725	2763	26.2%
45～49歳	845	3134	27.0%
50～54歳	893	2849	31.3%
55～59歳	835	2245	37.2%
60～64歳	843	1954	43.1%
65～69歳	1088	2133	51.0%
70～74歳	1316	2184	60.3%
75～79歳	1102	1798	61.3%
80～84歳	688	1339	51.4%
85歳以上	440	1288	34.2%
無回答	28	-	-
計	10381	30000	34.6%



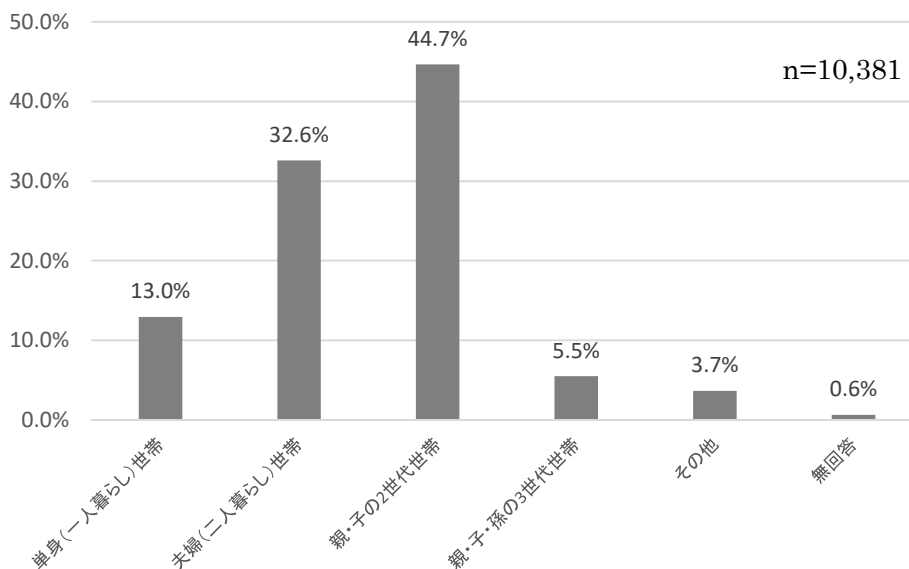
問2 性別をお答えください。(いずれか一つに○)

「女性」が55.8%と最も多く、次いで「男性」が43.8%となっています。



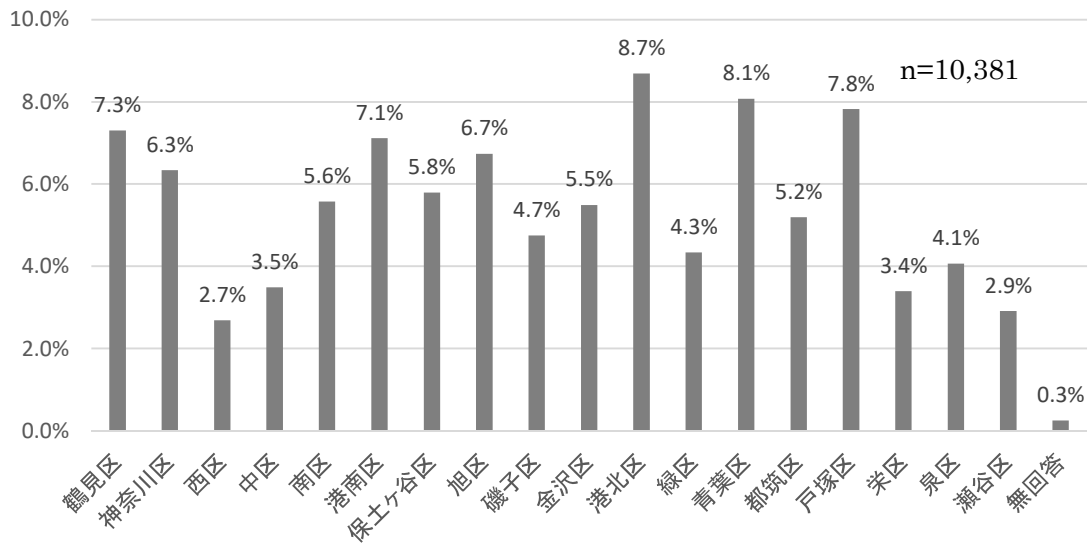
問3 あなたの世帯構成についてお答えください。(いずれか一つに○)

「親・子の2世代世帯」が44.7%と最も多く、次いで「夫婦（二人暮らし）世帯」が32.6%、「単身（一人暮らし）世帯」が13.0%となっています。



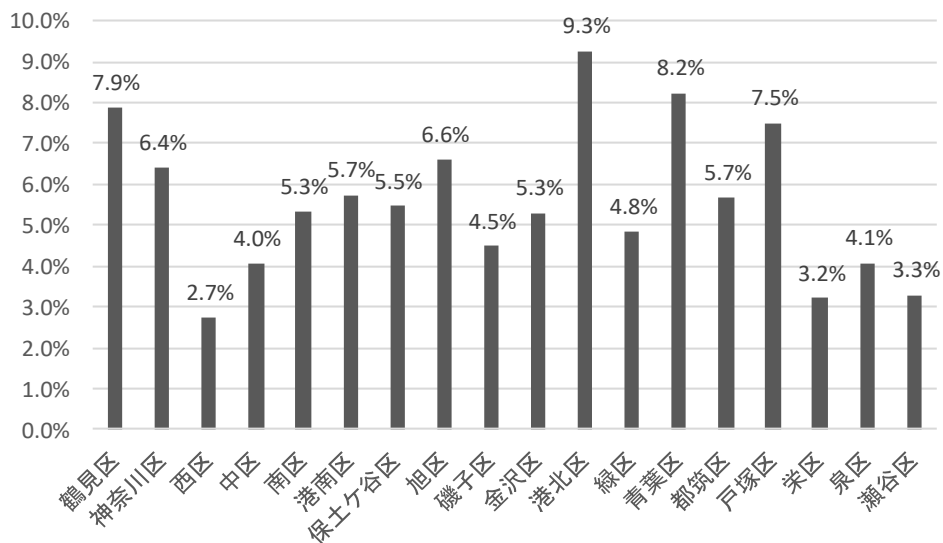
問4 お住いの区をお答えください。(いずれか一つに○)

「港北区」が8.7%と最も多く、次いで「青葉区」が8.1%、「戸塚区」が7.8%となっています。



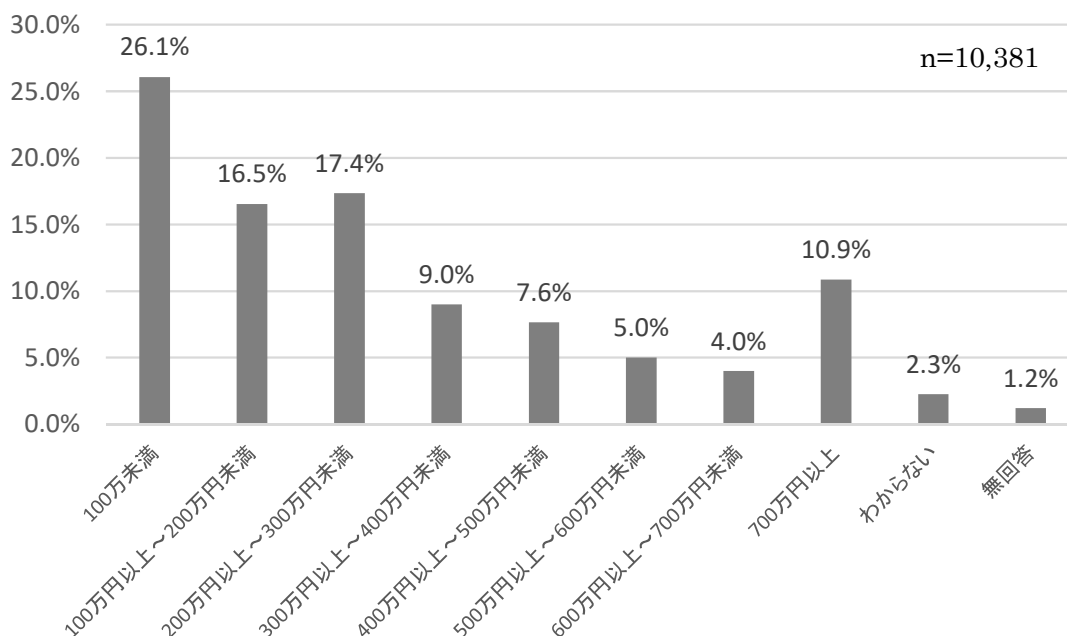
【参考】本市の区別人口構成（令和元年9月30日現在住民基本台帳による）

「港北区」が9.3%と最も多く、次いで「青葉区」が8.2%、「鶴見区」が7.9%となっています。

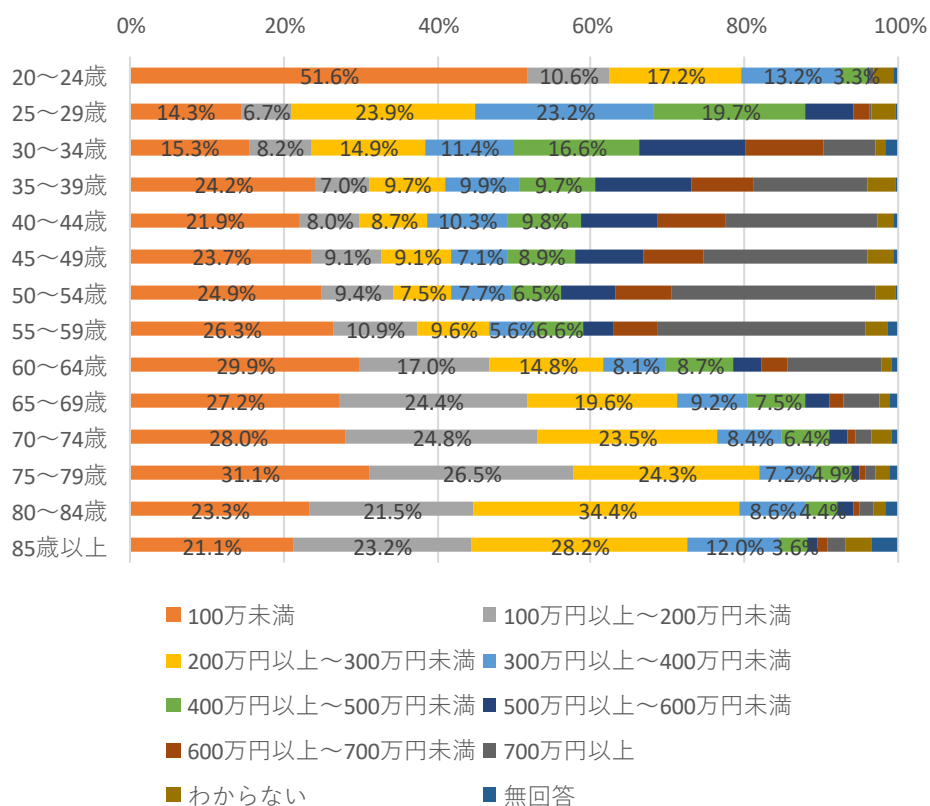


問5 あなたの年間の収入額についてお答えください。(いずれか一つに○)

「100万未満」が26.1%と最も多く、次いで「200万円以上～300万円未満」が17.4%、「100万円以上～200万円未満」が16.5%となっています。

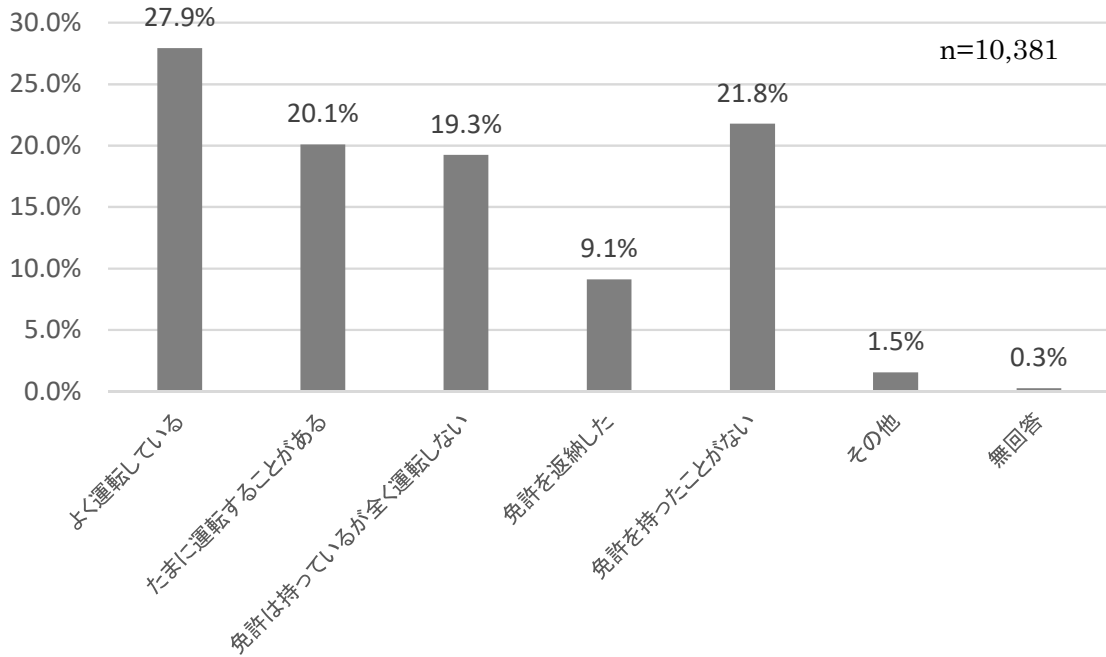


これを年代階層別にみると、20～24歳及び65歳以上で年収200万円以下が多くなっています。

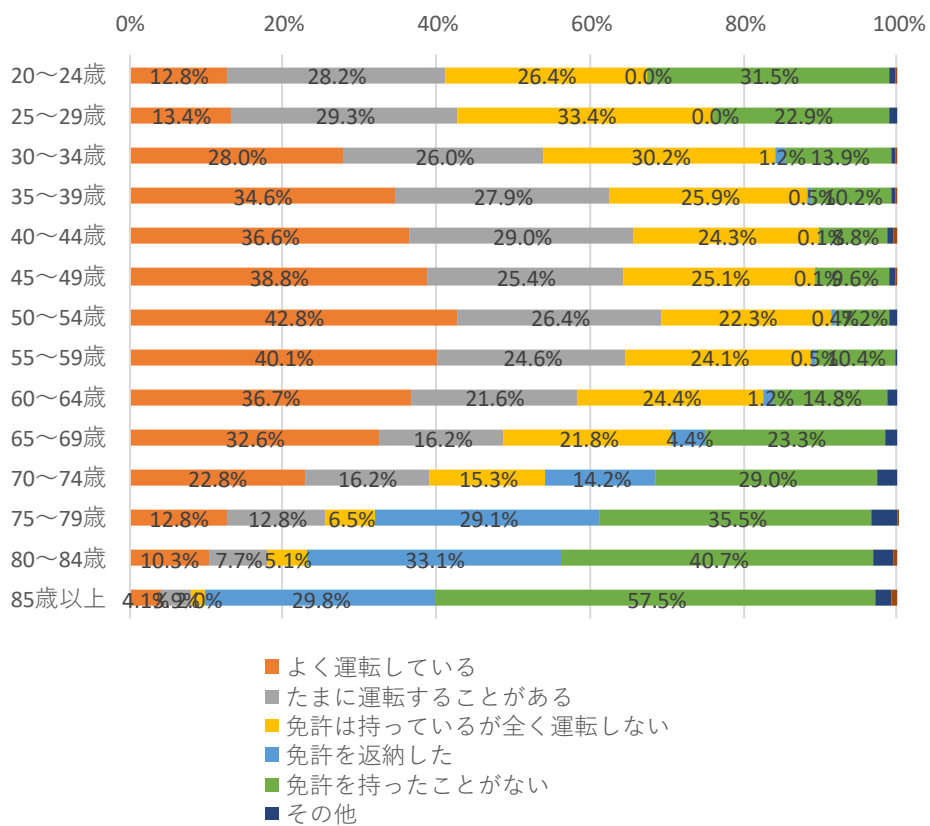


問6 あなたは自動車を運転していますか。(いずれか一つに○)

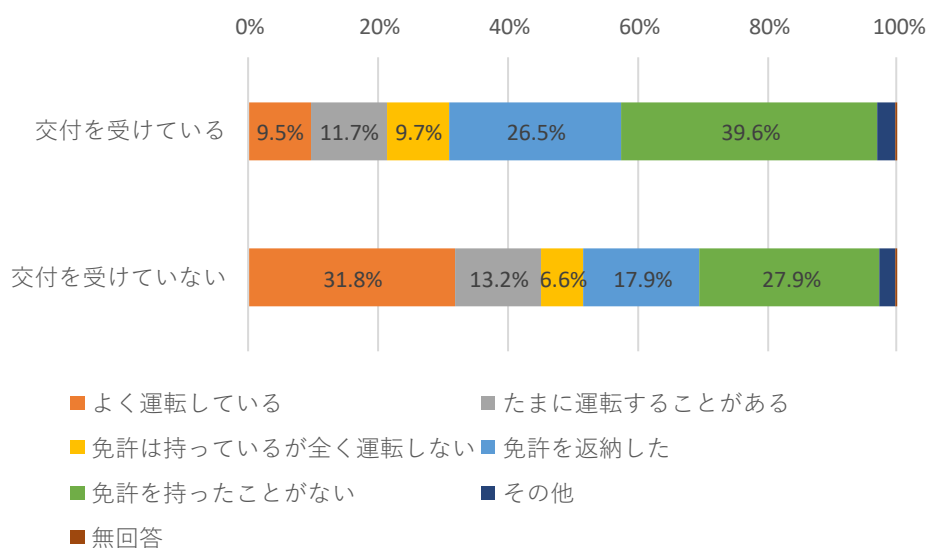
「よく運転している」が27.9%と最も多く、次いで「免許を持ったことがない」が21.8%、「たまに運転することがある」が20.1%となっています。



これを年代階層別にみると、よく運転している年齢層は50～54歳がピークになっています。

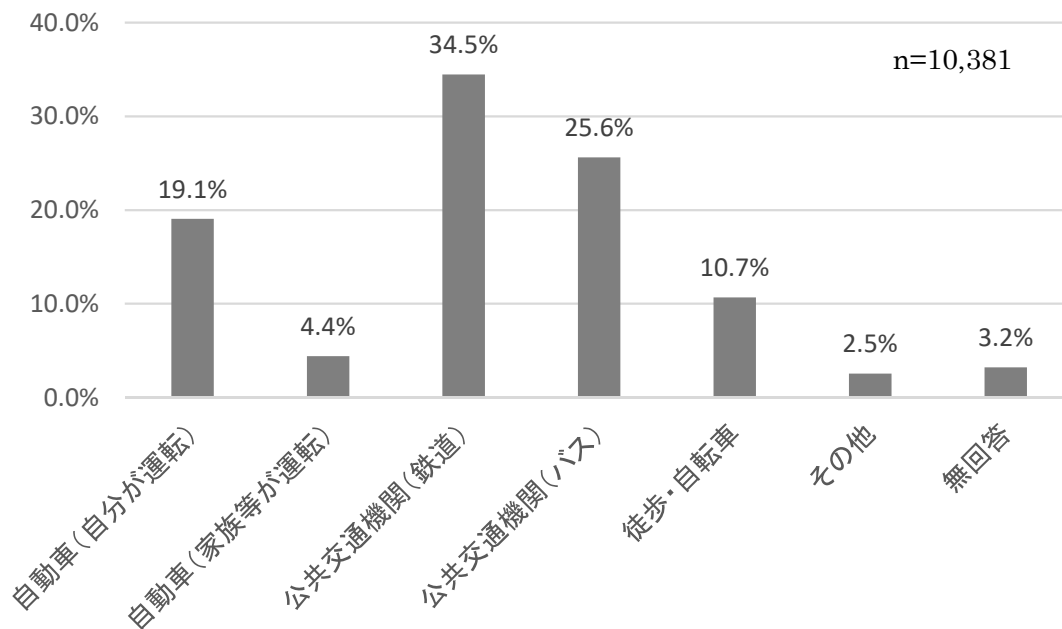


また、敬老パス交付の有無別にみると、「交付を受けている」回答者で「免許を返納した」また「免許を持ったことがない」が合わせて6割を超えています。



問7 あなたの主な移動手段についてお答えください。(いずれか一つに○)

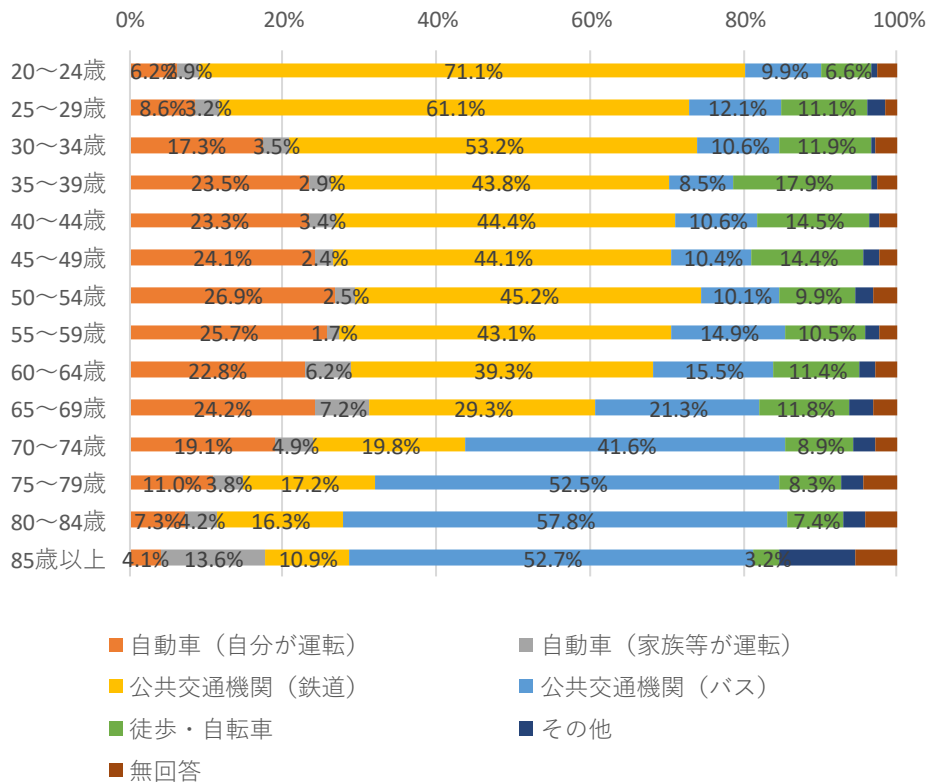
「公共交通機関（鉄道）」が34.5%と最も多く、次いで「公共交通機関（バス）」が25.6%、「自動車（自分が運転）」が19.1%となっています。



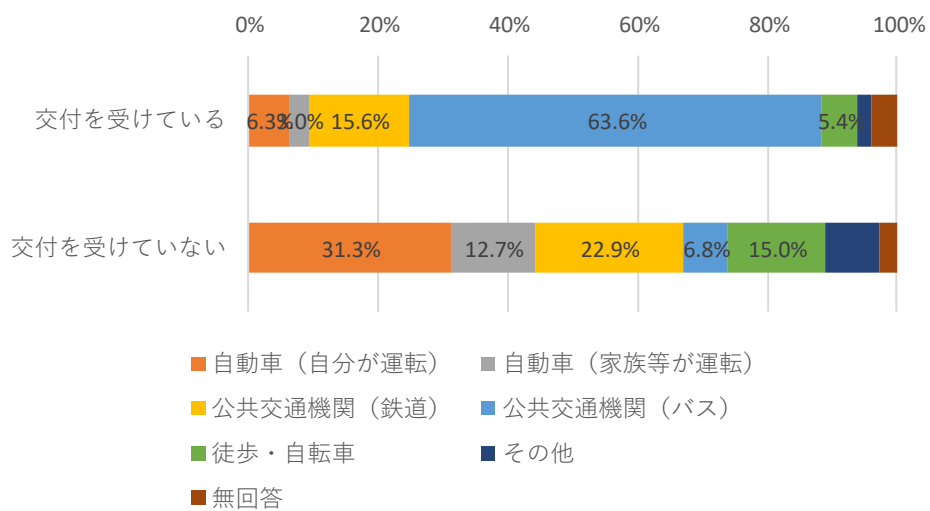
これを年代階層別にみると、30歳未満は「自動車（自分が運転）」の割合が10%未満である一方、「公共交通機関（鉄道）」が60~70%程度となっており鉄道が主な移動手段となっています。

30~60歳代は「自動車（自分で運転）」が20%前後となり、「公共交通機関（鉄道）」は40~50%程度となっています。

65歳以上においては、「自動車（自分が運転）」「公共交通機関（鉄道）」の割合が低下する一方、「公共交通機関（バス）」の割合が増えています。

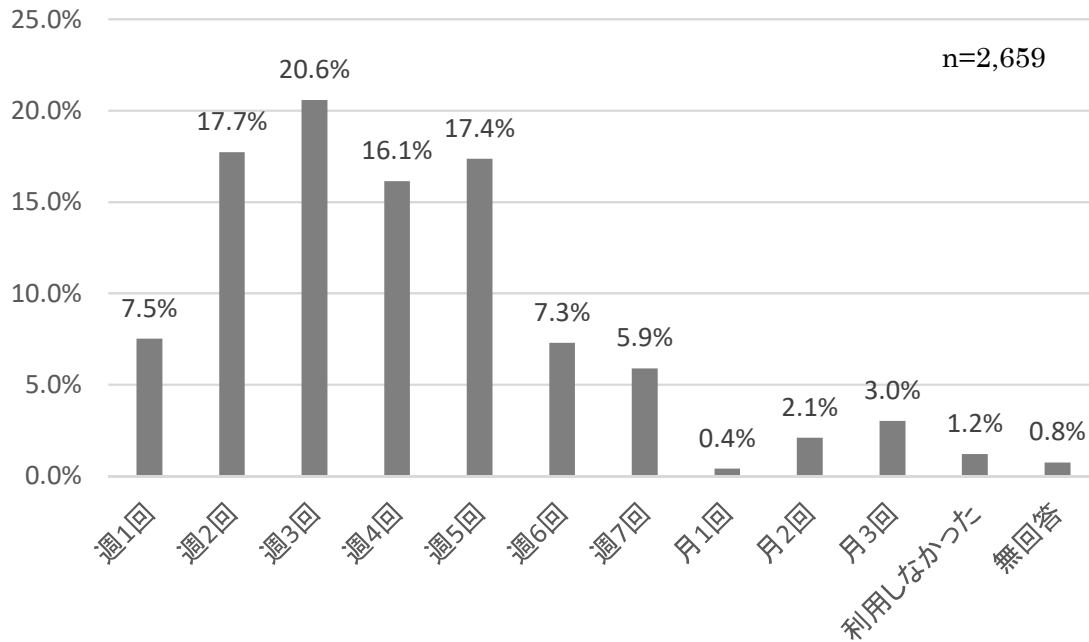


また、敬老パス交付の有無別にみると、「交付を受けている」回答者で「公共交通機関（バス）」が6割超となっています。

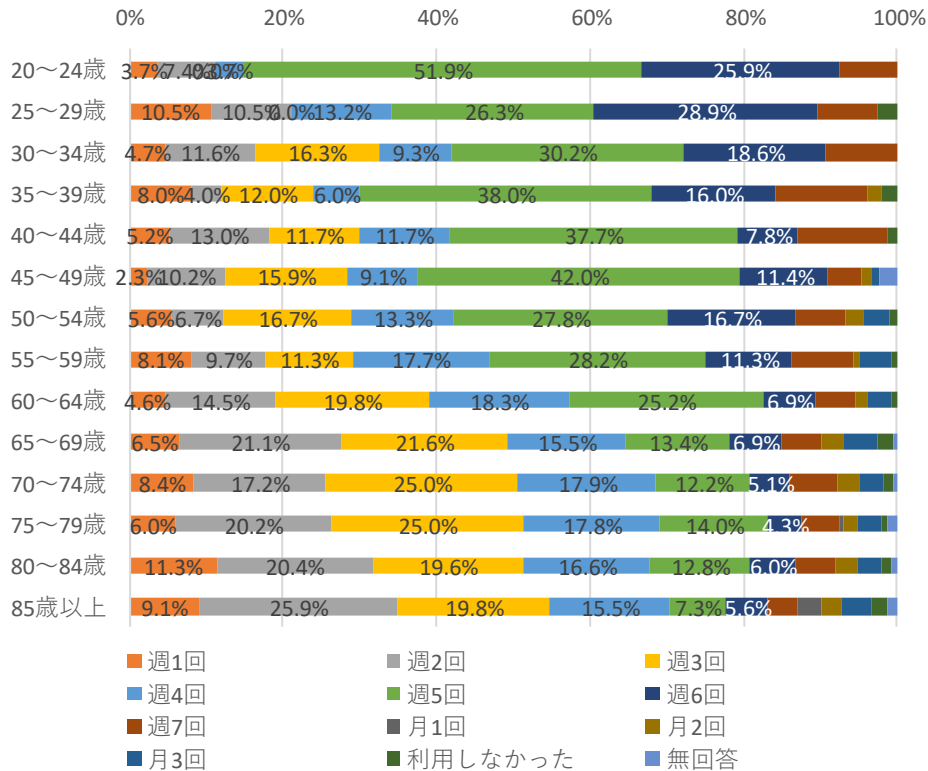


問8 問7で「4. 公共交通機関（バス）」と回答された方のみにおたずねします。7月にバスを、おおよそ何回利用しましたか。ただし、1往復を1回として数えます。（いずれか一つに○）

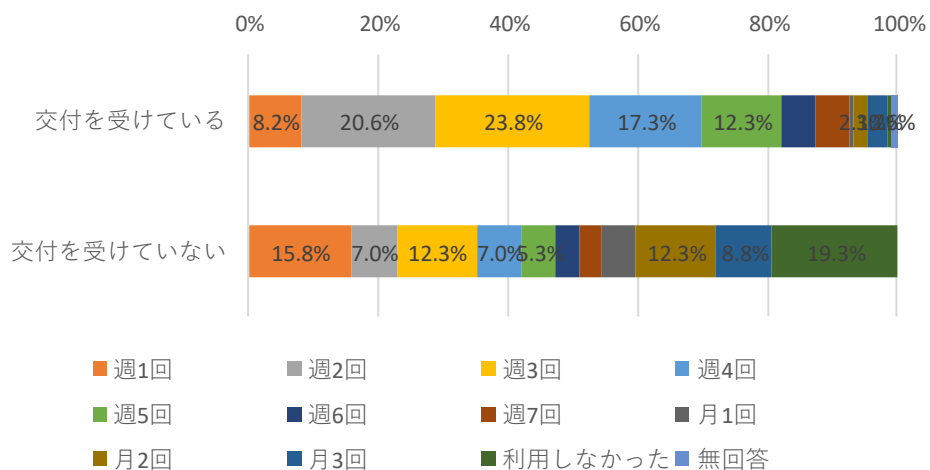
「週3回」が20.6%と最も多く、次いで「週2回」が17.7%、「週5回」が17.4%となっています。



これを年代階層別にみると、以下のとおりとなっています。

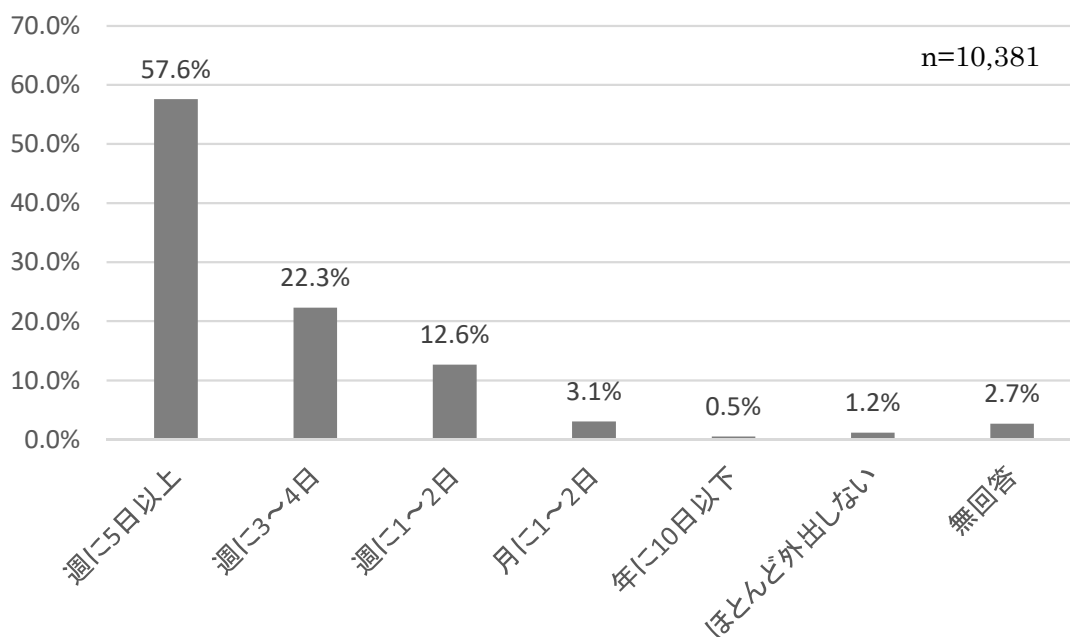


また、敬老パス交付の有無別にみると、以下のとおりとなっています。



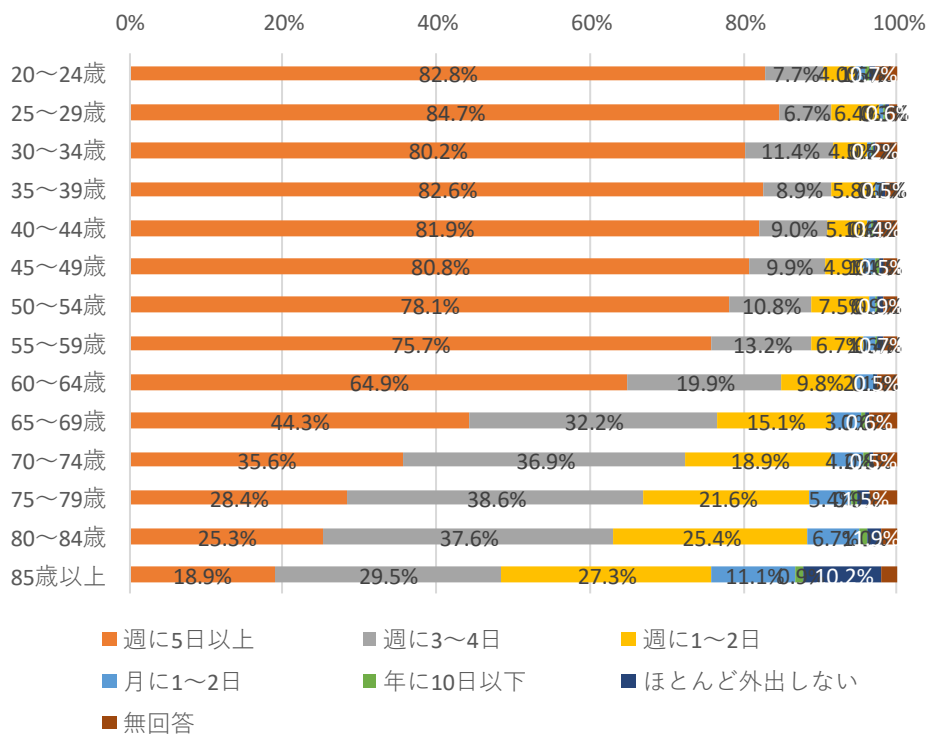
問9 あなたはどれくらいの頻度で外出していますか。(いずれか一つに○)

「週に5日以上」が57.6%と最も多く、次いで「週に3~4日」が22.3%、「週に1~2日」が12.6%となっています。

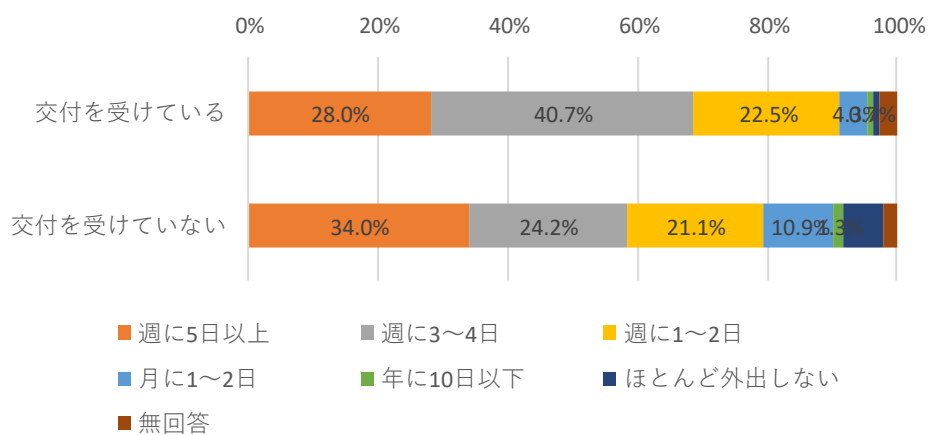




これを年代階層別にみると、以下のとおりとなっています。



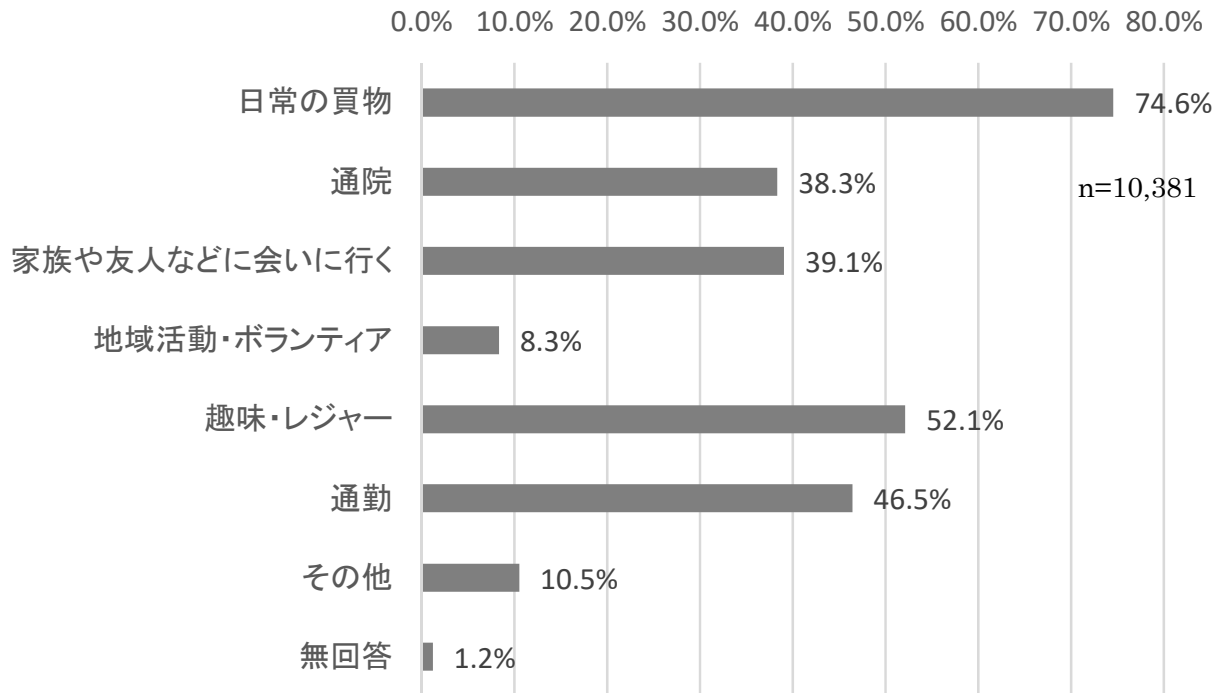
また、敬老パス交付の有無別にみると、以下のとおりとなっています。



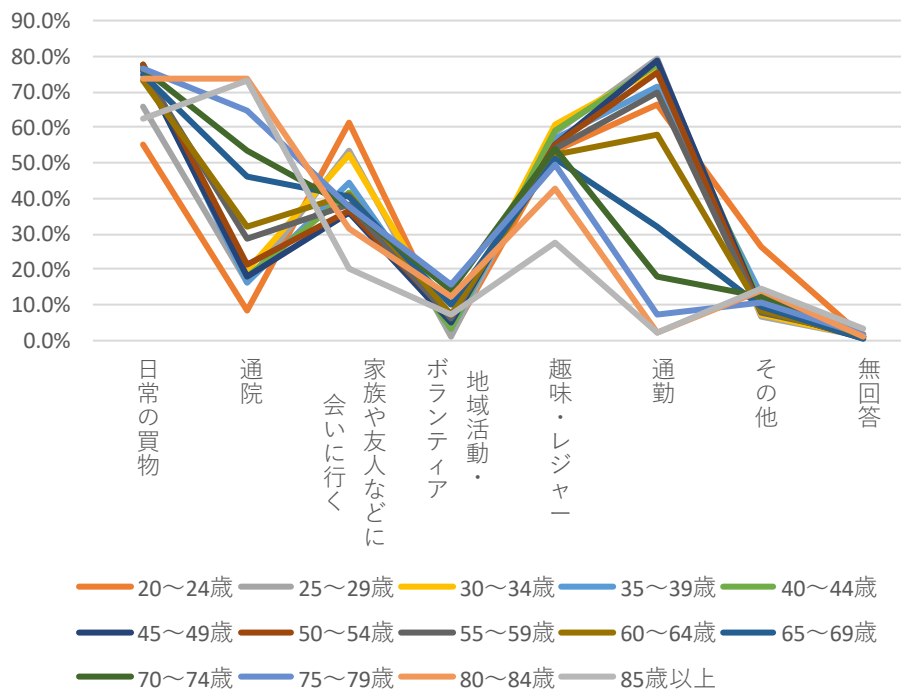
問10 あなたはどのような目的で外出することが多いですか。

(当てはまるものすべてに○)

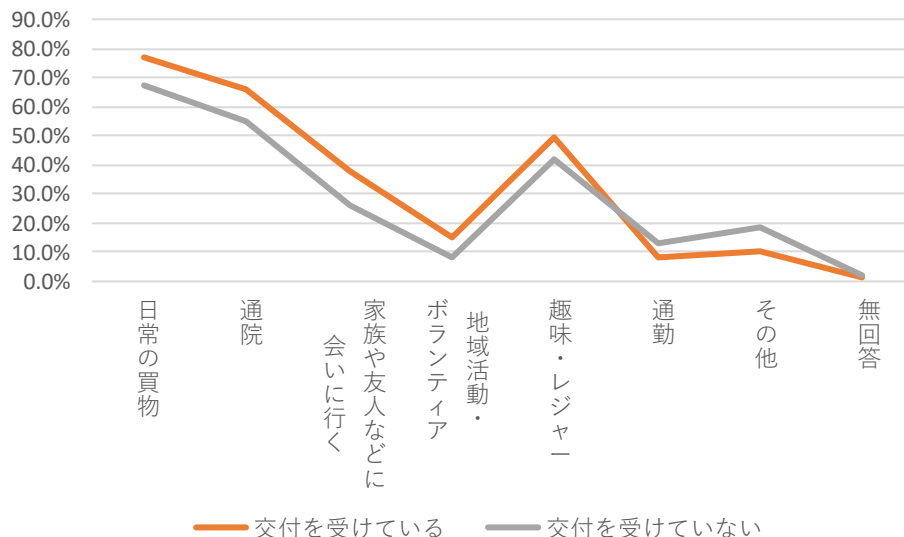
「日常の買物」が74.6%と最も多く、次いで「趣味・レジャー」が52.1%、「通勤」が46.5%となっています。



これを年代階層別にみると、以下のとおりとなっています。

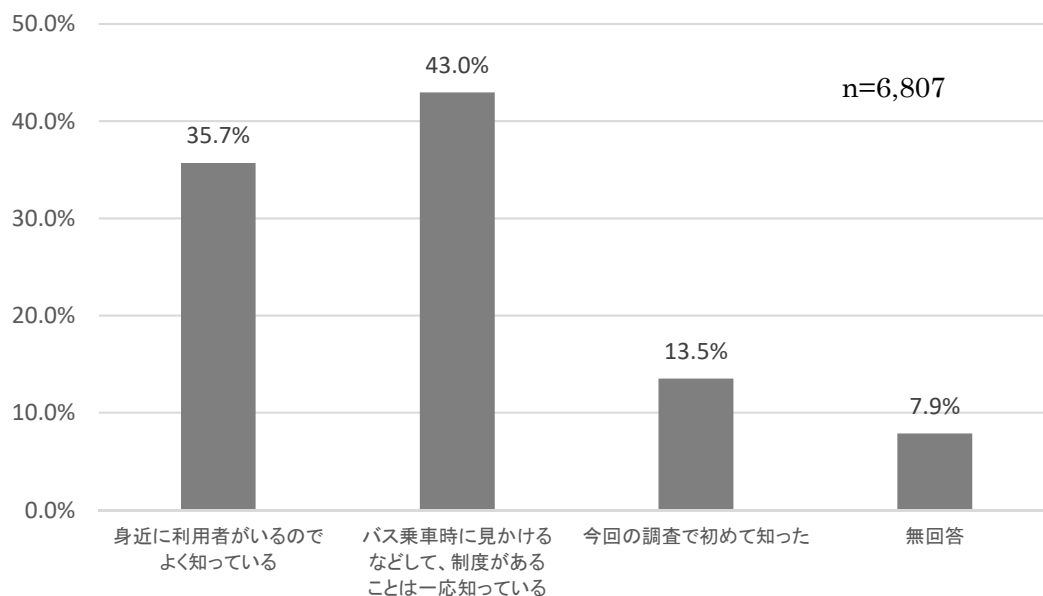


また、敬老パス交付の有無別にみると、以下のとおりとなっています。



問 1 1 横浜市が実施している敬老パス（制度）をご存じでしたか。（いずれか一つに○）  
 ※問 1 1 は、70 歳未満の方のみ回答。

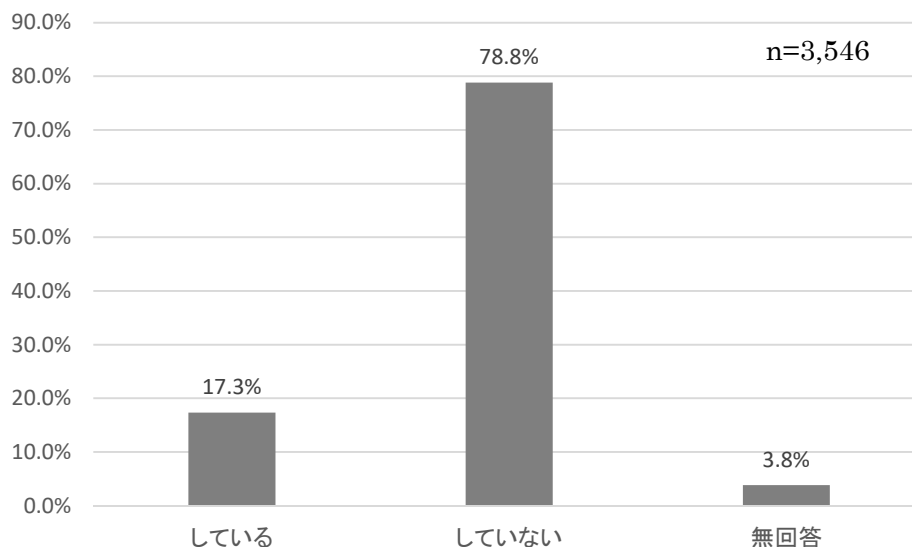
「バス乗車時に見かけるなどして、制度があることは一応知っている」が 43.0%と最も多く、次いで「身近に利用者があるのでよく知っている」が 35.7%、「今回の調査で初めて知った」が 13.5%となっています。



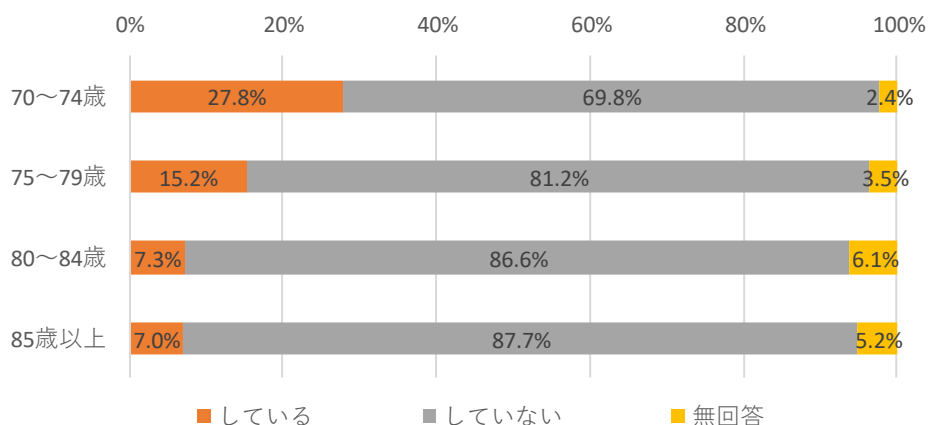
問12 あなたはお仕事をしていますか。(いずれか一つに○)

※問12は、70歳以上の方のみ回答。

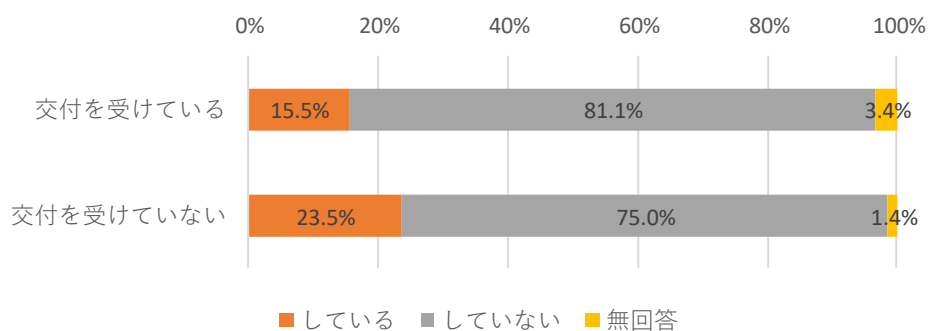
「していない」が78.8%、「している」が17.3%となっています。



これを年齢階層別にみると、仕事をしている人の割合は「70～74歳」で27.8%、「75～79歳」で15.2%、「80～84歳」で7.3%、「85歳以上」で7.0%となっています。



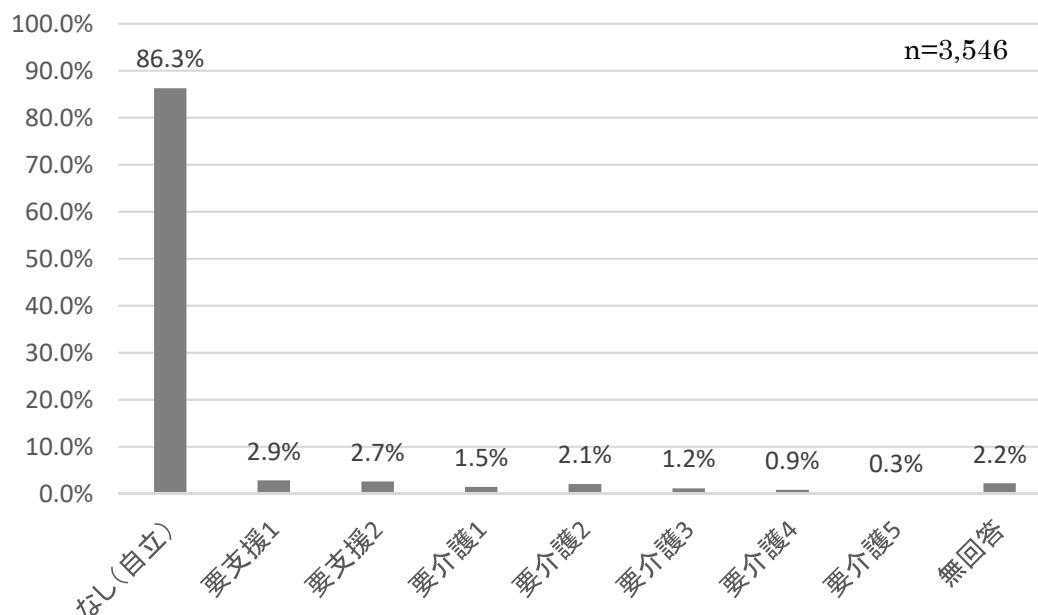
また、敬老パス交付の有無別にみると、仕事をしている人の割合は「交付を受けている」人が15.5%、「交付を受けていない」人は23.5%となっています。



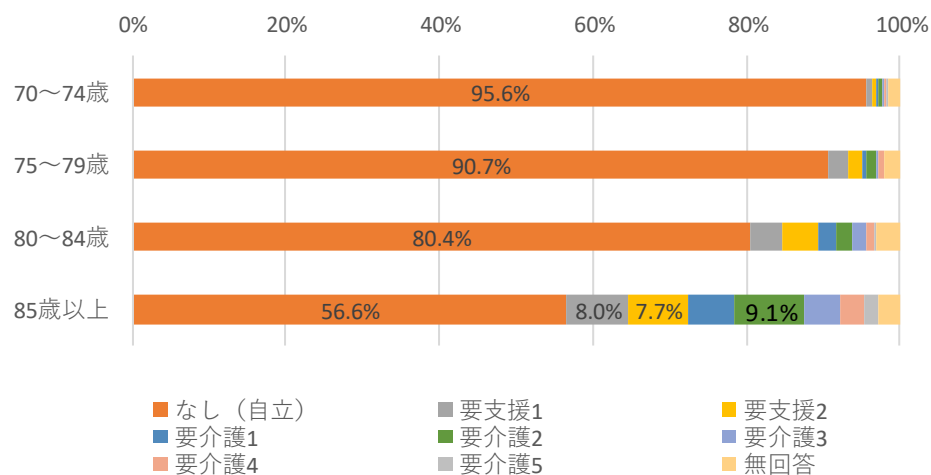
問13 あなたは要介護認定を受けていますか。(いずれか一つに○)

※問13は、70歳以上の方のみ回答。

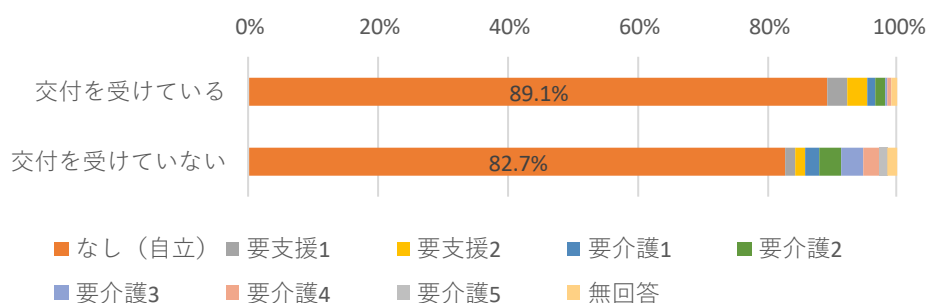
「なし(自立)」が86.3%と最も多くなっています。



これを年代階層別にみると、「なし(自立)」が70~74歳で95.6%、75~79歳で90.7%、80~84歳で80.4%、85歳以上で56.6%となっています。



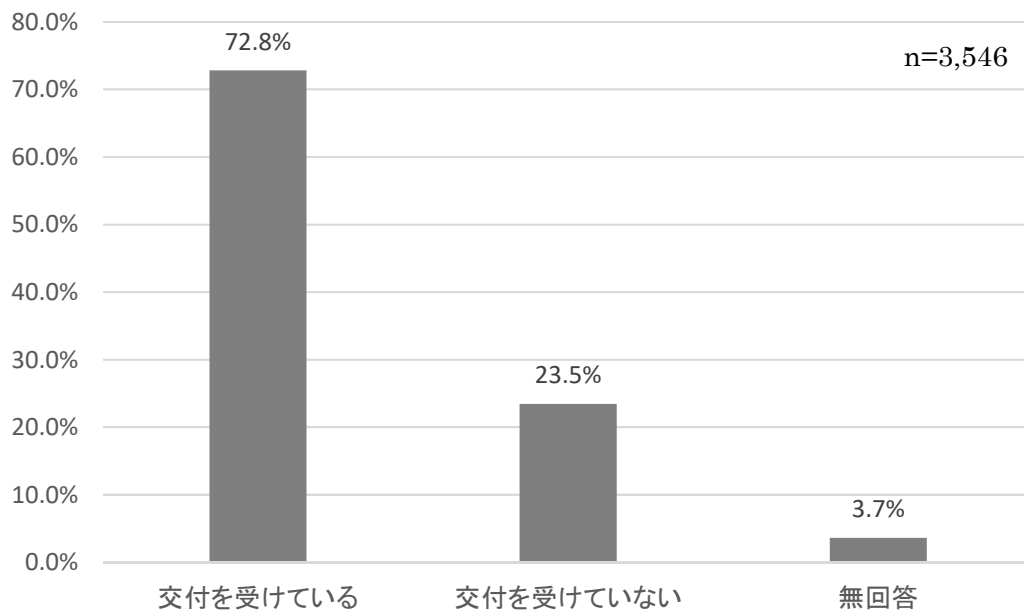
また敬老パス交付の有無別にみると、「なし(自立)」が「交付を受けている」人で89.1%、「交付を受けていない人」で82.7%となっています。



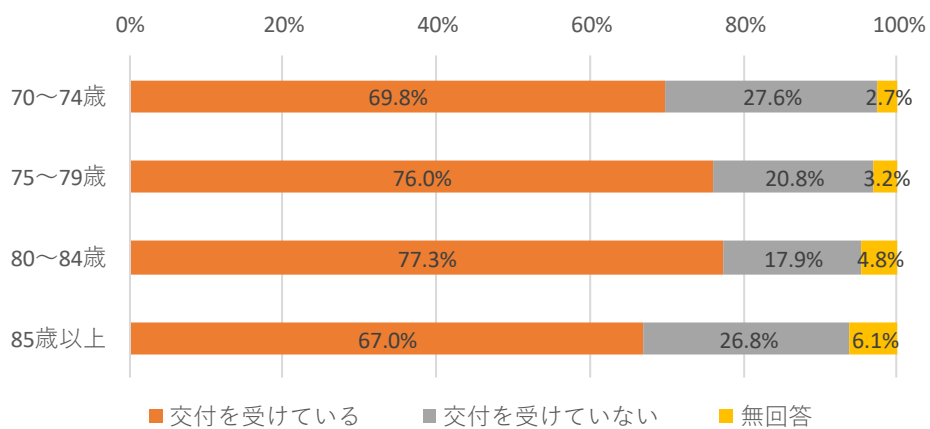
問14 あなたは敬老パスの交付を受けていますか。(いずれか一つに○)

※問14は、70歳以上の方のみ回答。

「交付を受けている」が72.8%、「交付を受けていない」が23.5%となっています。

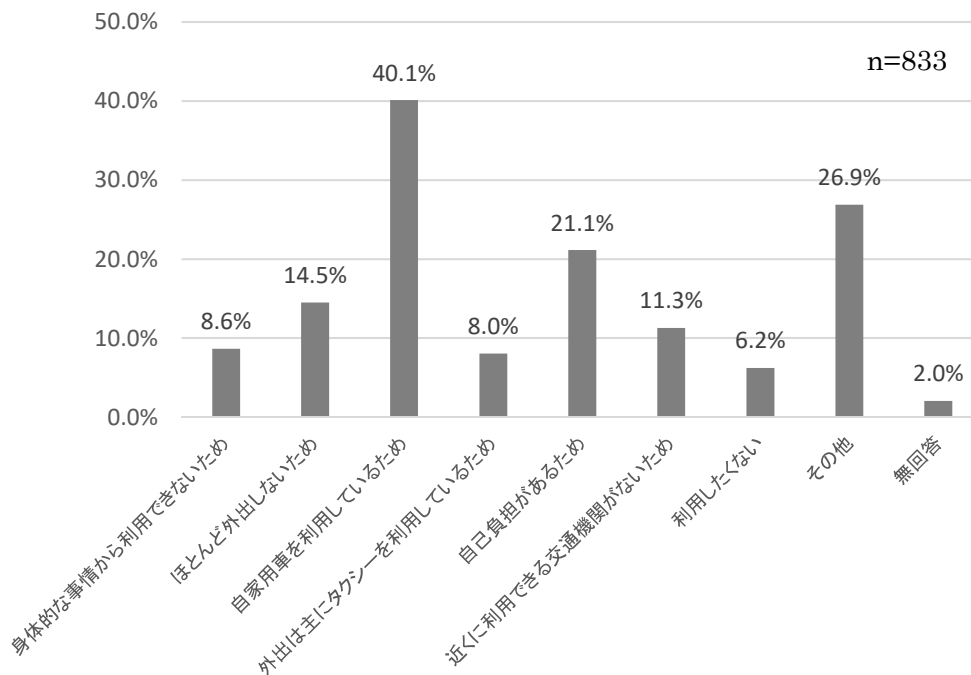


これを年代階層別にみると、「交付を受けている」人は、70～74歳で69.8%、75～79歳で76.0%、85歳以上で67.0%となっています。

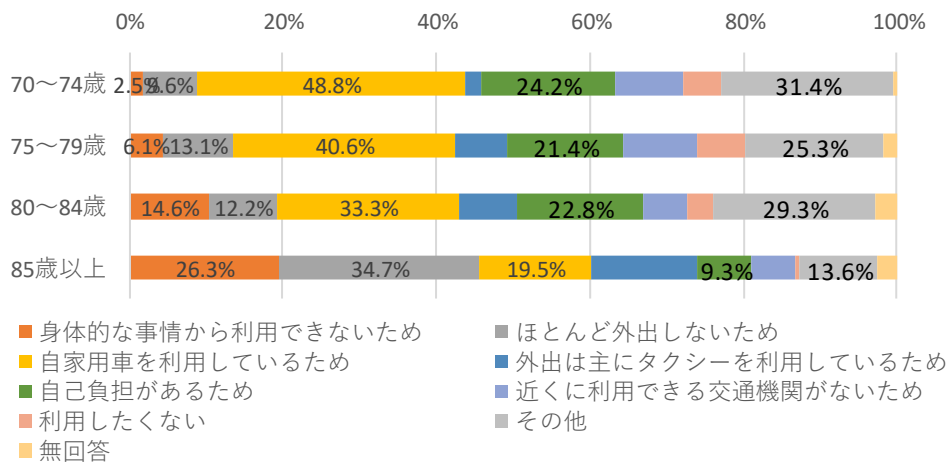


問15 問14で「2. 交付を受けていない」と回答された方におたずねします。敬老パスの交付を受けていない理由は何ですか。(2つまで○)

「自家用車を利用しているため」が40.1%と最も多く、次いで「その他」が26.9%、「自己負担があるため」が21.1%となっています。



これを年齢階層別別にみると、以下のとおりとなっています。

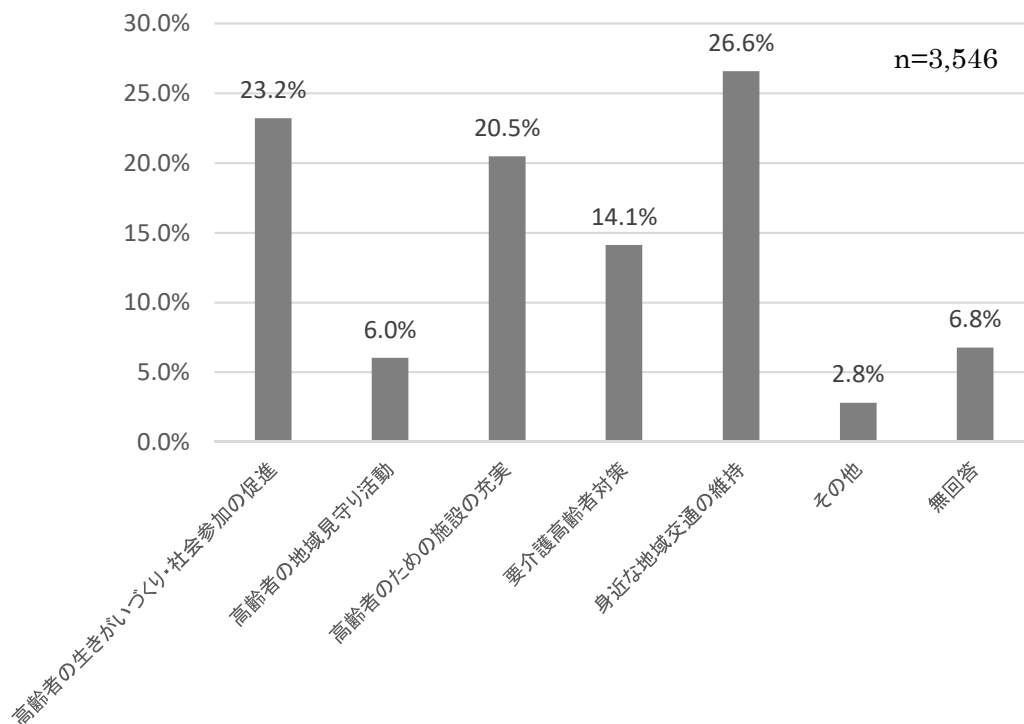


問16 今後充実を希望する高齢者福祉等の施策についてどのように考えますか。

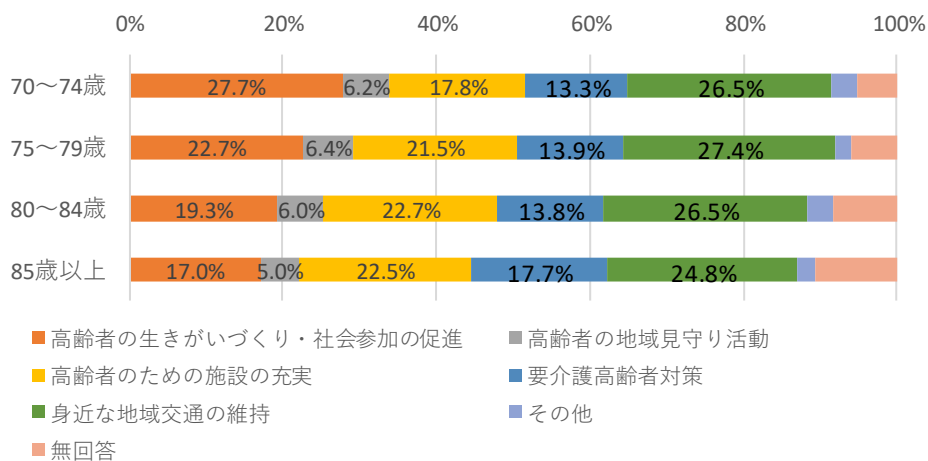
(いずれか一つに○)

※問16は、70歳以上の方のみ回答。

「身近な地域交通の維持」が26.6%と最も多く、次いで「高齢者の生きがいがづくり・社会参加の促進」が23.2%、「高齢者のための施設の充実」が20.5%となっています。



これを年代階層別にみると、以下のとおりとなっています。

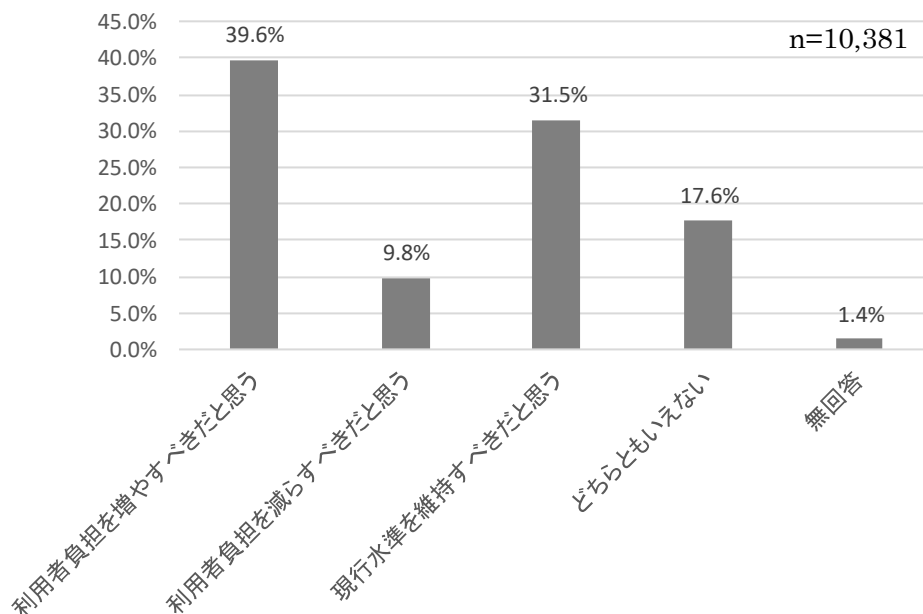




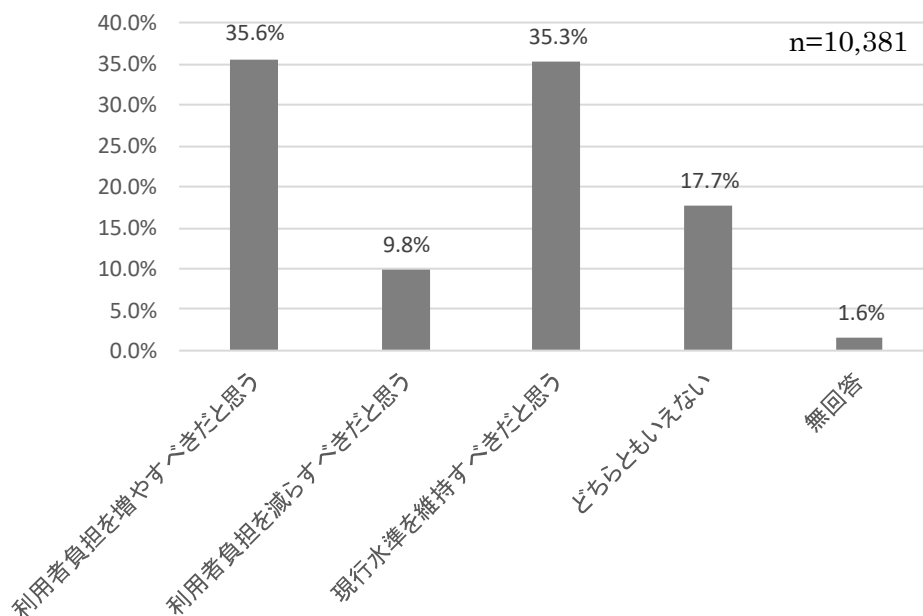
問17 敬老パスの利用者負担について、今後どうすべきと思いますか。(いずれか一つに○)

[ウエイトバック集計結果]

「利用者負担を増やすべきだと思う」が39.6%と最も多く、次いで「現行水準を維持すべきだと思う」が31.5%、「どちらともいえない」が17.6%となっています。

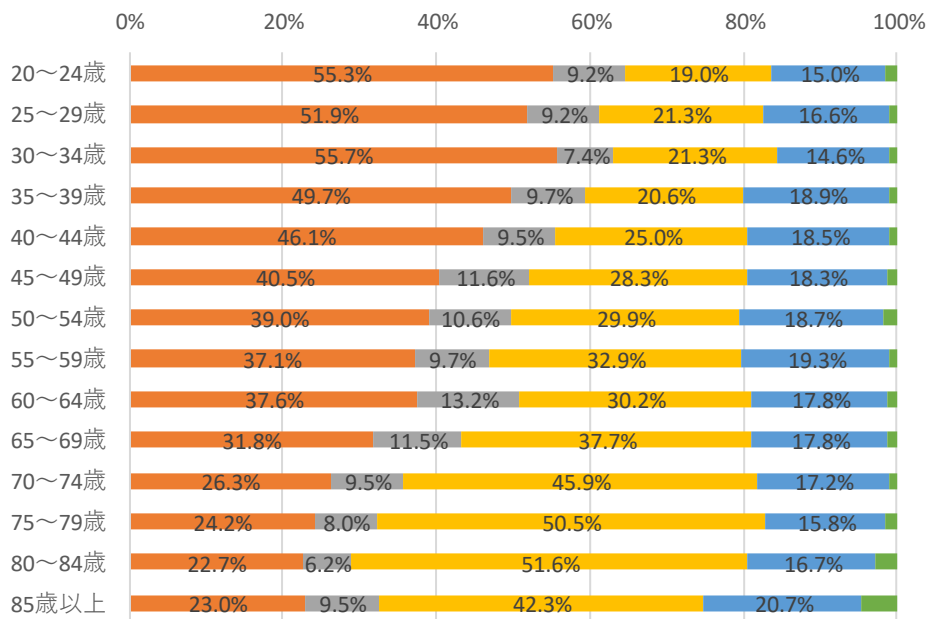


[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



[年代別集計結果]

以下のとおりとなっています。

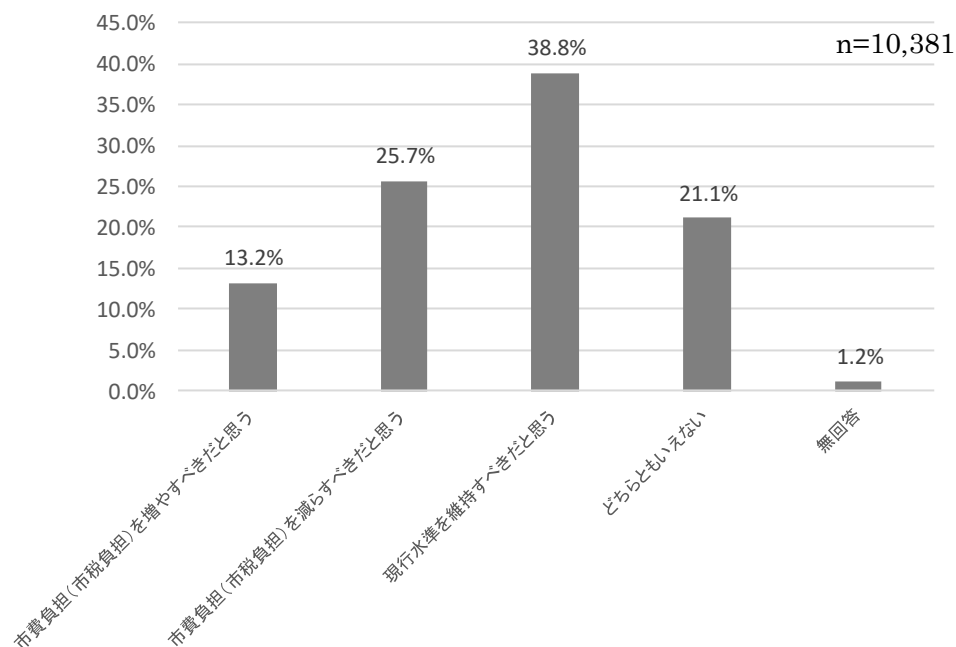


- 利用者負担を増やすべきだと思う ■ 利用者負担を減らすべきだと思う
- 現行水準を維持すべきだと思う ■ どちらともいえない
- 無回答

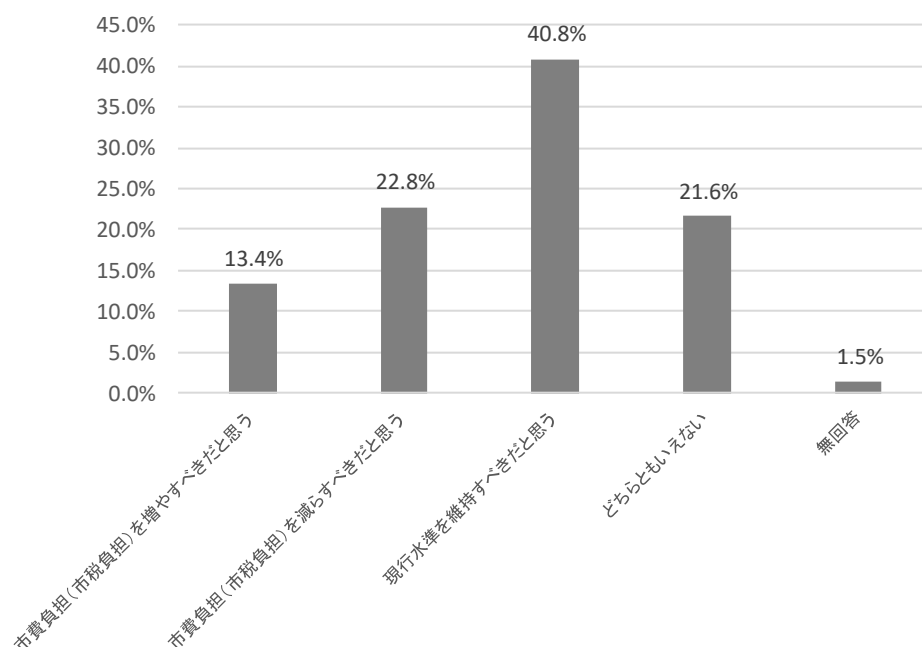
問18 敬老パスの市費（市民の皆様からの税金）負担について、今後どうすべきと思いますか。（いずれか一つに○）

[ウエイトバック集計結果]

「現行水準を維持すべきだと思う」が38.8%と最も多く、次いで「市費負担（市税負担）を減らすべきだと思う」が25.7%、「どちらともいえない」が21.1%となっています。

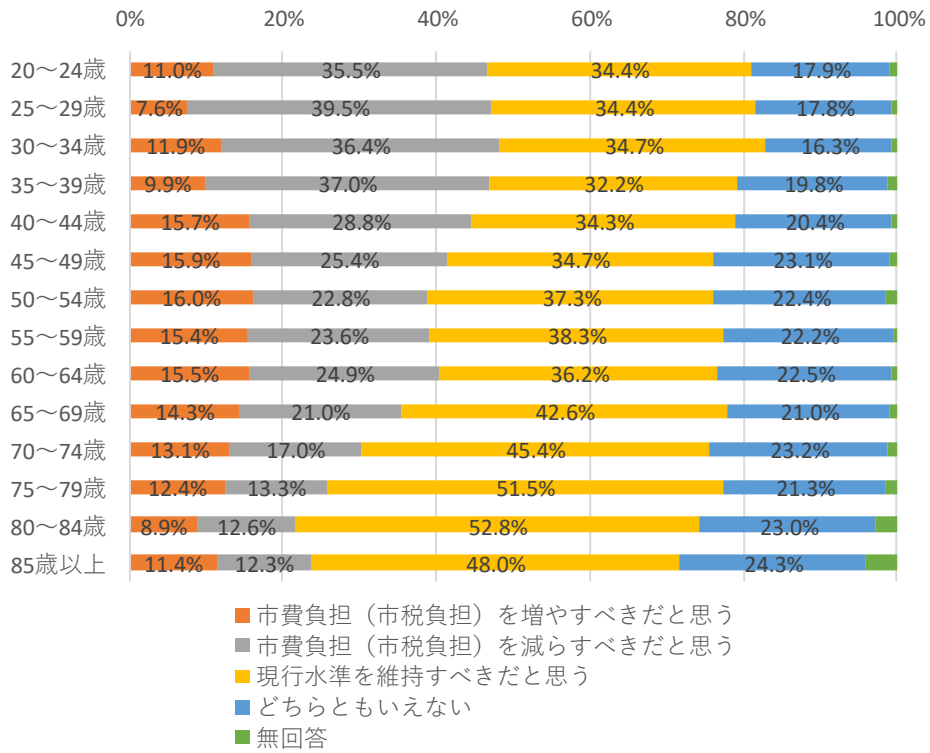


[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



[年代別集計結果]

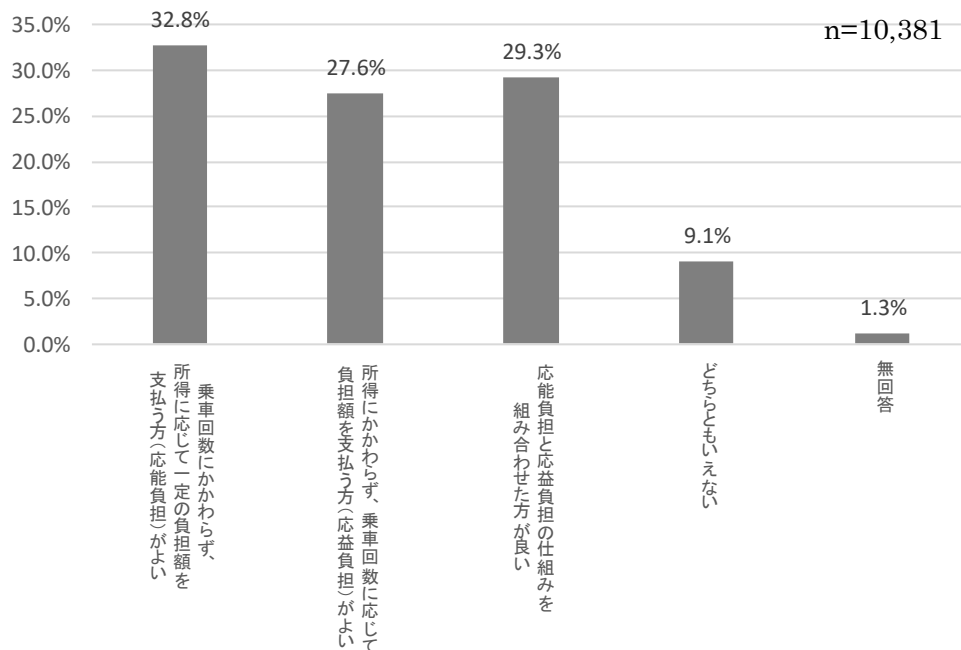
以下のとおりとなっています。



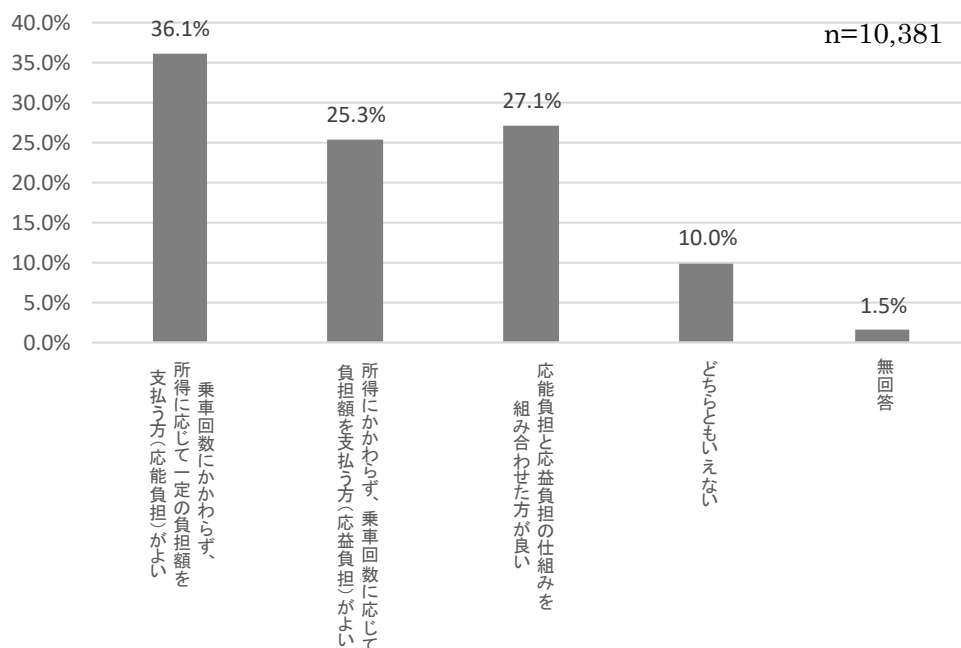
問19 敬老パスの利用者負担の支払い方についてどう思いますか。(いずれか一つに○)

[ウエイトバック集計結果]

「乗車回数にかかわらず、所得に応じて一定の負担額を支払う方(応能負担)がよい」が32.8%、「応能負担と応益負担の仕組みを組み合わせた方がよい」が29.3%、「所得にかかわらず、乗車回数に応じて負担額を支払う方(応益負担)がよい」が27.6%となっています。

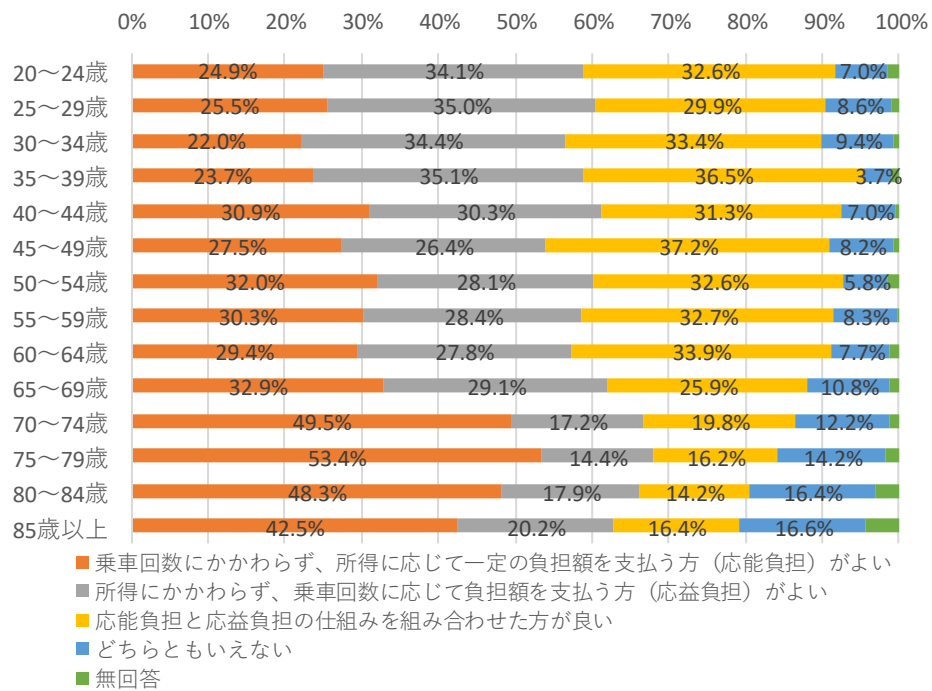


[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



[年代別集計結果]

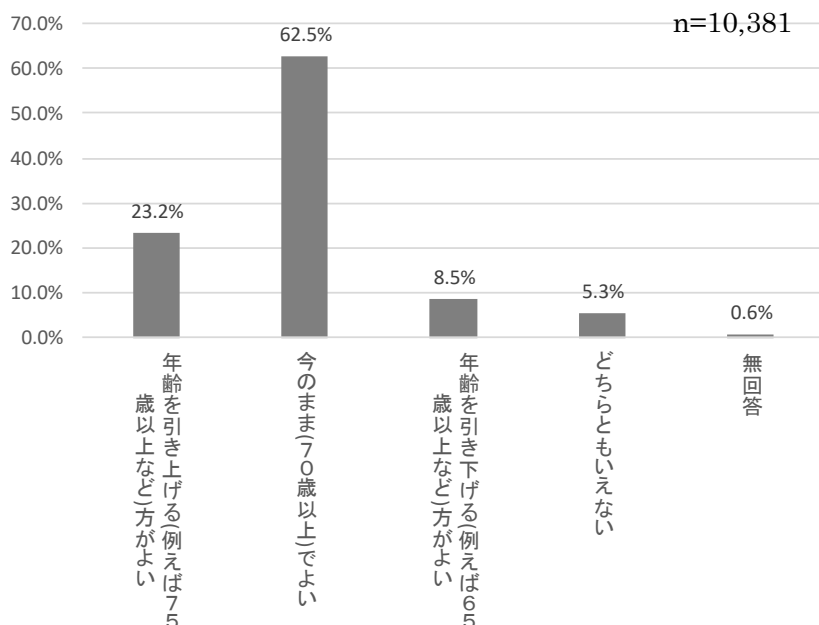
以下のとおりとなっています。



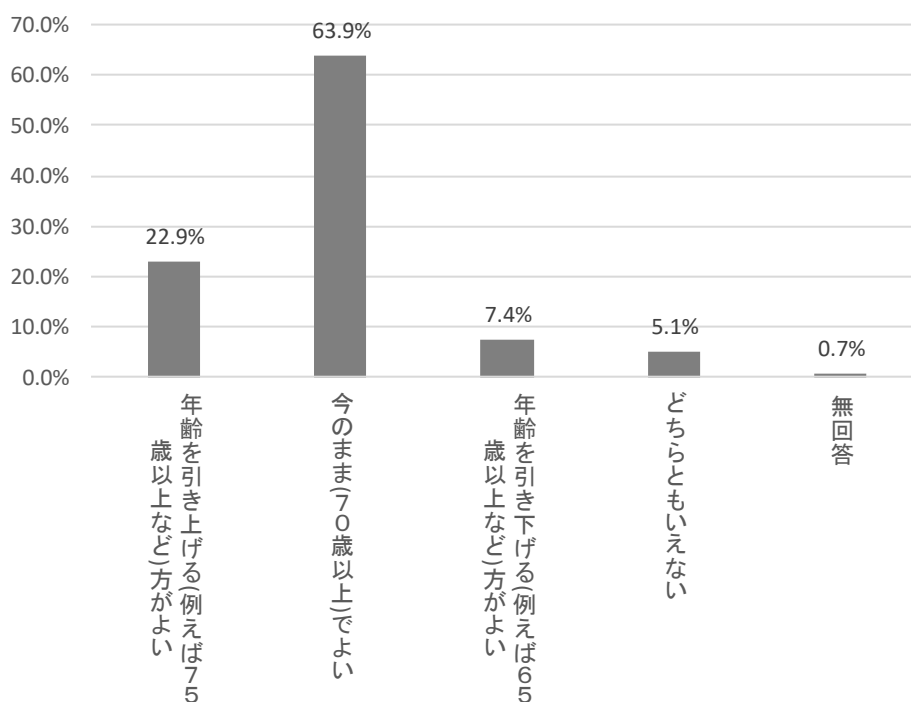
問20 健康寿命（心身ともに自立し健康的に生活できる期間）は年々伸びており、平成28年は男性72.14歳、女性74.79歳で平成13年と比べると、男性が2.74歳、女性が2.14歳増加しています。このような状況の中、敬老パスの対象年齢についてどのように考えますか。（いずれか一つに○）

[ウエイトバック集計結果]

「今のまま（70歳以上）でよい」が62.5%と最も多く、次いで「年齢を引き上げる（例えば75歳以上など）方がよい」が23.2%、「年齢を引き下げる（例えば65歳以上など）方がよい」が8.5%となっています。

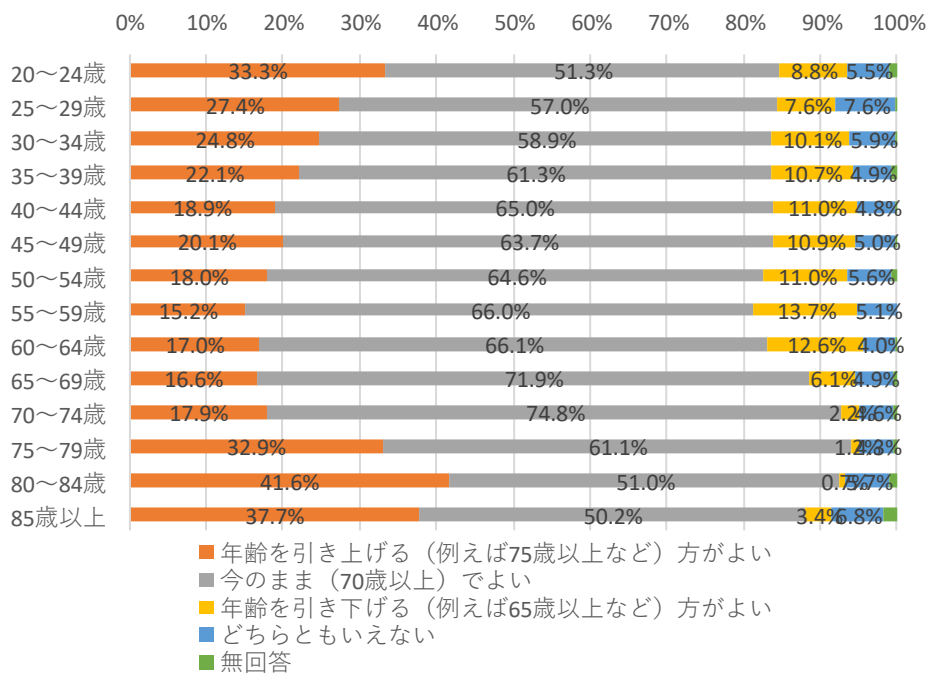


[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



[年代別集計結果]

以下のとおりとなっています。

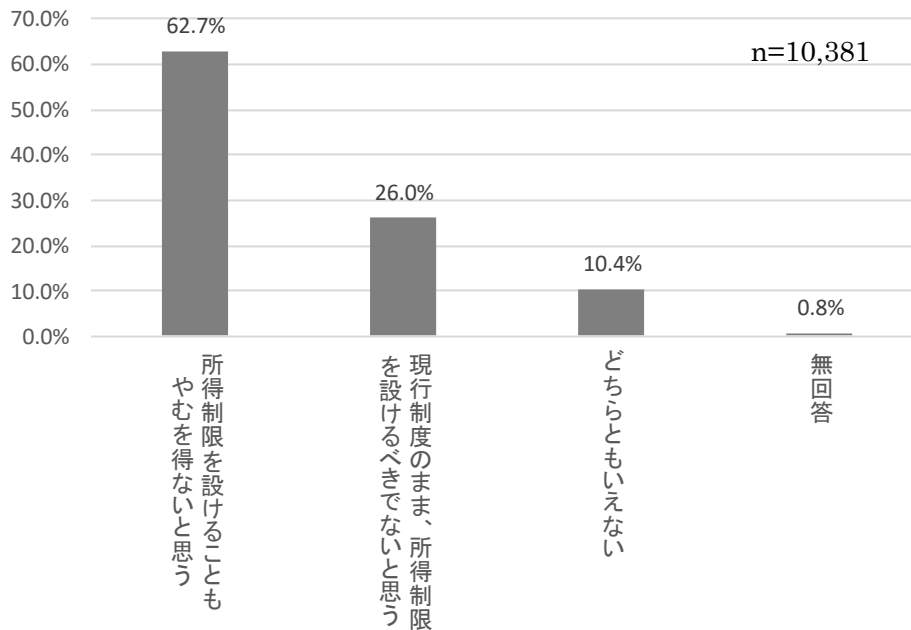




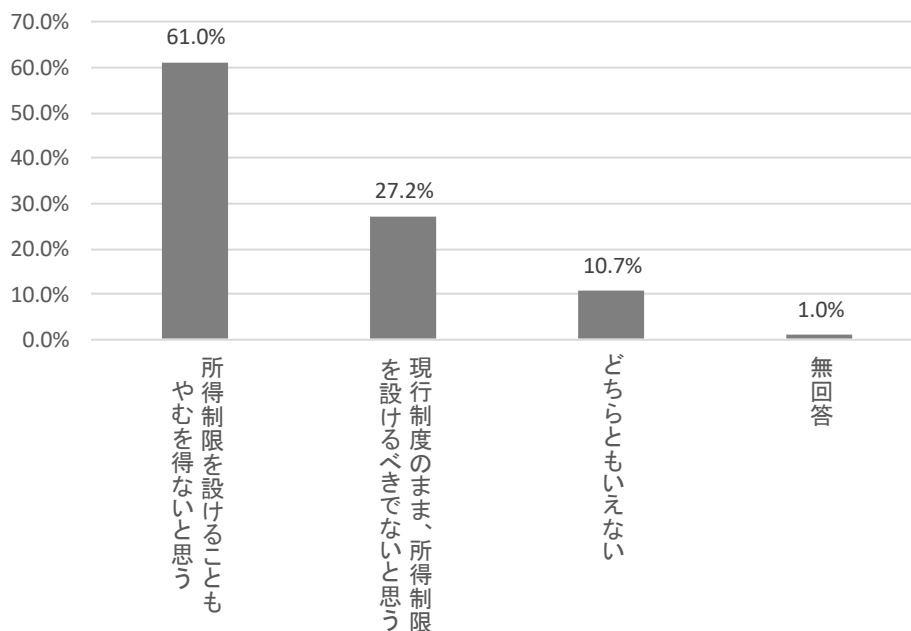
問 2 1 現在の利用者のうち、約 64%が非課税者であり、約 36%が課税者となっています。敬老パスの対象者に所得制限を設ける（一定以上の所得がある人は制度の対象外とする）ことについてどのように考えますか。（いずれか一つに○）

[ウエイトバック集計結果]

「所得制限を設けることもやむを得ないと思う」が 62.7%と最も多く、次いで「現行制度のまま、所得制限を設けるべきでないと思う」が 26.0%、「どちらともいえない」が 10.4%となっています。

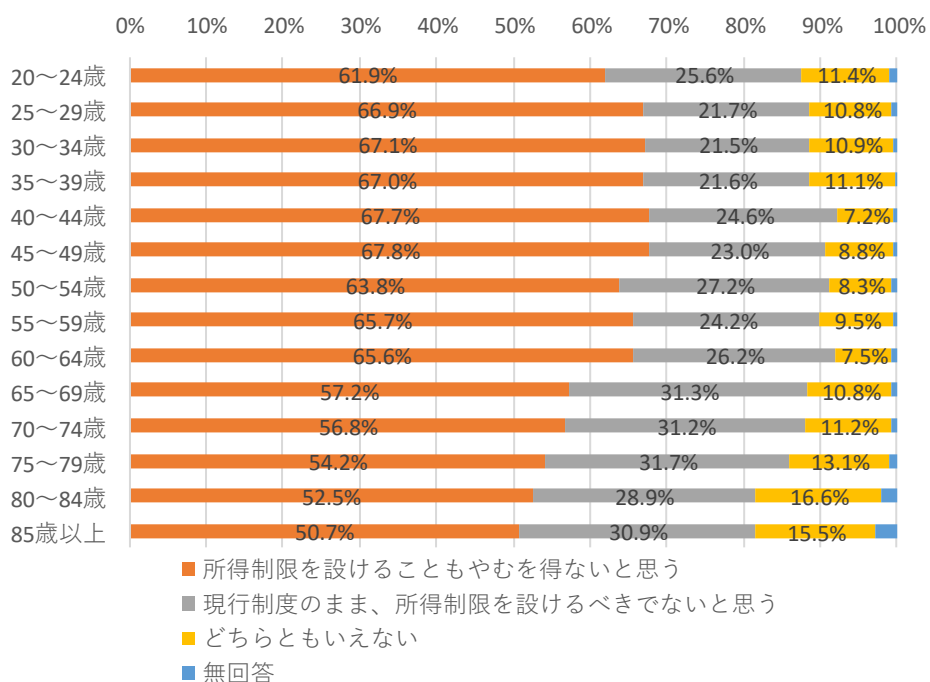


[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



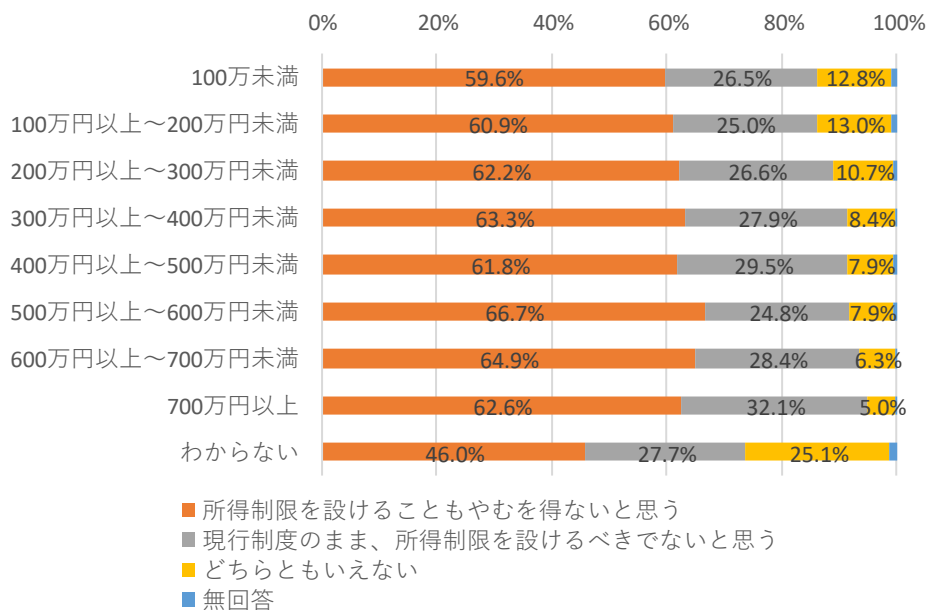
[年代別集計結果]

以下のとおりとなっています。



[回答者の年収（問5）別集計結果]

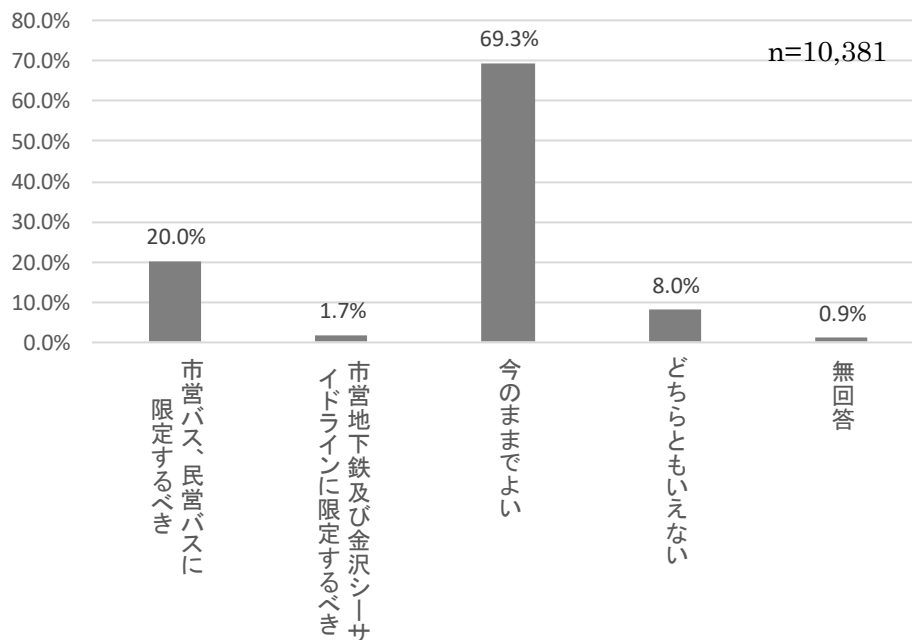
以下のとおりとなっています。



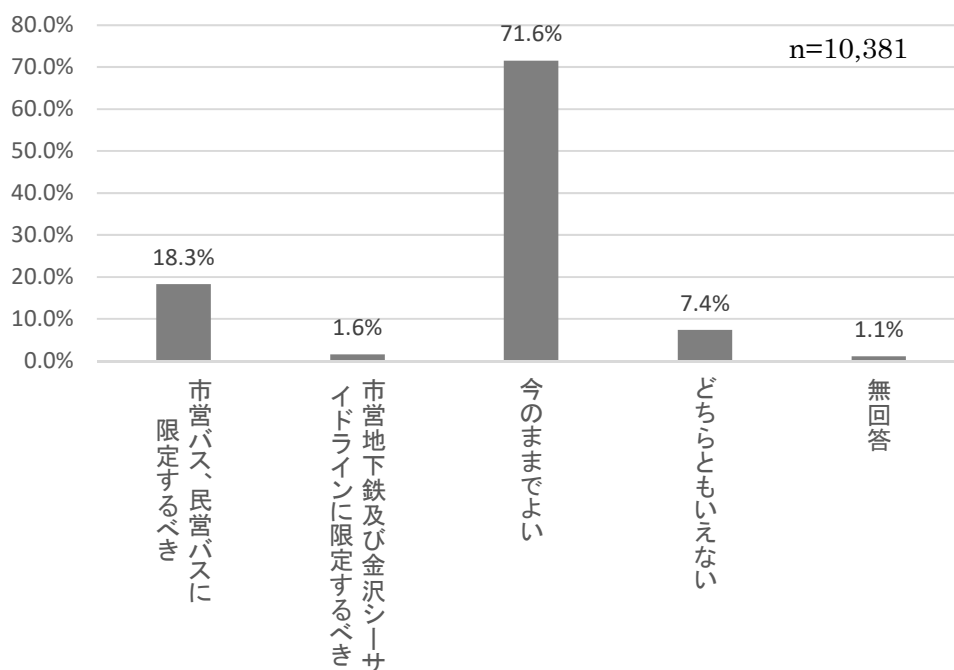
問 2 2 現在の対象交通機関は、市営バス、民営バス（市内区間）、市営地下鉄、金沢シーサイドラインとなっています。敬老パスの対象となる交通機関についてどのように考えますか。（いずれか一つに○）

[ウエイトバック集計結果]

「今のままでよい」が69.3%と最も多く、次いで「市営バス、民営バスに限定すべき」が20.0%、「どちらともいえない」が8.0%となっています。



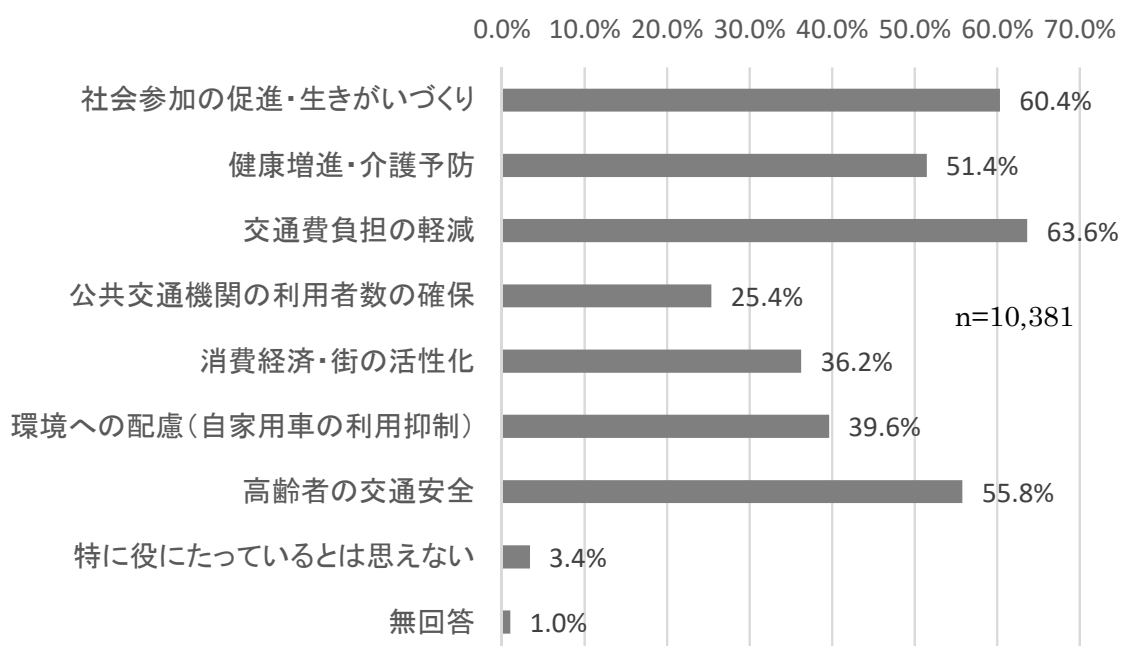
[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



## 問 2 3 敬老パスはどのようなことに役立っていると思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

「交通費負担の軽減」が 63.6%と最も多く、次いで「社会参加の促進・生きがいづくり」が 60.4%、「高齢者の交通安全」が 55.8%となっています。



### 【参考】ウエイトバック集計について

#### (1) ウエイトバック集計とは

回収されたサンプル（標本）を母集団の構成に合わせて集計する方法のことで、母集団と回収サンプルの構成比が異なる場合に、属性の抽出率や回収率の違いを補正し母集団構成比を復元する場合などに使用します。

今回、年齢層ごとに回答率に差があるため、問 17~22 についてはウエイトバック集計を行っています。

#### (2) 今回の集計の実施方法

- ① 対象となる問の年齢階層別集計結果を用います。市の年齢階層別人口（5歳階級、令和元年9月末日現在）に年齢階層別各選択肢の選択割合を乗じた値（人ベース）を算出します。
- ② ①で算出した値（人ベース）について、年齢階層別毎の数値を選択肢別に合算します。
- ③ 市の20歳以上年齢階層別人口（5歳階級、令和元年9月末日現在）に対する、②で算出した合算値の割合を算出します。これにより導き出された割合が、ウエイトバック集計後の割合となります。

①\_利用上限設定方式（バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月25回）

●前提条件

・R3年に制度改正  
 ・バス単価を220円とする。  
 ・交付者一人当たりの月利用上限回数を25回とする。各交通機関の内訳は次のとおり仮定。

- ・バス：21回
- ・市営地下鉄：3.1回
- ・金沢シーサイドライン：0.9回

（補足）全体の月乗車回数を25回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを21回（20.5回を切り上げ）とし、残りの4回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
 ただし、下記のR1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未済を考慮して試算する。  
 （例）バスは21回上限のため、下表の24回以上の区分（48.79%）は21回で計算する。一方、2回の区分（3.71%）は2回で計算する。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	3.96%	29.71%	83.37%
2	3.71%	16.08%	7.04%
4	5.56%	11.46%	2.43%
6	6.27%	6.09%	1.19%
8	10.93%	11.35%	2.01%
16	20.79%	11.37%	1.66%
24	20.11%	7.04%	1.14%
32	11.81%	3.26%	0.61%
40	8.65%	2.03%	0.30%
48	4.35%	0.89%	0.13%
56	3.87%	0.70%	0.13%

・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。  
 ・交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額  
 ・利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3%減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
 （補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6%減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6%減少している。  
 ・事務費は除外

●事業費推移

	決算数値		決算数値		制度改正																					
	2011	…	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	…	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	…	404,275人	414,179人	426,230人	412,790人	419,188人	423,403人	425,988人	428,354人	429,834人	430,353人	431,695人	433,479人	435,548人	437,569人	440,525人	444,442人	449,348人	456,273人	458,295人	466,784人	474,918人	483,847人	492,625人	501,478人
民営バス	44.9億円	…	55.6億円	58.7億円	60.2億円	95.7億円	97.2億円	76.6億円	77.0億円	77.5億円	77.7億円	77.8億円	78.1億円	78.4億円	78.8億円	79.1億円	79.7億円	80.4億円	81.3億円	82.5億円	82.9億円	84.4億円	85.9億円	87.5億円	89.1億円	90.7億円
市営バス	36.7億円	…	38.6億円	42.0億円	43.4億円	69.0億円	70.1億円	92.4億円	93.0億円	93.5億円	93.8億円	93.9億円	94.2億円	94.6億円	95.1億円	95.5億円	96.1億円	97.0億円	98.1億円	99.6億円	100.0億円	101.9億円	103.6億円	105.6億円	107.5億円	109.4億円
市営地下鉄	17.9億円	…	16.0億円	13.8億円	24.7億円	24.8億円	25.2億円	25.4億円	25.6億円	25.7億円	25.8億円	25.8億円	25.9億円	26.0億円	26.2億円	26.3億円	26.5億円	26.7億円	27.0億円	27.4億円	27.5億円	28.0億円	28.5億円	29.1億円	29.6億円	30.1億円
シーサイド	3.9億円	…	4.6億円	5.2億円	5.3億円	2.2億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.4億円	2.4億円	2.4億円	2.4億円	2.5億円	2.5億円	2.5億円	2.6億円	2.6億円	2.7億円	2.7億円
事業費合計	103.4億円	…	114.8億円	119.6億円	133.6億円	191.8億円	194.7億円	196.7億円	197.9億円	199.0億円	199.7億円	199.9億円	200.5億円	201.4億円	202.3億円	203.3億円	204.6億円	206.5億円	208.7億円	212.0億円	212.9億円	216.8億円	220.6億円	224.8億円	228.8億円	233.0億円
市費負担	86.7億円	…	95.0億円	99.4億円	112.8億円	165.5億円	168.1億円	169.7億円	170.8億円	171.7億円	172.3億円	172.5億円	173.1億円	173.8億円	174.6億円	175.4億円	176.6億円	178.2億円	180.1億円	182.9億円	183.7億円	187.1億円	190.4億円	194.0億円	197.5億円	201.0億円
利用者負担	16.7億円	…	19.7億円	20.2億円	20.9億円	26.3億円	26.7億円	26.9億円	27.1億円	27.3億円	27.3億円	27.4億円	27.5億円	27.6億円	27.7億円	27.8億円	28.0億円	28.3億円	28.6億円	29.0億円	29.2億円	29.7億円	30.2億円	30.8億円	31.3億円	31.9億円
平均利用者負担	4,992円	…	4,878円	4,886円	4,894円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円

●負担割合推移

	2011		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035		2036		2037		2038		2039		2040		2041	
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23																								
バス事業者	129.5億円	…	172.6億円	172.7億円	177.7億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円				
市費	68.4億円	…	78.0億円	83.7億円	87.4億円	142.1億円	144.4億円	145.9億円	146.7億円	147.5億円	148.1億円	148.2億円	148.7億円	149.3億円	150.1億円	150.7億円	151.7億円	153.1億円	154.8億円	157.2億円	157.8億円	160.8億円	163.6億円	166.6億円	169.7億円	172.7億円																								
利用者	13.2億円	…	16.2億円	17.0億円	16.2億円	22.6億円	22.9億円	23.1億円	23.3億円	23.5億円	23.4億円	23.5億円	23.6億円	23.7億円	23.8億円	23.9億円	24.1億円	24.3億円	24.6億円	24.9億円	25.1億円	25.5億円	25.9億円	26.5億円	26.9億円	27.4億円																								
バス事業者	61.3%	…	64.7%	63.2%	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																									
市費	32.4%	…	29.2%	30.6%	31.1%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%	86.3%																									
利用者	6.2%	…	6.1%	6.2%	5.8%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%	13.7%																										

●（参考）積算式

（民営・市営）バス： ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員  
 ②負担金算定人員×利用単価（220円※）×月乗車想定回数（21回※）×12月 = （民営・市営）バス負担金  
 ※R2年までは135円、15回

市営地下鉄： R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（250円）×月乗車想定回数（3.1回）×12月 = 市営地下鉄負担金

金沢シーサイドライン：R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（300円）×月乗車想定回数（0.9回）×12月 = 金沢シーサイドライン負担金

②\_利用上限設定方式（バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月25回）

●前提条件

・R3年に制度改正  
 ・バス単価を165円とする。  
 ・交付者一人当たりの月利用上限回数を25回とする。各交通機関の内訳は次のとおり仮定。

- バス：21回
- 市営地下鉄：3.1回
- 金沢シーサイドライン：0.9回

（補足）全体の月乗車回数を25回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを21回（20.5回を切り上げ）とし、残りの4回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
 ただし、下記のR1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未済を考慮して試算する。  
 （例）バスは21回上限のため、下表の24回以上の区分（48.79%）は21回で計算する。一方、2回の区分（3.71%）は2回で計算する。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	3.96%	29.71%	83.37%
2	3.71%	16.08%	7.04%
4	5.56%	11.46%	2.43%
6	6.27%	6.09%	1.19%
8	10.93%	11.35%	2.01%
16	20.79%	11.37%	1.66%
24	20.11%	7.04%	1.14%
32	11.81%	3.26%	0.61%
40	8.65%	2.03%	0.30%
48	4.35%	0.89%	0.13%
56	3.87%	0.70%	0.13%

・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。  
 ・交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額  
 ・利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3%減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
 （補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6%減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6%減少している。  
 ・事務費は除外

●事業費推移

	決算数値		決算数値		制度改正																					
	2011	…	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	…	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	…	404,275人	414,179人	426,230人	412,790人	419,188人	423,403人	425,988人	428,354人	429,834人	430,353人	431,695人	433,479人	435,548人	437,569人	440,525人	444,442人	449,348人	456,273人	458,295人	466,784人	474,918人	483,847人	492,625人	501,478人
民営バス	44.9億円	…	55.6億円	58.7億円	60.2億円	71.8億円	72.9億円	57.4億円	57.8億円	58.1億円	58.3億円	58.4億円	58.6億円	58.8億円	59.1億円	59.3億円	59.7億円	60.3億円	60.9億円	61.9億円	62.2億円	63.3億円	64.4億円	65.6億円	66.8億円	68.0億円
市営バス	36.7億円	…	38.6億円	42.0億円	43.4億円	51.8億円	52.6億円	69.3億円	69.7億円	70.1億円	70.4億円	70.4億円	70.7億円	71.0億円	71.3億円	71.6億円	72.1億円	72.7億円	73.5億円	74.7億円	75.0億円	76.4億円	77.7億円	79.2億円	80.6億円	82.1億円
市営地下鉄	17.9億円	…	16.0億円	13.8億円	24.7億円	24.8億円	25.2億円	25.4億円	25.6億円	25.7億円	25.8億円	25.8億円	25.9億円	26.0億円	26.2億円	26.3億円	26.5億円	26.7億円	27.0億円	27.4億円	27.5億円	28.0億円	28.5億円	29.1億円	29.6億円	30.1億円
シーサイド	3.9億円	…	4.6億円	5.2億円	5.3億円	2.2億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.4億円	2.4億円	2.4億円	2.4億円	2.5億円	2.5億円	2.5億円	2.6億円	2.6億円	2.7億円	2.7億円
事業費合計	103.4億円	…	114.8億円	119.6億円	133.6億円	150.6億円	152.9億円	154.4億円	155.4億円	156.2億円	156.8億円	157.0億円	157.5億円	158.1億円	158.9億円	159.6億円	160.7億円	162.1億円	163.9億円	166.4億円	167.2億円	170.3億円	173.2億円	176.5億円	179.7億円	182.9億円
市費負担	86.7億円	…	95.0億円	99.4億円	112.8億円	124.3億円	126.2億円	127.5億円	128.3億円	129.0億円	129.4億円	129.6億円	130.0億円	130.5億円	131.2億円	131.8億円	132.7億円	133.8億円	135.3億円	137.4億円	138.0億円	140.6億円	143.0億円	145.7億円	148.3億円	151.0億円
利用者負担	16.7億円	…	19.7億円	20.2億円	20.9億円	26.3億円	26.7億円	26.9億円	27.1億円	27.3億円	27.3億円	27.4億円	27.5億円	27.6億円	27.7億円	27.8億円	28.0億円	28.3億円	28.6億円	29.0億円	29.2億円	29.7億円	30.2億円	30.8億円	31.3億円	31.9億円
平均利用者負担	4,992円	…	4,878円	4,886円	4,894円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円

●負担割合推移

	2011		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035		2036		2037		2038		2039		2040		2041	
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23																								
バス事業者	129.5億円	…	172.6億円	172.7億円	177.7億円	41.2億円	41.8億円	42.2億円	42.5億円	42.7億円	42.9億円	42.9億円	43.1億円	43.2億円	43.5億円	43.7億円	44.0億円	44.3億円	44.8億円	45.5億円	45.7億円	46.6億円	47.4億円	48.3億円	49.1億円	50.0億円																								
市費	68.4億円	…	78.0億円	83.7億円	87.4億円	102.0億円	103.6億円	104.6億円	105.3億円	105.8億円	106.3億円	106.3億円	106.7億円	107.1億円	107.7億円	108.1億円	108.8億円	109.8億円	110.9億円	112.8億円	113.2億円	115.3億円	117.3億円	119.5億円	121.7億円	123.9億円																								
利用者	13.2億円	…	16.2億円	17.0億円	16.2億円	21.6億円	21.9億円	22.1億円	22.2億円	22.4億円	22.4億円	22.5億円	22.6億円	22.7億円	22.7億円	23.0億円	23.2億円	23.5億円	23.8億円	24.0億円	24.4億円	24.8億円	25.3億円	25.7億円	26.2億円																									
バス事業者	61.3%	…	64.7%	63.2%	63.2%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%																									
市費	32.4%	…	29.2%	30.6%	31.1%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%	61.9%																									
利用者	6.2%	…	6.1%	6.2%	5.8%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%	13.1%																										

●（参考）積算式

（民営・市営）バス： ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員  
 ②負担金算定人員×利用単価（165円※）×月乗車想定回数（21回※）×12月 = （民営・市営）バス負担金  
 ※R2年までは135円、15回

市営地下鉄： R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（250円）×月乗車想定回数（3.1回）×12月 = 市営地下鉄負担金

金沢シーサイドライン：R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（300円）×月乗車想定回数（0.9回）×12月 = 金沢シーサイドライン負担金

③\_利用上限設定方式（バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月25回）

●前提条件

・R3年に制度改正  
 ・バス単価を135円とする。  
 ・交付者一人当たりの月利用上限回数を25回とする。各交通機関の内訳は次のとおり仮定。

- バス：21回
- 市営地下鉄：3.1回
- 金沢シーサイドライン：0.9回

（補足）全体の月乗車回数を25回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを21回（20.5回を切り上げ）とし、残りの4回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
 ただし、下記のR1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未満を考慮して試算する。  
 （例）バスは21回上限のため、下表の24回以上の区分（48.79%）は21回で計算する。一方、2回の区分（3.71%）は2回で計算する。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	3.96%	29.71%	83.37%
2	3.71%	16.08%	7.04%
4	5.56%	11.46%	2.43%
6	6.27%	6.09%	1.19%
8	10.93%	11.35%	2.01%
16	20.79%	11.37%	1.66%
24	20.11%	7.04%	1.14%
32	11.81%	3.26%	0.61%
40	8.65%	2.03%	0.30%
48	4.35%	0.89%	0.13%
56	3.87%	0.70%	0.13%

・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。  
 ・交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額  
 ・利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3%減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
 （補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6%減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6%減少している。  
 ・事務費は除外

●事業費推移

	2011		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035		2036		2037		2038		2039		2040		2041	
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41	R42					
対象者数	564,756人	…	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人																								
交付者数	335,127人	…	404,275人	414,179人	426,230人	412,790人	419,188人	423,403人	425,988人	428,354人	429,834人	430,353人	431,695人	433,479人	435,548人	437,569人	440,525人	444,442人	449,348人	456,273人	458,295人	466,784人	474,918人	483,847人	492,625人	501,478人																								
民営バス	44.9億円	…	55.6億円	58.7億円	60.2億円	58.7億円	59.6億円	47.0億円	47.3億円	47.5億円	47.7億円	47.8億円	47.9億円	48.1億円	48.3億円	48.6億円	48.9億円	49.3億円	49.9億円	50.6億円	50.9億円	51.8億円	52.7億円	53.7億円	54.7億円	55.7億円																								
市営バス	36.7億円	…	38.6億円	42.0億円	43.4億円	42.4億円	43.0億円	56.7億円	57.0億円	57.4億円	57.6億円	57.6億円	57.8億円	58.1億円	58.3億円	58.6億円	59.0億円	59.5億円	60.2億円	61.1億円	61.4億円	62.5億円	63.6億円	64.8億円	66.0億円	67.2億円																								
市営地下鉄	17.9億円	…	16.0億円	13.8億円	24.7億円	24.8億円	25.2億円	25.4億円	25.6億円	25.7億円	25.8億円	25.8億円	25.9億円	26.0億円	26.2億円	26.3億円	26.5億円	26.7億円	27.0億円	27.4億円	27.5億円	28.0億円	28.5億円	29.1億円	29.6億円	30.1億円																								
シーサイド	3.9億円	…	4.6億円	5.2億円	5.3億円	2.2億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.3億円	2.4億円	2.4億円	2.4億円	2.4億円	2.5億円	2.5億円	2.5億円	2.6億円	2.6億円	2.7億円	2.7億円																								
事業費合計	103.4億円	…	114.8億円	119.6億円	133.6億円	128.1億円	130.1億円	131.4億円	132.2億円	132.9億円	133.4億円	133.6億円	134.0億円	134.5億円	135.2億円	135.8億円	136.7億円	137.9億円	139.5億円	141.6億円	142.2億円	144.9億円	147.4億円	150.2億円	152.9億円	155.6億円																								
市費負担	86.7億円	…	95.0億円	99.4億円	112.8億円	101.8億円	103.4億円	104.5億円	105.1億円	105.7億円	106.0億円	106.2億円	106.5億円	106.9億円	107.5億円	108.0億円	108.7億円	109.7億円	110.9億円	112.6億円	113.1億円	115.2億円	117.2億円	119.4億円	121.5億円	123.7億円																								
利用者負担	16.7億円	…	19.7億円	20.2億円	20.9億円	26.3億円	26.7億円	26.9億円	27.1億円	27.3億円	27.3億円	27.4億円	27.5億円	27.6億円	27.7億円	27.8億円	28.0億円	28.3億円	28.6億円	29.0億円	29.2億円	29.7億円	30.2億円	30.8億円	31.3億円	31.9億円																								
平均利用者負担	4,992円	…	4,878円	4,886円	4,894円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円																								

●負担割合推移

	2011		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035		2036		2037		2038		2039		2040		2041	
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41	R42					
バス事業者	129.5億円	…	172.6億円	172.7億円	177.7億円	63.6億円	64.6億円	65.3億円	65.7億円	66.0億円	66.3億円	66.4億円	66.6億円	66.8億円	67.2億円	67.5億円	67.9億円	68.5億円	69.3億円	70.4億円	70.7億円	72.0億円	73.2億円	74.6億円	76.0億円	77.3億円																								
市費	68.4億円	…	78.0億円	83.7億円	87.4億円	80.3億円	81.5億円	82.5億円	82.9億円	83.4億円	83.8億円	83.8億円	84.0億円	84.4億円	84.8億円	85.3億円	85.8億円	86.5億円	87.5億円	88.8億円	89.2億円	90.9億円	92.5億円	94.2億円	96.0億円	97.7億円																								
利用者	13.2億円	…	16.2億円	17.0億円	16.2億円	20.8億円	21.1億円	21.2億円	21.4億円	21.5億円	21.5億円	21.6億円	21.7億円	21.8億円	21.8億円	21.9億円	22.1億円	22.3億円	22.6億円	22.9億円	23.1億円	23.4億円	23.8億円	24.3億円	24.7億円	25.2億円																								
バス事業者	61.3%	…	64.7%	63.2%	63.2%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.7%	38.6%	38.7%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.7%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%																									
市費	32.4%	…	29.2%	30.6%	31.1%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%	48.8%																									
利用者	6.2%	…	6.1%	6.2%	5.8%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%	12.6%																										

●（参考）積算式

（民営・市営）バス： ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員  
 ②負担金算定人員×利用単価（135円）×月乗車想定回数（21回※）×12月 = （民営・市営）バス負担金  
 ※R2年までは15回

市営地下鉄： R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（250円）×月乗車想定回数（3.1回）×12月 = 市営地下鉄負担金

金沢シーサイドライン：R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（300円）×月乗車想定回数（0.9回）×12月 = 金沢シーサイドライン負担金

④\_利用上限設定方式（バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月20回）

●前提条件

・R3年に制度改正  
 ・バス単価を220円とする。  
 ・交付者一人当たりの月利用上限回数を20回とする。各交通機関の内訳は次のとおり仮定。

- ・バス：17回
- ・市営地下鉄：2.3回
- ・金沢シーサイドライン：0.7回

（補足）全体の月乗車回数を20回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを17回（16.4回を切り上げ）とし、残りの3回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
 ただし、下記のR1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未済を考慮して試算する。  
 （例）バスは17回上限のため、下表の24回以上の区分（48.79%）は17回で計算する。一方、2回の区分（3.71%）は2回で計算する。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	3.96%	29.71%	83.37%
2	3.71%	16.08%	7.04%
4	5.56%	11.46%	2.43%
6	6.27%	6.09%	1.19%
8	10.93%	11.35%	2.01%
16	20.79%	11.37%	1.66%
24	20.11%	7.04%	1.14%
32	11.81%	3.26%	0.61%
40	8.65%	2.03%	0.30%
48	4.35%	0.89%	0.13%
56	3.87%	0.70%	0.13%

・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。  
 ・交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額  
 ・利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3%減少（58.43%→55.43%））すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
 （補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6%減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6%減少している。  
 ・事務費は除外

●事業費推移

	決算数値		決算数値		制度改正																					
	2011	…	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	…	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	…	404,275人	414,179人	426,230人	412,790人	419,188人	423,403人	425,988人	428,354人	429,834人	430,353人	431,695人	433,479人	435,548人	437,569人	440,525人	444,442人	449,348人	456,273人	458,295人	466,784人	474,918人	483,847人	492,625人	501,478人
民営バス	44.9億円	…	55.6億円	58.7億円	60.2億円	84.7億円	86.0億円	86.9億円	87.4億円	87.9億円	88.2億円	88.3億円	88.6億円	88.9億円	89.3億円	89.8億円	90.4億円	91.2億円	92.2億円	93.6億円	94.0億円	95.8億円	97.4億円	99.3億円	101.1億円	102.9億円
市営バス	36.7億円	…	38.6億円	42.0億円	43.4億円	61.1億円	62.0億円	62.6億円	63.0億円	63.4億円	63.6億円	63.7億円	63.9億円	64.1億円	64.4億円	64.7億円	65.2億円	65.7億円	66.5億円	67.5億円	67.8億円	69.1億円	70.3億円	71.6億円	72.9億円	74.2億円
市営地下鉄	17.9億円	…	16.0億円	13.8億円	24.7億円	19.4億円	19.7億円	19.9億円	20.0億円	20.2億円	20.2億円	20.2億円	20.3億円	20.4億円	20.5億円	20.6億円	20.7億円	20.9億円	21.1億円	21.5億円	21.6億円	22.0億円	22.3億円	22.8億円	23.2億円	23.6億円
シーサイド	3.9億円	…	4.6億円	5.2億円	5.3億円	1.7億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.9億円	1.9億円	1.9億円	1.9億円	2.0億円	2.0億円	2.0億円	2.1億円	2.1億円
事業費合計	103.4億円	…	114.8億円	119.6億円	133.6億円	166.9億円	169.5億円	171.2億円	172.2億円	173.2億円	173.8億円	174.0億円	174.5億円	175.3億円	176.1億円	176.9億円	178.1億円	179.7億円	181.7億円	184.5億円	185.3億円	188.7億円	192.0億円	195.6億円	199.2億円	202.8億円
市費負担	86.7億円	…	95.0億円	99.4億円	112.8億円	140.6億円	142.8億円	144.2億円	145.1億円	145.9億円	146.4億円	146.6億円	147.1億円	147.7億円	148.4億円	149.1億円	150.1億円	151.4億円	153.1億円	155.4億円	156.1億円	159.0億円	161.8億円	164.8億円	167.8億円	170.8億円
利用者負担	16.7億円	…	19.7億円	20.2億円	20.9億円	26.3億円	26.7億円	26.9億円	27.1億円	27.3億円	27.3億円	27.4億円	27.5億円	27.6億円	27.7億円	27.8億円	28.0億円	28.3億円	28.6億円	29.0億円	29.2億円	29.7億円	30.2億円	30.8億円	31.3億円	31.9億円
平均利用者負担	4,992円	…	4,878円	4,886円	4,894円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円

●負担割合推移

	2011		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035		2036		2037		2038		2039		2040		2041	
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23																								
バス事業者	129.5億円	…	172.6億円	172.7億円	177.7億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円				
市費	68.4億円	…	78.0億円	83.7億円	87.4億円	122.8億円	124.7億円	126.0億円	126.7億円	127.5億円	128.0億円	128.1億円	128.5億円	128.9億円	129.5億円	130.2億円	131.1億円	132.2億円	133.7億円	135.8億円	136.3億円	138.9億円	141.3億円	144.0億円	146.7億円	149.2億円																								
利用者	13.2億円	…	16.2億円	17.0億円	16.2億円	23.0億円	23.3億円	23.5億円	23.7億円	23.8億円	23.8億円	23.9億円	24.0億円	24.1億円	24.2億円	24.3億円	24.5億円	24.7億円	25.0億円	25.3億円	25.5億円	26.0億円	26.4億円	26.9億円	27.3億円	27.9億円																								
バス事業者	61.3%	…	64.7%	63.2%	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																									
市費	32.4%	…	29.2%	30.6%	31.1%	84.2%	84.2%	84.3%	84.3%	84.2%	84.3%	84.3%	84.2%	84.3%	84.3%	84.3%	84.3%	84.3%	84.3%	84.2%	84.3%	84.3%	84.3%	84.3%	84.3%																									
利用者	6.2%	…	6.1%	6.2%	5.8%	15.8%	15.8%	15.7%	15.7%	15.8%	15.7%	15.7%	15.8%	15.7%	15.7%	15.7%	15.7%	15.7%	15.7%	15.8%	15.7%	15.7%	15.7%	15.7%																										

●（参考）積算式

（民営・市営）バス： ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員  
 ②負担金算定人員×利用単価（220円※）×月乗車想定回数（17回※）×12月 = （民営・市営）バス負担金  
 ※R2年までは135円、15回

市営地下鉄： R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（250円）×月乗車想定回数（2.3回）×12月 = 市営地下鉄負担金

金沢シーサイドライン：R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（300円）×月乗車想定回数（0.7回）×12月 = 金沢シーサイドライン負担金



⑤\_利用上限設定方式（バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月20回）

●前提条件

・R3年に制度改正  
 ・バス単価を165円とする。  
 ・交付者一人当たりの月利用上限回数を20回とする。各交通機関の内訳は次のとおり仮定。

- ・バス：17回
- ・市営地下鉄：2.3回
- ・金沢シーサイドライン：0.7回

（補足）全体の月乗車回数を20回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを17回（16.4回を切り上げ）とし、残りの3回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
 ただし、下記のR1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未済を考慮して試算する。  
 （例）バスは17回上限のため、下表の24回以上の区分（48.79%）は17回で計算する。一方、2回の区分（3.71%）は2回で計算する。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	3.96%	29.71%	83.37%
2	3.71%	16.08%	7.04%
4	5.56%	11.46%	2.43%
6	6.27%	6.09%	1.19%
8	10.93%	11.35%	2.01%
16	20.79%	11.37%	1.66%
24	20.11%	7.04%	1.14%
32	11.81%	3.26%	0.61%
40	8.65%	2.03%	0.30%
48	4.35%	0.89%	0.13%
56	3.87%	0.70%	0.13%

・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。  
 ・交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額  
 ・利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3%減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
 （補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6%減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6%減少している。  
 ・事務費は除外

●事業費推移

	決算数値		決算数値		制度改正																					
	2011	…	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	…	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	…	404,275人	414,179人	426,230人	412,790人	419,188人	423,403人	425,988人	428,354人	429,834人	430,353人	431,695人	433,479人	435,548人	437,569人	440,525人	444,442人	449,348人	456,273人	458,295人	466,784人	474,918人	483,847人	492,625人	501,478人
民営バス	44.9億円	…	55.6億円	58.7億円	60.2億円	63.5億円	64.5億円	65.1億円	65.5億円	65.9億円	66.1億円	66.2億円	66.4億円	66.7億円	67.0億円	67.3億円	67.8億円	68.4億円	69.1億円	70.2億円	70.5億円	71.8億円	73.1億円	74.4億円	75.8億円	77.2億円
市営バス	36.7億円	…	38.6億円	42.0億円	43.4億円	45.8億円	46.5億円	47.0億円	47.3億円	47.5億円	47.7億円	47.7億円	47.9億円	48.1億円	48.3億円	48.5億円	48.9億円	49.3億円	49.9億円	50.6億円	50.8億円	51.8億円	52.7億円	53.7億円	54.7億円	55.6億円
市営地下鉄	17.9億円	…	16.0億円	13.8億円	24.7億円	19.4億円	19.7億円	19.9億円	20.0億円	20.2億円	20.2億円	20.2億円	20.3億円	20.4億円	20.5億円	20.6億円	20.7億円	20.9億円	21.1億円	21.5億円	21.6億円	22.0億円	22.3億円	22.8億円	23.2億円	23.6億円
シーサイド	3.9億円	…	4.6億円	5.2億円	5.3億円	1.7億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.9億円	1.9億円	1.9億円	1.9億円	2.0億円	2.0億円	2.0億円	2.1億円	2.1億円
事業費合計	103.4億円	…	114.8億円	119.6億円	133.6億円	130.5億円	132.5億円	133.8億円	134.6億円	135.4億円	135.8億円	136.0億円	136.4億円	137.0億円	137.7億円	138.3億円	139.2億円	140.5億円	142.0億円	144.2億円	144.8億円	147.5億円	150.1億円	152.9億円	155.7億円	158.5億円
市費負担	86.7億円	…	95.0億円	99.4億円	112.8億円	104.2億円	105.8億円	106.9億円	107.5億円	108.1億円	108.5億円	108.6億円	109.0億円	109.4億円	109.9億円	110.5億円	111.2億円	112.2億円	113.4億円	115.2億円	115.7億円	117.8億円	119.9億円	122.1億円	124.3億円	126.6億円
利用者負担	16.7億円	…	19.7億円	20.2億円	20.9億円	26.3億円	26.7億円	26.9億円	27.1億円	27.3億円	27.3億円	27.4億円	27.5億円	27.6億円	27.7億円	27.8億円	28.0億円	28.3億円	28.6億円	29.0億円	29.2億円	29.7億円	30.2億円	30.8億円	31.3億円	31.9億円
平均利用者負担	4,992円	…	4,878円	4,886円	4,894円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円

●負担割合推移

	2011		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035		2036		2037		2038		2039		2040		2041	
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23																								
バス事業者	129.5億円	…	172.6億円	172.7億円	177.7億円	36.4億円	37.0億円	37.4億円	37.6億円	37.8億円	37.9億円	38.0億円	38.1億円	38.3億円	38.4億円	38.6億円	38.9億円	39.2億円	39.7億円	40.3億円	40.5億円	41.2億円	41.9億円	42.7億円	43.5億円	44.3億円																								
市費	68.4億円	…	78.0億円	83.7億円	87.4億円	87.3億円	88.6億円	89.6億円	90.1億円	90.5億円	90.9億円	91.0億円	91.3億円	91.7億円	92.1億円	92.5億円	93.2億円	94.0億円	95.0億円	96.5億円	96.8億円	98.7億円	100.5億円	102.3億円	104.3億円	106.1億円																								
利用者	13.2億円	…	16.2億円	17.0億円	16.2億円	22.0億円	22.4億円	22.5億円	22.7億円	22.9億円	22.9億円	22.9億円	23.0億円	23.1億円	23.2億円	23.3億円	23.5億円	23.7億円	24.0億円	24.3億円	24.5億円	24.9億円	25.3億円	25.8億円	26.2億円	26.7億円																								
バス事業者	61.3%	…	64.7%	63.2%	63.2%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%																									
市費	32.4%	…	29.2%	30.6%	31.1%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%	59.9%																									
利用者	6.2%	…	6.1%	6.2%	5.8%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%																									

●（参考）積算式

（民営・市営）バス： ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員  
 ②負担金算定人員×利用単価（165円※）×月乗車想定回数（17回※）×12月 = （民営・市営）バス負担金  
 ※R2年までは135円、15回

市営地下鉄： R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（250円）×月乗車想定回数（2.3回）×12月 = 市営地下鉄負担金

金沢シーサイドライン：R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（300円）×月乗車想定回数（0.7回）×12月 = 金沢シーサイドライン負担金

⑥\_利用上限設定方式（バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月20回）

●前提条件

- ・R3年に制度改正
- ・バス単価を135円とする。
- ・交付者一人当たりの月利用上限回数を20回とする。各交通機関の内訳は次のとおり仮定。
  - ・バス：17回
  - ・市営地下鉄：2.3回
  - ・金沢シーサイドライン：0.7回

（補足）全体の月乗車回数を20回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを17回（16.4回を切り上げ）とし、残りの3回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
ただし、下記のR1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未済を考慮して試算する。  
（例）バスは17回上限のため、下表の24回以上の区分（48.79%）は17回で計算する。一方、2回の区分（3.71%）は2回で計算する。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	3.96%	29.71%	83.37%
2	3.71%	16.08%	7.04%
4	5.56%	11.46%	2.43%
6	6.27%	6.09%	1.19%
8	10.93%	11.35%	2.01%
16	20.79%	11.37%	1.66%
24	20.11%	7.04%	1.14%
32	11.81%	3.26%	0.61%
40	8.65%	2.03%	0.30%
48	4.35%	0.89%	0.13%
56	3.87%	0.70%	0.13%

- ・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。
- ・交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- ・利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3%減少（58.43%→55.43%））すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6%減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6%減少している。
- ・事務費は除外

●事業費推移

	決算数値		決算数値		制度改正																					
	2011	…	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	…	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	…	404,275人	414,179人	426,230人	412,790人	419,188人	423,403人	425,988人	428,354人	429,834人	430,353人	431,695人	433,479人	435,548人	437,569人	440,525人	444,442人	449,348人	456,273人	458,295人	466,784人	474,918人	483,847人	492,625人	501,478人
民営バス	44.9億円	…	55.6億円	58.7億円	60.2億円	52.0億円	52.8億円	53.3億円	53.6億円	53.9億円	54.1億円	54.2億円	54.3億円	54.6億円	54.8億円	55.1億円	55.5億円	55.9億円	56.6億円	57.4億円	57.7億円	58.8億円	59.8億円	60.9億円	62.0億円	63.1億円
市営バス	36.7億円	…	38.6億円	42.0億円	43.4億円	37.5億円	38.1億円	38.4億円	38.7億円	38.9億円	39.0億円	39.1億円	39.2億円	39.4億円	39.5億円	39.7億円	40.0億円	40.3億円	40.8億円	41.4億円	41.6億円	42.4億円	43.1億円	43.9億円	44.7億円	45.5億円
市営地下鉄	17.9億円	…	16.0億円	13.8億円	24.7億円	19.4億円	19.7億円	19.9億円	20.0億円	20.2億円	20.2億円	20.2億円	20.3億円	20.4億円	20.5億円	20.6億円	20.7億円	20.9億円	21.1億円	21.5億円	21.6億円	22.0億円	22.3億円	22.8億円	23.2億円	23.6億円
シーサイド	3.9億円	…	4.6億円	5.2億円	5.3億円	1.7億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.8億円	1.9億円	1.9億円	1.9億円	1.9億円	2.0億円	2.0億円	2.0億円	2.1億円	2.1億円
事業費合計	103.4億円	…	114.8億円	119.6億円	133.6億円	110.6億円	112.3億円	113.4億円	114.1億円	114.8億円	115.2億円	115.3億円	115.6億円	116.1億円	116.7億円	117.2億円	118.0億円	119.1億円	120.4億円	122.2億円	122.8億円	125.0億円	127.2億円	129.6億円	132.0億円	134.3億円
市費負担	86.7億円	…	95.0億円	99.4億円	112.8億円	84.3億円	85.6億円	86.5億円	87.0億円	87.5億円	87.8億円	87.9億円	88.2億円	88.5億円	89.0億円	89.4億円	90.0億円	90.8億円	91.8億円	93.2億円	93.6億円	95.4億円	97.0億円	98.8億円	100.6億円	102.4億円
利用者負担	16.7億円	…	19.7億円	20.2億円	20.9億円	26.3億円	26.7億円	26.9億円	27.1億円	27.3億円	27.3億円	27.4億円	27.5億円	27.6億円	27.7億円	27.8億円	28.0億円	28.3億円	28.6億円	29.0億円	29.2億円	29.7億円	30.2億円	30.8億円	31.3億円	31.9億円
平均利用者負担	4,992円	…	4,878円	4,886円	4,894円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円

●負担割合推移

	2011		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035		2036		2037		2038		2039		2040		2041	
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23																								
バス事業者	129.5億円	…	172.6億円	172.7億円	177.7億円	56.3億円	57.2億円	57.8億円	58.1億円	58.4億円	58.6億円	58.7億円	58.9億円	59.1億円	59.4億円	59.7億円	60.1億円	60.6億円	61.3億円	62.2億円	62.5億円	63.7億円	64.8億円	66.0億円	67.2億円	68.4億円																								
市費	68.4億円	…	78.0億円	83.7億円	87.4億円	68.2億円	69.3億円	69.9億円	70.4億円	70.7億円	71.0億円	71.1億円	71.3億円	71.7億円	71.9億円	72.3億円	72.8億円	73.3億円	74.3億円	75.4億円	75.7億円	77.2億円	78.5億円	79.9億円	81.4億円	82.8億円																								
利用者	13.2億円	…	16.2億円	17.0億円	16.2億円	21.3億円	21.6億円	21.8億円	21.9億円	22.1億円	22.1億円	22.2億円	22.2億円	22.3億円	22.4億円	22.5億円	22.7億円	22.9億円	23.1億円	23.4億円	23.6億円	24.0億円	24.4億円	24.9億円	25.3億円	25.8億円																								
バス事業者	61.3%	…	64.7%	63.2%	63.2%	38.6%	38.6%	38.7%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%																									
市費	32.4%	…	29.2%	30.6%	31.1%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%	46.8%																									
利用者	6.2%	…	6.1%	6.2%	5.8%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%	14.5%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%	14.6%																										

●（参考）積算式

（民営・市営）バス： ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員  
 ②負担金算定人員×利用単価（135円）×月乗車想定回数（17回※）×12月 = （民営・市営）バス負担金  
 ※R2年までは15回

市営地下鉄： R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（250円）×月乗車想定回数（2.3回）×12月 = 市営地下鉄負担金

金沢シーサイドライン：R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（300円）×月乗車想定回数（0.7回）×12月 = 金沢シーサイドライン負担金

⑦\_利用上限設定方式（バス乗車単価220円・全交通機関乗車回数月15回）

●前提条件

- ・R3年に制度改正
- ・バス単価を220円とする。
- ・交付者一人当たりの月利用上限回数を15回とする。各交通機関の内訳は次のとおり仮定。
  - ・バス：13回
  - ・市営地下鉄：1.6回
  - ・金沢シーサイドライン：0.4回

（補足）全体の月乗車回数を15回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを13回（12.3回を切り上げ）とし、残りの2回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。ただし、下記のR1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未済を考慮して試算する。

（例）バスは13回上限のため、下表の16回以上の区分（69.58%）は13回で計算する。一方、2回の区分（3.71%）は2回で計算する。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	3.96%	29.71%	83.37%
2	3.71%	16.08%	7.04%
4	5.56%	11.46%	2.43%
6	6.27%	6.09%	1.19%
8	10.93%	11.35%	2.01%
16	20.79%	11.37%	1.66%
24	20.11%	7.04%	1.14%
32	11.81%	3.26%	0.61%
40	8.65%	2.03%	0.30%
48	4.35%	0.89%	0.13%
56	3.87%	0.70%	0.13%

- ・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。
- ・交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- ・利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3%減少（58.43%→55.43%））すると仮定し、以降同じ交付率を使用）
- （補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6%減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6%減少している。
- ・事務費は除外

●事業費推移

	決算数値		決算数値		制度改正																					
	2011	…	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	…	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	…	404,275人	414,179人	426,230人	412,790人	419,188人	423,403人	425,988人	428,354人	429,834人	430,353人	431,695人	433,479人	435,548人	437,569人	440,525人	444,442人	449,348人	456,273人	458,295人	466,784人	474,918人	483,847人	492,625人	501,478人
民営バス	44.9億円	…	55.6億円	58.7億円	60.2億円	67.1億円	68.1億円	68.8億円	69.2億円	69.8億円	69.9億円	70.1億円	70.4億円	70.8億円	71.1億円	71.6億円	72.2億円	73.0億円	74.1億円	74.4億円	75.8億円	77.1億円	78.6億円	80.0億円	81.5億円	
市営バス	36.7億円	…	38.6億円	42.0億円	43.4億円	48.4億円	49.1億円	49.6億円	49.9億円	50.2億円	50.4億円	50.4億円	50.6億円	50.8億円	51.0億円	51.3億円	51.6億円	52.1億円	52.6億円	53.5億円	53.7億円	54.7億円	55.6億円	56.7億円	57.7億円	58.7億円
市営地下鉄	17.9億円	…	16.0億円	13.8億円	24.7億円	13.9億円	14.1億円	14.3億円	14.4億円	14.5億円	14.5億円	14.5億円	14.6億円	14.6億円	14.7億円	14.8億円	14.9億円	15.0億円	15.2億円	15.4億円	15.5億円	15.7億円	16.0億円	16.3億円	16.6億円	16.9億円
シーサイド	3.9億円	…	4.6億円	5.2億円	5.3億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.2億円	1.2億円	1.2億円
事業費合計	103.4億円	…	114.8億円	119.6億円	133.6億円	130.3億円	132.4億円	133.7億円	134.5億円	135.2億円	135.7億円	135.9億円	136.3億円	136.9億円	137.5億円	138.2億円	139.1億円	140.3億円	141.9億円	144.1億円	144.7億円	147.4億円	149.9億円	152.8億円	155.5億円	158.3億円
市費負担	86.7億円	…	95.0億円	99.4億円	112.8億円	104.1億円	105.7億円	106.7億円	107.4億円	108.0億円	108.4億円	108.5億円	108.8億円	109.3億円	109.8億円	110.3億円	111.1億円	112.0億円	113.3億円	115.0億円	115.5億円	117.7億円	119.7億円	122.0億円	124.2億円	126.4億円
利用者負担	16.7億円	…	19.7億円	20.2億円	20.9億円	26.3億円	26.7億円	26.9億円	27.1億円	27.3億円	27.3億円	27.4億円	27.5億円	27.6億円	27.7億円	27.8億円	28.0億円	28.3億円	28.6億円	29.0億円	29.2億円	29.7億円	30.2億円	30.8億円	31.3億円	31.9億円
平均利用者負担	4,992円	…	4,878円	4,886円	4,894円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円

●負担割合推移

	2011		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035		2036		2037		2038		2039		2040		2041	
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23																								
バス事業者	129.5億円	…	172.6億円	172.7億円	177.7億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円					
市費	68.4億円	…	78.0億円	83.7億円	87.4億円	92.2億円	93.6億円	94.6億円	95.1億円	95.6億円	96.0億円	96.0億円	96.3億円	96.8億円	97.3億円	97.8億円	98.4億円	99.2億円	100.3億円	101.9億円	102.2億円	104.2億円	106.0億円	108.0億円	110.0億円	111.9億円																								
利用者	13.2億円	…	16.2億円	17.0億円	16.2億円	23.3億円	23.6億円	23.8億円	24.0億円	24.2億円	24.2億円	24.3億円	24.4億円	24.4億円	24.5億円	24.6億円	24.8億円	25.1億円	25.3億円	25.7億円	25.9億円	26.3億円	26.7億円	27.3億円	27.8億円																									
バス事業者	61.3%	…	64.7%	63.2%	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																									
市費	32.4%	…	29.2%	30.6%	31.1%	79.8%	79.8%	79.9%	79.9%	79.8%	79.9%	79.8%	79.8%	79.8%	79.9%	79.9%	79.9%	79.8%	79.8%	79.9%	79.8%	79.9%	79.9%	79.8%	79.8%																									
利用者	6.2%	…	6.1%	6.2%	5.8%	20.2%	20.2%	20.1%	20.1%	20.2%	20.1%	20.2%	20.2%	20.2%	20.1%	20.1%	20.1%	20.2%	20.2%	20.1%	20.2%	20.1%	20.1%	20.2%																										

●（参考）積算式

（民営・市営）バス： ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員  
 ②負担金算定人員×利用単価（220円※）×月乗車想定回数（13回※）×12月 = （民営・市営）バス負担金  
 ※R2年までは135円、15回

市営地下鉄： R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（250円）×月乗車想定回数（1.6回）×12月 = 市営地下鉄負担金

金沢シーサイドライン：R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（300円）×月乗車想定回数（0.4回）×12月 = 金沢シーサイドライン負担金

⑧\_利用上限設定方式（バス乗車単価165円・全交通機関乗車回数月15回）

●前提条件

- ・R3年に制度改正
  - ・バス単価を165円とする。
  - ・交付者一人当たりの月利用上限回数を15回とする。各交通機関の内訳は次のとおり仮定。
    - ・バス：13回
    - ・市営地下鉄：1.6回
    - ・金沢シーサイドライン：0.4回
- （補足）全体の月乗車回数を15回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを13回（12.3回を切り上げ）とし、残りの2回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
ただし、下記のR1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未済を考慮して試算する。  
（例）バスは13回上限のため、下表の16回以上の区分（69.58%）は13回で計算する。一方、2回の区分（3.71%）は2回で計算する。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	3.96%	29.71%	83.37%
2	3.71%	16.08%	7.04%
4	5.56%	11.46%	2.43%
6	6.27%	6.09%	1.19%
8	10.93%	11.35%	2.01%
16	20.79%	11.37%	1.66%
24	20.11%	7.04%	1.14%
32	11.81%	3.26%	0.61%
40	8.65%	2.03%	0.30%
48	4.35%	0.89%	0.13%
56	3.87%	0.70%	0.13%

- ・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。
- ・交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額
- ・利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3%減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6%減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6%減少している。
- ・事務費は除外

●事業費推移

	決算数値		決算数値		制度改正																					
	2011	…	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	…	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	…	404,275人	414,179人	426,230人	412,790人	419,188人	423,403人	425,988人	428,354人	429,834人	430,353人	431,695人	433,479人	435,548人	437,569人	440,525人	444,442人	449,348人	456,273人	458,295人	466,784人	474,918人	483,847人	492,625人	501,478人
民営バス	44.9億円	…	55.6億円	58.7億円	60.2億円	50.3億円	51.1億円	51.6億円	51.9億円	52.2億円	52.4億円	52.4億円	52.6億円	52.8億円	53.1億円	53.3億円	53.7億円	54.1億円	54.7億円	55.6億円	55.8億円	56.9億円	57.9億円	58.9億円	60.0億円	61.1億円
市営バス	36.7億円	…	38.6億円	42.0億円	43.4億円	36.3億円	36.8億円	37.2億円	37.4億円	37.6億円	37.8億円	37.8億円	37.9億円	38.1億円	38.3億円	38.4億円	38.7億円	39.1億円	39.5億円	40.1億円	40.3億円	41.0億円	41.7億円	42.5億円	43.3億円	44.1億円
市営地下鉄	17.9億円	…	16.0億円	13.8億円	24.7億円	13.9億円	14.1億円	14.3億円	14.4億円	14.5億円	14.5億円	14.5億円	14.6億円	14.6億円	14.7億円	14.8億円	14.9億円	15.0億円	15.2億円	15.4億円	15.5億円	15.7億円	16.0億円	16.3億円	16.6億円	16.9億円
シーサイド	3.9億円	…	4.6億円	5.2億円	5.3億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.2億円	1.2億円	1.2億円
事業費合計	103.4億円	…	114.8億円	119.6億円	133.6億円	101.5億円	103.1億円	104.1億円	104.7億円	105.3億円	105.7億円	105.8億円	106.1億円	106.6億円	107.1億円	107.6億円	108.3億円	109.3億円	110.5億円	112.2億円	112.7億円	114.8億円	116.8億円	118.9億円	121.1億円	123.3億円
市費負担	86.7億円	…	95.0億円	99.4億円	112.8億円	75.2億円	76.4億円	77.1億円	77.6億円	78.1億円	78.3億円	78.4億円	78.7億円	79.0億円	79.4億円	79.7億円	80.3億円	81.0億円	81.9億円	83.1億円	83.5億円	85.1億円	86.5億円	88.2億円	89.8億円	91.4億円
利用者負担	16.7億円	…	19.7億円	20.2億円	20.9億円	26.3億円	26.7億円	26.9億円	27.1億円	27.3億円	27.3億円	27.4億円	27.5億円	27.6億円	27.7億円	27.8億円	28.0億円	28.3億円	28.6億円	29.0億円	29.2億円	29.7億円	30.2億円	30.8億円	31.3億円	31.9億円
平均利用者負担	4,992円	…	4,878円	4,886円	4,894円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円

●負担割合推移

	2011		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035		2036		2037		2038		2039		2040		2041	
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23																								
バス事業者	129.5億円	…	172.6億円	172.7億円	177.7億円	28.9億円	29.3億円	29.6億円	29.8億円	29.9億円	30.0億円	30.1億円	30.2億円	30.3億円	30.4億円	30.6億円	30.8億円	31.1億円	31.4億円	31.9億円	32.0億円	32.6億円	33.2億円	33.8億円	34.4億円	35.1億円																								
市費	68.4億円	…	78.0億円	83.7億円	87.4億円	64.2億円	65.1億円	65.9億円	66.2億円	66.5億円	66.9億円	66.8億円	67.0億円	67.4億円	67.8億円	68.0億円	68.5億円	69.1億円	69.8億円	71.0億円	71.2億円	72.6億円	73.8億円	75.1億円	76.6億円	78.0億円																								
利用者	13.2億円	…	16.2億円	17.0億円	16.2億円	22.4億円	22.8億円	22.9億円	23.1億円	23.3億円	23.3億円	23.4億円	23.5億円	23.5億円	23.6億円	23.7億円	23.9億円	24.1億円	24.4億円	24.7億円	24.9億円	25.3億円	25.8億円	26.3億円	26.7億円	27.2億円																								
バス事業者	61.3%	…	64.7%	63.2%	63.2%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%																									
市費	32.4%	…	29.2%	30.6%	31.1%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.7%	55.6%	55.5%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%	55.6%																									
利用者	6.2%	…	6.1%	6.2%	5.8%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%																										

●（参考）積算式

（民営・市営）バス： ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員  
 ②負担金算定人員×利用単価（165円※）×月乗車想定回数（13回※）×12月 = （民営・市営）バス負担金  
 ※R2年までは135円、15回

市営地下鉄： R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（250円）×月乗車想定回数（1.6回）×12月 = 市営地下鉄負担金

金沢シーサイドライン：R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（300円）×月乗車想定回数（0.4回）×12月 = 金沢シーサイドライン負担金

⑨\_利用上限設定方式（バス乗車単価135円・全交通機関乗車回数月15回）

●前提条件

・R3年に制度改正  
 ・バス単価を135円とする。  
 ・交付者一人当たりの月利用上限回数を15回とする。各交通機関の内訳は次のとおり仮定。  
   ・バス：13回  
   ・市営地下鉄：1.6回  
   ・金沢シーサイドライン：0.4回  
 （補足）全体の月乗車回数を15回とし、それをH30年度決算額で按分。バスを13回（12.3回を切り上げ）とし、残りの2回を市営地下鉄とシーサイドラインで按分。  
 ただし、下記のR1利用者アンケート（速報値：5万件分）に基づき、各交通機関の利用上限回数未済を考慮して試算する。  
 （例）バスは13回上限のため、下表の16回以上の区分（69.58%）は13回で計算する。一方、2回の区分（3.71%）は2回で計算する。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	3.96%	29.71%	83.37%
2	3.71%	16.08%	7.04%
4	5.56%	11.46%	2.43%
6	6.27%	6.09%	1.19%
8	10.93%	11.35%	2.01%
16	20.79%	11.37%	1.66%
24	20.11%	7.04%	1.14%
32	11.81%	3.26%	0.61%
40	8.65%	2.03%	0.30%
48	4.35%	0.89%	0.13%
56	3.87%	0.70%	0.13%

・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。  
 ・交付者数の増加に対応するため、利用者負担額を平均1.3倍に増額  
 ・利用者負担の増額により交付者数が減少（R3年に交付率が3%減少（58.43%→55.43%）すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
 （補足）H20年の平均1.3倍の利用者負担金値上げ時は交付率が2.6%減少、H23年の平均1.1倍の利用者負担金値上げ時は交付率が1.6%減少している。  
 ・事務費は除外

●事業費推移

	2011		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035		2036		2037		2038		2039		2040		2041	
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41						
対象者数	564,756人	…	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人																								
交付者数	335,127人	…	404,275人	414,179人	426,230人	412,790人	419,188人	423,403人	425,988人	428,354人	429,834人	430,353人	431,695人	433,479人	435,548人	437,569人	440,525人	444,442人	449,348人	456,273人	458,295人	466,784人	474,918人	483,847人	492,625人	501,478人																								
民営バス	44.9億円	…	55.6億円	58.7億円	60.2億円	41.1億円	41.8億円	42.2億円	42.5億円	42.7億円	42.8億円	42.9億円	43.0億円	43.2億円	43.4億円	43.6億円	43.9億円	44.3億円	44.8億円	45.5億円	45.7億円	46.5億円	47.3億円	48.2億円	49.1億円	50.0億円																								
市営バス	36.7億円	…	38.6億円	42.0億円	43.4億円	29.7億円	30.1億円	30.4億円	30.6億円	30.8億円	30.9億円	30.9億円	31.0億円	31.2億円	31.3億円	31.5億円	31.7億円	32.0億円	32.3億円	32.8億円	32.9億円	33.6億円	34.1億円	34.8億円	35.4億円	36.1億円																								
市営地下鉄	17.9億円	…	16.0億円	13.8億円	24.7億円	13.9億円	14.1億円	14.3億円	14.4億円	14.5億円	14.5億円	14.5億円	14.6億円	14.6億円	14.7億円	14.8億円	14.9億円	15.0億円	15.2億円	15.4億円	15.5億円	15.5億円	15.7億円	16.0億円	16.3億円	16.6億円	16.9億円																							
シーサイド	3.9億円	…	4.6億円	5.2億円	5.3億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.0億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.1億円	1.2億円	1.2億円	1.2億円																								
事業費合計	103.4億円	…	114.8億円	119.6億円	133.6億円	85.7億円	87.1億円	87.9億円	88.5億円	89.0億円	89.3億円	89.4億円	89.7億円	90.0億円	90.5億円	90.9億円	91.5億円	92.3億円	93.3億円	94.8億円	95.2億円	97.0億円	98.6億円	100.5億円	102.3億円	104.2億円																								
市費負担	86.7億円	…	95.0億円	99.4億円	112.8億円	59.5億円	60.4億円	61.0億円	61.4億円	61.7億円	61.9億円	62.0億円	62.2億円	62.5億円	62.8億円	63.0億円	63.5億円	64.0億円	64.7億円	65.7億円	66.0億円	67.3億円	68.4億円	69.7億円	71.0億円	72.3億円																								
利用者負担	16.7億円	…	19.7億円	20.2億円	20.9億円	26.3億円	26.7億円	26.9億円	27.1億円	27.3億円	27.3億円	27.4億円	27.5億円	27.6億円	27.7億円	27.8億円	28.0億円	28.3億円	28.6億円	29.0億円	29.2億円	29.7億円	30.2億円	30.8億円	31.3億円	31.9億円																								
平均利用者負担	4,992円	…	4,878円	4,886円	4,894円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円	6,362円																							

●負担割合推移

	2011		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031		2032		2033		2034		2035		2036		2037		2038		2039		2040		2041	
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41						
バス事業者	129.5億円	…	172.6億円	172.7億円	177.7億円	44.6億円	45.3億円	45.7億円	46.0億円	46.3億円	46.4億円	46.5億円	46.6億円	46.8億円	47.1億円	47.3億円	47.6億円	48.0億円	48.5億円	49.3億円	49.5億円	50.4億円	51.3億円	52.3億円	53.2億円	54.2億円																								
市費	68.4億円	…	78.0億円	83.7億円	87.4億円	49.1億円	49.9億円	50.4億円	50.7億円	51.0億円	51.2億円	51.2億円	51.3億円	51.6億円	51.8億円	52.1億円	52.5億円	52.9億円	53.5億円	54.3億円	54.5億円	55.6億円	56.5億円	57.6億円	58.6億円	59.7億円																								
利用者	13.2億円	…	16.2億円	17.0億円	16.2億円	21.7億円	22.0億円	22.2億円	22.4億円	22.5億円	22.5億円	22.6億円	22.7億円	22.8億円	22.9億円	23.0億円	23.1億円	23.4億円	23.6億円	24.0億円	24.1億円	24.5億円	24.9億円	25.4億円	25.9億円	26.4億円																								
バス事業者	61.3%	…	64.7%	63.2%	63.2%	38.6%	38.7%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.7%	38.6%	38.6%	38.7%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.7%	38.7%	38.6%	38.6%																								
市費	32.4%	…	29.2%	30.6%	31.1%	42.5%	42.5%	42.6%	42.6%	42.5%	42.6%	42.5%	42.6%	42.6%	42.6%	42.6%	42.6%	42.6%	42.6%	42.6%	42.6%	42.5%	42.6%	42.6%	42.6%	42.6%																								
利用者	6.2%	…	6.1%	6.2%	5.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%	18.8%																								

●（参考）積算式

（民営・市営）バス： ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員  
 ②負担金算定人員×利用単価（135円）×月乗車想定回数（13回※）×12月 = （民営・市営）バス負担金  
 ※R2年までは15回

市営地下鉄： R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（250円）×月乗車想定回数（1.6回）×12月 = 市営地下鉄負担金

金沢シーサイドライン：R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
 想定交付者数×利用単価（300円）×月乗車想定回数（0.4回）×12月 = 金沢シーサイドライン負担金

① 都度支払い方式（バス1乗車あたり負担：利用者110円・市費110円・事業者0円、全交通機関月乗車想定回数10回）

●前提条件

- ・R3年に制度改正
- ・1乗車ごとの利用者単価は小児運賃額と同等とし、市費負担額は次のとおりとする。
  - ・バス：利用者負担額110円、市費負担額110円、バス事業者負担0円
  - ・市営地下鉄：利用者負担額130円、市費負担額120円
  - ・金沢シーサイドライン：利用者負担額150円、市費負担額150円
 ただし、現行無料区分の方には月29回上限の回数券を別途交付する（想定月利用回数はバス約20回、地下鉄約8回、シーサイド約1回）。
- ・無料区分以外の方の平均月乗車回数は10回を想定。各交通機関の内訳は次のとおり。
  - ・バス：7.0回
  - ・市営地下鉄：2.6回
  - ・金沢シーサイドライン：0.4回
 ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）を活用し、各交通機関で次のとおり分布すると試算。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	19.71%	56.76%	95.39%
2	3.10%	29.54%	1.95%
4	4.65%	2.90%	0.67%
6	60.21%	1.54%	0.33%
8	1.67%	2.87%	0.56%
16	3.18%	2.88%	0.46%
24	3.08%	1.78%	0.32%
32	1.81%	0.82%	0.17%
40	1.32%	0.51%	0.08%
48	0.67%	0.23%	0.04%
56	0.59%	0.18%	0.04%

- ・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。
- ・乗車の都度、正規運賃から割引引かれた金額を支払う方式となるため、交付者数が増加（R3年に交付率が58.43%から70%に増加すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）交付率は他都市の状況から推計。
- ・事務費は除外

●事業費推移

	決算数値			制度改正																						
	2011	…	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	…	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	…	404,275人	414,179人	426,230人	521,293人	529,373人	534,696人	537,961人	540,948人	542,817人	543,473人	545,167人	547,421人	550,033人	552,586人	556,319人	561,265人	567,461人	576,206人	578,760人	589,480人	599,751人	611,028人	622,114人	633,293人
無料区分	-	…	-	-	-	45,539人	46,246人	46,710人	46,995人	47,256人	47,420人	47,477人	47,623人	47,822人	48,050人	48,271人	48,598人	49,032人	49,572人	50,335人	50,561人	51,495人	52,392人	53,378人	54,348人	55,323人
有料区分	-	…	-	-	-	475,754人	483,127人	487,986人	490,966人	493,692人	495,397人	495,996人	497,544人	499,599人	501,983人	504,315人	507,721人	512,233人	517,889人	525,871人	528,199人	537,985人	547,359人	557,650人	567,766人	577,970人
民営バス	44.9億円	…	55.6億円	58.7億円	60.2億円	65.9億円	66.9億円	67.6億円	68.0億円	68.4億円	68.6億円	68.7億円	68.9億円	69.2億円	69.5億円	69.9億円	70.3億円	71.0億円	71.7億円	72.9億円	73.2億円	74.5億円	75.8億円	77.3億円	78.7億円	80.1億円
市費負担分	-	…	-	-	-	40.4億円	41.0億円	41.4億円	41.6億円	41.9億円	42.0億円	42.1億円	42.2億円	42.4億円	42.6億円	42.8億円	43.1億円	43.5億円	43.9億円	44.6億円	44.8億円	45.6億円	46.4億円	47.3億円	48.2億円	49.0億円
利用者負担分	-	…	-	-	-	25.6億円	25.9億円	26.2億円	26.4億円	26.5億円	26.6億円	26.6億円	26.7億円	26.8億円	27.0億円	27.1億円	27.3億円	27.5億円	27.8億円	28.2億円	28.4億円	28.9億円	29.4億円	30.0億円	30.5億円	31.0億円
市営バス	36.7億円	…	38.6億円	42.0億円	43.4億円	47.5億円	48.3億円	48.8億円	49.1億円	49.3億円	49.5億円	49.6億円	49.7億円	49.9億円	50.2億円	50.4億円	50.7億円	51.2億円	51.7億円	52.5億円	52.8億円	53.7億円	54.7億円	55.7億円	56.7億円	57.7億円
市費負担分	-	…	-	-	-	29.1億円	29.6億円	29.9億円	30.0億円	30.2億円	30.3億円	30.3億円	30.4億円	30.6億円	30.7億円	30.9億円	31.1億円	31.3億円	31.7億円	32.2億円	32.3億円	32.9億円	33.5億円	34.1億円	34.7億円	35.4億円
利用者負担分	-	…	-	-	-	18.4億円	18.7億円	18.9億円	19.0億円	19.1億円	19.2億円	19.2億円	19.3億円	19.4億円	19.4億円	19.5億円	19.7億円	19.8億円	20.1億円	20.4億円	20.5億円	20.8億円	21.2億円	21.6億円	22.0億円	22.4億円
市営地下鉄	17.9億円	…	16.0億円	13.8億円	24.7億円	48.3億円	49.0億円	49.5億円	49.8億円	50.1億円	50.2億円	50.3億円	50.5億円	50.7億円	50.9億円	51.2億円	51.5億円	52.0億円	52.5億円	53.3億円	53.6億円	54.6億円	55.5億円	56.6億円	57.6億円	58.6億円
市費負担分	-	…	-	-	-	30.5億円	31.0億円	31.3億円	31.5億円	31.6億円	31.8億円	31.8億円	31.9億円	32.0億円	32.2億円	32.3億円	32.5億円	32.8億円	33.2億円	33.7億円	33.9億円	34.5億円	35.1億円	35.7億円	36.4億円	37.0億円
利用者負担分	-	…	-	-	-	17.8億円	18.0億円	18.2億円	18.3億円	18.4億円	18.5億円	18.5億円	18.6億円	18.7億円	18.7億円	18.8億円	19.0億円	19.1億円	19.3億円	19.6億円	19.7億円	20.1億円	20.4億円	20.8億円	21.2億円	21.6億円
シーサイド	3.9億円	…	4.6億円	5.2億円	5.3億円	9.3億円	9.5億円	9.6億円	9.6億円	9.7億円	9.7億円	9.7億円	9.7億円	9.8億円	9.8億円	9.9億円	9.9億円	10.0億円	10.1億円	10.3億円	10.3億円	10.5億円	10.7億円	10.9億円	11.1億円	11.3億円
市費負担分	-	…	-	-	-	5.9億円	5.9億円	6.0億円	6.0億円	6.1億円	6.1億円	6.1億円	6.1億円	6.1億円	6.2億円	6.2億円	6.2億円	6.3億円	6.4億円	6.5億円	6.5億円	6.6億円	6.7億円	6.9億円	7.0億円	7.1億円
利用者負担分	-	…	-	-	-	3.5億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.7億円	3.7億円	3.7億円	3.7億円	3.8億円	3.8億円	3.8億円	3.9億円	4.0億円	4.1億円	4.1億円	4.2億円
事業費合計	103.4億円	…	114.8億円	119.6億円	133.6億円	171.0億円	173.7億円	175.4億円	176.5億円	177.5億円	178.1億円	178.3億円	178.8億円	179.6億円	180.4億円	181.3億円	182.5億円	184.1億円	186.2億円	189.0億円	189.9億円	193.4億円	196.7億円	200.4億円	204.1億円	207.8億円
市費負担	86.7億円	…	95.0億円	99.4億円	112.8億円	105.8億円	107.4億円	108.5億円	109.2億円	109.8億円	110.2億円	110.3億円	110.7億円	111.1億円	111.6億円	112.2億円	112.9億円	113.9億円	115.2億円	117.0億円	117.5億円	119.6億円	121.7億円	124.0億円	126.3億円	128.5億円
無料区分	-	…	-	-	-	39.1億円	39.7億円	40.1億円	40.4億円	40.6億円	40.7億円	40.8億円	40.9億円	41.1億円	41.3億円	41.5億円	41.8億円	42.1億円	42.6億円	43.2億円	43.4億円	44.2億円	45.0億円	45.9億円	46.7億円	47.5億円
有料区分	-	…	-	-	-	66.7億円	67.7億円	68.4億円	68.8億円	69.2億円	69.4億円	69.5億円	69.7億円	70.0億円	70.4億円	70.7億円	71.2億円	71.8億円	72.6億円	73.7億円	74.0億円	75.4億円	76.7億円	78.2億円	79.6億円	81.0億円
利用者負担	16.7億円	…	19.7億円	20.2億円	20.9億円	65.2億円	66.2億円	66.9億円	67.3億円	67.7億円	67.9億円	68.0億円	68.2億円	68.5億円	68.8億円	69.1億円	69.6億円	70.2億円	71.0億円	72.1億円	72.4億円	73.7億円	75.0億円	76.4億円	77.8億円	79.2億円
平均利用者負担	4,992円	…	4,878円	4,886円	4,894円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円

●負担割合推移

	2011			2018		2019																					
	H23	…	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	
バス事業者	129.5億円	…	172.6億円	172.7億円	177.7億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円
市費	68.4億円	…	78.0億円	83.7億円	87.4億円	69.5億円	70.6億円	71.3億円	71.6億円	72.1億円	72.3億円	72.4億円	72.6億円	73.0億円	73.3億円	73.7億円	74.2億円	74.8億円	75.6億円	76.8億円	77.1億円	78.5億円	79.9億円	81.4億円	82.9億円	84.4億円	
利用者	13.2億円	…	16.2億円	17.0億円	16.2億円	44.0億円	44.6億円	45.1億円	45.4億円	45.6億円	45.8億円	46.0億円	46.2億円	46.4億円	46.6億円	47.0億円	47.3億円	47.9億円	48.6億円	48.9億円	49.7億円	50.6億円	51.6億円	52.5億円	53.4億円		
バス事業者	61.3%	…	64.7%	63.2%	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
市費	32.4%	…	29.2%	30.6%	31.1%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%	61.2%		
利用者	6.2%	…	6.1%	6.2%	5.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%		

●(参考) 積算式

(民営・市営)バス	市営地下鉄	金沢シーサイドライン
【利用者負担分】 ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員 ②負担金算定人員×利用者負担単価 (110円※) × 月乗車想定回数×12月 = A ※無料の人は0円 【市費負担分】 ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員 ②負担金算定人員×市費負担単価 (110円※) × 月乗車想定回数×12月 = B ※無料の人は220円 (合計) A + B = (民営・市営)バス負担金	【利用者負担分】 想定交付者数×利用者負担単価 (130円※) × 月乗車想定回数×12月 = A ※無料の人は0円 【市費負担分】 想定交付者数×市費負担単価 (120円※) × 月乗車想定回数×12月 = B ※無料の人は250円 (合計) A + B = 市営地下鉄負担金	【利用者負担分】 想定交付者数×利用者負担単価 (150円※) × 月乗車想定回数×12月 = A ※無料の人は0円 【市費負担分】 想定交付者数×市費負担単価 (150円※) × 月乗車想定回数×12月 = B ※無料の人は300円 (合計) A + B = 金沢シーサイドライン負担金

②\_都度支払い方式（バス1乗車あたり負担：利用者110円・市費55円・事業者55円、全交通機関月乗車想定回数10回）

**●前提条件**

- ・R3年に制度改正
- ・1乗車ごとの利用者単価は小児運賃額と同等とし、市費負担額は次のとおりとする。
  - ・バス：利用者負担額110円、市費負担額55円、バス事業者負担55円
  - ・市営地下鉄：利用者負担額130円、市費負担額120円
  - ・金沢シーサイドライン：利用者負担額150円、市費負担額150円

ただし、現行無料区分の方には月29回上限の回数券を別途交付する（想定月利用回数はバス約20回、地下鉄約8回、シーサイド約1回）。

- ・無料区分以外の方の平均月乗車回数は10回を想定。各交通機関の内訳は次のとおり。
  - ・バス：7.0回
  - ・市営地下鉄：2.6回
  - ・金沢シーサイドライン：0.4回

ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）を活用し、各交通機関で次のとおり分布すると試算。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	19.71%	56.76%	95.39%
2	3.10%	29.54%	1.95%
4	4.65%	2.90%	0.67%
6	60.21%	1.54%	0.33%
8	1.67%	2.87%	0.56%
16	3.18%	2.88%	0.46%
24	3.08%	1.78%	0.32%
32	1.81%	0.82%	0.17%
40	1.32%	0.51%	0.08%
48	0.67%	0.23%	0.04%
56	0.59%	0.18%	0.04%

- ・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおりに仮定する。
- ・乗車の都度、正規運賃から割引引かれた金額を支払う方式になるため、交付者数が増加（R3年に交付率が58.43%から70%に増加すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）交付率は他都市の状況から推計。
- ・事務費は除外

**●事業費推移**

	決算数値			制度改正																						
	2011	...	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	...	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	...	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	...	404,275人	414,179人	426,230人	521,293人	529,373人	534,696人	537,961人	540,948人	542,817人	543,473人	545,167人	547,421人	550,033人	552,586人	556,319人	561,265人	567,461人	576,206人	578,760人	589,480人	599,751人	611,028人	622,114人	633,293人
無料区分	-	...	-	-	-	45,539人	46,246人	46,710人	46,995人	47,256人	47,420人	47,477人	47,623人	47,822人	48,050人	48,271人	48,598人	49,032人	49,572人	50,335人	50,561人	51,495人	52,392人	53,378人	54,348人	55,323人
有料区分	-	...	-	-	-	475,754人	483,127人	487,986人	490,966人	493,692人	495,397人	495,996人	497,544人	499,599人	501,983人	504,315人	507,721人	512,233人	517,889人	525,871人	528,199人	537,985人	547,359人	557,650人	567,766人	577,970人
民営バス	44.9億円	...	55.6億円	58.7億円	60.2億円	49.4億円	50.2億円	50.7億円	51.0億円	51.3億円	51.5億円	51.5億円	51.7億円	51.9億円	52.2億円	52.4億円	52.8億円	53.2億円	53.8億円	54.6億円	54.9億円	55.9億円	56.9億円	57.9億円	59.0億円	60.1億円
市費負担分	-	...	-	-	-	23.9億円	24.2億円	24.5億円	24.6億円	24.8億円	24.9億円	24.9億円	25.0億円	25.1億円	25.2億円	25.3億円	25.5億円	25.7億円	26.0億円	26.4億円	26.5億円	27.0億円	27.5億円	28.0億円	28.5億円	29.0億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	25.6億円	25.9億円	26.2億円	26.4億円	26.5億円	26.6億円	26.6億円	26.7億円	26.8億円	27.0億円	27.1億円	27.3億円	27.5億円	27.8億円	28.2億円	28.4億円	28.9億円	29.4億円	30.0億円	30.5億円	31.0億円
市営バス	36.7億円	...	38.6億円	42.0億円	43.4億円	35.6億円	36.2億円	36.6億円	36.8億円	37.0億円	37.1億円	37.2億円	37.3億円	37.4億円	37.6億円	37.8億円	38.0億円	38.4億円	38.8億円	39.4億円	39.6億円	40.3億円	41.0億円	41.8億円	42.5億円	43.3億円
市費負担分	-	...	-	-	-	17.2億円	17.5億円	17.7億円	17.8億円	17.9億円	17.9億円	18.0億円	18.0億円	18.1億円	18.2億円	18.3億円	18.4億円	18.5億円	18.7億円	19.0億円	19.1億円	19.5億円	19.8億円	20.2億円	20.6億円	20.9億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	18.4億円	18.7億円	18.9億円	19.0億円	19.1億円	19.2億円	19.2億円	19.3億円	19.4億円	19.4億円	19.5億円	19.7億円	19.8億円	20.1億円	20.4億円	20.5億円	20.8億円	21.2億円	21.6億円	22.0億円	22.4億円
市営地下鉄	17.9億円	...	16.0億円	13.8億円	24.7億円	48.3億円	49.0億円	49.5億円	49.8億円	50.1億円	50.2億円	50.3億円	50.5億円	50.7億円	50.9億円	51.2億円	51.5億円	52.0億円	52.5億円	53.3億円	53.6億円	54.6億円	55.5億円	56.6億円	57.6億円	58.6億円
市費負担分	-	...	-	-	-	30.5億円	31.0億円	31.3億円	31.5億円	31.6億円	31.8億円	31.8億円	31.9億円	32.0億円	32.2億円	32.3億円	32.5億円	32.8億円	33.2億円	33.7億円	33.9億円	34.5億円	35.1億円	35.7億円	36.4億円	37.0億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	17.8億円	18.0億円	18.2億円	18.3億円	18.4億円	18.5億円	18.5億円	18.6億円	18.7億円	18.7億円	18.8億円	19.0億円	19.1億円	19.3億円	19.6億円	19.7億円	20.1億円	20.4億円	20.8億円	21.2億円	21.6億円
シーサイド	3.9億円	...	4.6億円	5.2億円	5.3億円	9.3億円	9.5億円	9.6億円	9.6億円	9.7億円	9.7億円	9.7億円	9.7億円	9.8億円	9.8億円	9.9億円	9.9億円	10.0億円	10.1億円	10.3億円	10.3億円	10.5億円	10.7億円	10.9億円	11.1億円	11.3億円
市費負担分	-	...	-	-	-	5.9億円	5.9億円	6.0億円	6.0億円	6.1億円	6.1億円	6.1億円	6.1億円	6.1億円	6.2億円	6.2億円	6.2億円	6.3億円	6.4億円	6.5億円	6.5億円	6.6億円	6.7億円	6.9億円	7.0億円	7.1億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	3.5億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.6億円	3.7億円	3.7億円	3.7億円	3.7億円	3.8億円	3.8億円	3.8億円	3.9億円	4.0億円	4.1億円	4.1億円	4.2億円
事業費合計	103.4億円	...	114.8億円	119.6億円	133.6億円	142.6億円	144.9億円	146.3億円	147.2億円	148.0億円	148.5億円	148.7億円	149.2億円	149.8億円	150.5億円	151.2億円	152.2億円	153.6億円	155.3億円	157.7億円	158.4億円	161.3億円	164.1億円	167.2億円	170.2億円	173.3億円
市費負担	86.7億円	...	95.0億円	99.4億円	112.8億円	77.4億円	78.6億円	79.4億円	79.9億円	80.4億円	80.6億円	80.7億円	81.0億円	81.3億円	81.7億円	82.1億円	82.7億円	83.4億円	84.3億円	85.6億円	86.0億円	87.6億円	89.1億円	90.8億円	92.4億円	94.1億円
無料区分	-	...	-	-	-	32.8億円	33.3億円	33.6億円	33.8億円	34.0億円	34.1億円	34.1億円	34.3億円	34.4億円	34.6億円	34.7億円	35.0億円	35.3億円	35.7億円	36.2億円	36.4億円	37.0億円	37.7億円	38.4億円	39.1億円	39.8億円
有料区分	-	...	-	-	-	44.7億円	45.4億円	45.8億円	46.1億円	46.4億円	46.5億円	46.5億円	46.6億円	46.7億円	46.9億円	47.2億円	47.4億円	48.1億円	48.7億円	49.4億円	49.6億円	50.5億円	51.4億円	52.4億円	53.3億円	54.3億円
利用者負担	16.7億円	...	19.7億円	20.2億円	20.9億円	65.2億円	66.2億円	66.9億円	67.3億円	67.7億円	67.9億円	68.0億円	68.2億円	68.5億円	68.8億円	69.1億円	69.6億円	70.2億円	71.0億円	72.1億円	72.4億円	73.7億円	75.0億円	76.4億円	77.8億円	79.2億円
平均利用者負担	4,992円	...	4,878円	4,886円	4,894円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円	12,508円

**●負担割合推移**

	2011	...	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	
	H23	...	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	
バス事業者	129.5億円	...	172.6億円	172.7億円	177.7億円	28.4億円	28.8億円	29.1億円	29.3億円	29.4億円	29.5億円	29.6億円	29.7億円	29.8億円	29.9億円	30.1億円	30.3億円	30.5億円	30.9億円	31.3億円	31.5億円	31.5億円	32.1億円	32.6億円	33.2億円	33.8億円	34.5億円
市費	68.4億円	...	78.0億円	83.7億円	87.4億円	41.1億円	41.7億円	42.2億円	42.4億円	42.7億円	42.8億円	42.9億円	43.0億円	43.2億円	43.4億円	43.6億円	43.9億円	44.2億円	44.7億円	45.4億円	45.6億円	46.5億円	47.3億円	48.2億円	49.1億円	49.9億円	
利用者	13.2億円	...	16.2億円	17.0億円	16.2億円	44.0億円	44.6億円	45.1億円	45.4億円	45.6億円	45.8億円	45.8億円	46.0億円	46.2億円	46.4億円	46.6億円	47.0億円	47.3億円	47.9億円	48.6億円	48.9億円	49.7億円	50.6億円	51.6億円	52.5億円	53.4億円	
バス事業者	61.3%	...	64.7%	63.2%	63.2%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	
市費	32.4%	...	29.2%	30.6%	31.1%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	36.2%	
利用者	6.2%	...	6.1%	6.2%	5.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	38.8%	

**●(参考)積算式**

(民営・市営)バス： R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
**【利用者負担分】**  
 ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員  
 ②負担金算定人員×利用者負担単価（110円※）×月乗車想定回数×12月 = A  
 ※無料の人は0円

(市営地下鉄)バス： R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
**【利用者負担分】**  
 想定交付者数×利用者負担単価（130円※）×月乗車想定回数×12月 = A  
 ※無料の人は0円

金沢シーサイドライン：R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照）  
**【利用者負担分】**  
 想定交付者数×利用者負担単価（150円※）×月乗車想定回数×12月 = A  
 ※無料の人は0円

**【市費負担分】**  
 ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員  
 ②負担金算定人員×市費負担単価（55円※）×月乗車想定回数×12月 = B  
 ※無料の人は165円

(合計) A + B = (民営・市営)バス負担金

**【市費負担分】**  
 想定交付者数×市費負担単価（120円※）×月乗車想定回数×12月 = B  
 ※無料の人は250円

(合計) A + B = 市営地下鉄負担金

**【市費負担分】**  
 想定交付者数×市費負担単価（150円※）×月乗車想定回数×12月 = B  
 ※無料の人は300円

(合計) A + B = 金沢シーサイドライン負担金





④ 都度支払い方式（バス1乗車あたり負担：利用者50円・市費170円・事業者0円、全交通機関月乗車想定回数12回）

●前提条件

・R3年に制度改正

・1乗車ごとの利用者単価は50円とし、市費負担額は次のとおりとする。

- バス：利用者負担額50円、市費負担額170円、バス事業者負担0円
- 市営地下鉄：利用者負担額50円、市費負担額200円
- 金沢シーサイドライン：利用者負担額50円、市費負担額250円

ただし、現行無料区分の方には月29回上限の回数券を別途交付する（想定月利用回数はバス約20回、地下鉄約8回、シーサイド約1回）。

・無料区分以外の方の平均月乗車回数は12回を想定。各交通機関の内訳は次のとおり。

- バス：8.4回
- 市営地下鉄：3.1回
- 金沢シーサイドライン：0.5回

ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）を活用し、各交通機関で次のとおり分布すると試算。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	12.94%	48.11%	94.47%
2	3.36%	35.45%	2.34%
4	5.04%	3.48%	0.81%
6	5.68%	1.85%	0.40%
8	63.30%	3.44%	0.67%
16	2.89%	3.45%	0.55%
24	2.79%	2.14%	0.38%
32	1.64%	0.99%	0.20%
40	1.20%	0.62%	0.10%
48	0.60%	0.27%	0.04%
56	0.54%	0.21%	0.04%

・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。

・乗車の都度、正規運賃から割引引かれた金額を支払う方式となるため、交付者数が増加（R3年に交付率が58.43%から70%に増加すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）交付率は他都市の状況から推計。

・事務費は除外

●事業費推移

	決算数値			制度改正																						
	2011	...	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	...	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	...	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	...	404,275人	414,179人	426,230人	521,293人	529,373人	534,696人	537,961人	540,948人	542,817人	543,473人	545,167人	547,421人	550,033人	552,586人	556,319人	561,265人	567,461人	576,206人	578,760人	589,480人	599,751人	611,028人	622,114人	633,293人
無料区分	-	...	-	-	-	45,539人	46,246人	46,710人	46,995人	47,256人	47,420人	47,477人	47,623人	47,822人	48,050人	48,271人	48,598人	49,032人	49,572人	50,335人	50,561人	51,495人	52,392人	53,378人	54,348人	55,323人
有料区分	-	...	-	-	-	475,754人	483,127人	487,986人	490,966人	493,692人	495,397人	495,996人	497,544人	499,599人	501,983人	504,315人	507,721人	512,233人	517,889人	525,871人	528,199人	537,985人	547,359人	557,650人	567,766人	577,970人
民営バス	44.9億円	...	55.6億円	58.7億円	60.2億円	76.1億円	77.3億円	78.1億円	78.6億円	79.0億円	79.3億円	79.4億円	79.6億円	79.9億円	80.3億円	80.7億円	81.2億円	82.0億円	82.9億円	84.1億円	84.5億円	86.1億円	87.6億円	89.2億円	90.9億円	92.5億円
市費負担分	-	...	-	-	-	62.2億円	63.2億円	63.8億円	64.2億円	64.5億円	64.8億円	64.8億円	65.0億円	65.3億円	65.6億円	65.9億円	66.4億円	67.0億円	67.7億円	68.7億円	69.0億円	70.3億円	71.6億円	72.9億円	74.2億円	75.6億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	13.9億円	14.2億円	14.3億円	14.4億円	14.5億円	14.5億円	14.6億円	14.6億円	14.7億円	14.8億円	14.9億円	15.0億円	15.2億円	15.4億円	15.5億円	15.5億円	15.8億円	16.0億円	16.3億円	16.6億円	16.9億円
市営バス	36.7億円	...	38.6億円	42.0億円	43.4億円	54.9億円	55.8億円	56.3億円	56.7億円	57.0億円	57.2億円	57.2億円	57.4億円	57.7億円	57.9億円	58.2億円	58.6億円	59.1億円	59.8億円	60.7億円	61.0億円	62.1億円	63.2億円	64.4億円	65.5億円	66.7億円
市費負担分	-	...	-	-	-	44.9億円	45.5億円	46.0億円	46.3億円	46.5億円	46.7億円	46.8億円	46.9億円	47.1億円	47.3億円	47.5億円	47.9億円	48.3億円	48.8億円	49.6億円	49.8億円	50.7億円	51.6億円	52.6億円	53.5億円	54.5億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	10.1億円	10.2億円	10.3億円	10.4億円	10.4億円	10.5億円	10.5億円	10.5億円	10.6億円	10.6億円	10.7億円	10.7億円	10.8億円	10.9億円	11.1億円	11.2億円	11.4億円	11.6億円	11.8億円	12.0億円	12.2億円
市営地下鉄	17.9億円	...	16.0億円	13.8億円	24.7億円	55.7億円	56.5億円	57.1億円	57.4億円	57.8億円	58.0億円	58.0億円	58.2億円	58.4億円	58.7億円	59.0億円	59.4億円	59.9億円	60.6億円	61.5億円	61.8億円	62.9億円	64.0億円	65.2億円	66.4億円	67.6億円
市費負担分	-	...	-	-	-	46.8億円	47.5億円	48.0億円	48.3億円	48.5億円	48.7億円	48.8億円	48.9億円	49.1億円	49.4億円	49.6億円	49.9億円	50.4億円	50.9億円	51.7億円	51.9億円	52.9億円	53.8億円	54.8億円	55.8億円	56.8億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	8.9億円	9.0億円	9.1億円	9.2億円	9.2億円	9.2億円	9.3億円	9.3億円	9.3億円	9.4億円	9.4億円	9.5億円	9.6億円	9.7億円	9.8億円	9.9億円	10.0億円	10.2億円	10.4億円	10.6億円	10.8億円
シーサイド	3.9億円	...	4.6億円	5.2億円	5.3億円	10.7億円	10.9億円	11.0億円	11.0億円	11.1億円	11.1億円	11.2億円	11.2億円	11.3億円	11.3億円	11.4億円	11.5億円	11.6億円	11.8億円	11.9億円	12.1億円	12.3億円	12.5億円	12.8億円	13.0億円	
市費負担分	-	...	-	-	-	9.3億円	9.5億円	9.6億円	9.6億円	9.7億円	9.7億円	9.7億円	9.7億円	9.8億円	9.8億円	9.9億円	9.9億円	10.0億円	10.1億円	10.3億円	10.3億円	10.5億円	10.7億円	10.9億円	11.1億円	11.3億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.6億円	1.6億円	1.6億円	1.7億円	1.7億円	
事業費合計	103.4億円	...	114.8億円	119.6億円	133.6億円	197.4億円	200.4億円	202.5億円	203.7億円	204.8億円	205.5億円	205.8億円	206.4億円	207.3億円	208.3億円	209.2億円	210.6億円	212.5億円	214.9億円	218.2億円	219.1億円	223.2億円	227.1億円	231.4億円	235.6億円	239.8億円
市費負担	86.7億円	...	95.0億円	99.4億円	112.8億円	163.1億円	165.7億円	167.3億円	168.3億円	169.3億円	169.9億円	170.1億円	170.6億円	171.3億円	172.1億円	172.9億円	174.1億円	175.6億円	177.6億円	180.3億円	181.1億円	184.5億円	187.7億円	191.2億円	194.7億円	198.2億円
無料区分	-	...	-	-	-	39.1億円	39.7億円	40.1億円	40.4億円	40.6億円	40.7億円	40.8億円	40.9億円	41.1億円	41.3億円	41.5億円	41.8億円	42.1億円	42.6億円	43.2億円	43.4億円	44.2億円	45.0億円	45.9億円	46.7億円	47.5億円
有料区分	-	...	-	-	-	124.0億円	125.9億円	127.2億円	128.0億円	128.7億円	129.3億円	129.3億円	129.7億円	130.2億円	130.8億円	131.5億円	132.3億円	133.5億円	135.0億円	137.1億円	137.7億円	140.2億円	142.7億円	145.4億円	148.0億円	150.7億円
利用者負担	16.7億円	...	19.7億円	20.2億円	20.9億円	34.3億円	34.8億円	35.1億円	35.3億円	35.5億円	35.7億円	35.7億円	35.8億円	36.0億円	36.1億円	36.3億円	36.6億円	36.9億円	37.3億円	37.9億円	38.0億円	38.7億円	39.4億円	40.2億円	40.9億円	41.6億円
平均利用者負担	4,992円	...	4,878円	4,886円	4,894円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円

●負担割合推移

	2011			2018		2019																					
	H23	...	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	
バス事業者	129.5億円	...	172.6億円	172.7億円	177.7億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円	0.0億円
市費	68.4億円	...	78.0億円	83.7億円	87.4億円	107.1億円	108.7億円	109.8億円	110.5億円	111.0億円	111.5億円	111.6億円	111.9億円	112.4億円	112.9億円	113.4億円	114.3億円	115.3億円	116.5億円	118.3億円	118.8億円	121.0億円	123.2億円	125.5億円	127.7億円	130.1億円	
利用者	13.2億円	...	16.2億円	17.0億円	16.2億円	24.0億円	24.4億円	24.6億円	24.8億円	24.9億円	25.0億円	25.0億円	25.1億円	25.2億円	25.3億円	25.5億円	25.6億円	25.8億円	26.1億円	26.5億円	26.7億円	27.2億円	27.6億円	28.1億円	28.6億円	29.1億円	
バス事業者	61.3%	...	64.7%	63.2%	63.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
市費	32.4%	...	29.2%	30.6%	31.1%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	81.7%	
利用者	6.2%	...	6.1%	6.2%	5.8%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%		

●（参考）積算式

（民営・市営）バス：	市営地下鉄：	金沢シーサイドライン：
<p>【利用者負担分】</p> <p>①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員</p> <p>②負担金算定人員×利用者負担単価（50円※）×月乗車想定回数×12月 = A</p> <p>※無料の人は0円</p> <p>【市費負担分】</p> <p>①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員</p> <p>②負担金算定人員×市費負担単価（170円※）×月乗車想定回数×12月 = B</p> <p>※無料の人は220円</p> <p>（合計）A + B = （民営・市営）バス負担金</p>	<p>【利用者負担分】</p> <p>想定交付者数×利用者負担単価（50円※）×月乗車想定回数×12月 = A</p> <p>※無料の人は0円</p> <p>【市費負担分】</p> <p>想定交付者数×市費負担単価（200円※）×月乗車想定回数×12月 = B</p> <p>※無料の人は250円</p> <p>（合計）A + B = 市営地下鉄負担金</p>	<p>【利用者負担分】</p> <p>想定交付者数×利用者負担単価（50円※）×月乗車想定回数×12月 = A</p> <p>※無料の人は0円</p> <p>【市費負担分】</p> <p>想定交付者数×市費負担単価（250円※）×月乗車想定回数×12月 = B</p> <p>※無料の人は300円</p> <p>（合計）A + B = 金沢シーサイドライン負担金</p>

⑤\_都度支払い方式（バス1乗車あたり負担：利用者50円・市費115円・事業者55円、全交通機関月乗車想定回数12回）

●前提条件

・R3年に制度改正

・1乗車ごとの利用者単価は50円とし、市費負担額は次のとおりとする。

- バス：利用者負担額50円、市費負担額115円、バス事業者負担55円
- 市営地下鉄：利用者負担額50円、市費負担額200円
- 金沢シーサイドライン：利用者負担額50円、市費負担額250円

ただし、現行無料区分の方には月29回上限の回数券を別途交付する（想定月利用回数はバス約20回、地下鉄約8回、シーサイド約1回）。

・無料区分以外の方の平均月乗車回数は12回を想定。各交通機関の内訳は次のとおり。

- バス：8.4回
- 市営地下鉄：3.1回
- 金沢シーサイドライン：0.5回

ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）を活用し、各交通機関で次のとおり分布すると試算。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	12.94%	48.11%	94.47%
2	3.36%	35.45%	2.34%
4	5.04%	3.48%	0.81%
6	5.68%	1.85%	0.40%
8	63.30%	3.44%	0.67%
16	2.89%	3.45%	0.55%
24	2.79%	2.14%	0.38%
32	1.64%	0.99%	0.20%
40	1.20%	0.62%	0.10%
48	0.60%	0.27%	0.04%
56	0.54%	0.21%	0.04%

・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。

・乗車の都度、正規運賃から割引引かれた金額を支払う方式となるため、交付者数が増加（R3年に交付率が58.43%から70%に増加すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
（補足）交付率は他都市の状況から推計。

・事務費は除外

●事業費推移

	決算数値			制度改正																						
	2011	...	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	...	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	...	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	...	404,275人	414,179人	426,230人	521,293人	529,373人	534,696人	537,961人	540,948人	542,817人	543,473人	545,167人	547,421人	550,033人	552,586人	556,319人	561,265人	567,461人	576,206人	578,760人	589,480人	599,751人	611,028人	622,114人	633,293人
無料区分	-	...	-	-	-	45,539人	46,246人	46,710人	46,995人	47,256人	47,420人	47,477人	47,623人	47,822人	48,050人	48,271人	48,598人	49,032人	49,572人	50,335人	50,561人	51,495人	52,392人	53,378人	54,348人	55,323人
有料区分	-	...	-	-	-	475,754人	483,127人	487,986人	490,966人	493,692人	495,397人	495,996人	497,544人	499,599人	501,983人	504,315人	507,721人	512,233人	517,889人	525,871人	528,199人	537,985人	547,359人	557,650人	567,766人	577,970人
民営バス	44.9億円	...	55.6億円	58.7億円	60.2億円	57.1億円	58.0億円	58.6億円	58.9億円	59.3億円	59.5億円	59.5億円	59.7億円	60.0億円	60.2億円	60.5億円	60.9億円	61.5億円	62.2億円	63.1億円	63.4億円	64.6億円	65.7億円	66.9億円	68.1億円	69.4億円
市費負担分	-	...	-	-	-	43.2億円	43.8億円	44.3億円	44.5億円	44.8億円	44.9億円	45.0億円	45.1億円	45.3億円	45.5億円	45.8億円	46.1億円	46.5億円	47.0億円	47.7億円	47.9億円	48.8億円	49.7億円	50.6億円	51.5億円	52.4億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	13.9億円	14.2億円	14.3億円	14.4億円	14.5億円	14.5億円	14.5億円	14.6億円	14.6億円	14.7億円	14.8億円	14.9億円	15.0億円	15.2億円	15.4億円	15.5億円	15.8億円	16.0億円	16.3億円	16.6億円	16.9億円
市営バス	36.7億円	...	38.6億円	42.0億円	43.4億円	41.2億円	41.8億円	42.2億円	42.5億円	42.7億円	42.9億円	42.9億円	43.1億円	43.2億円	43.4億円	43.6億円	43.9億円	44.3億円	44.8億円	45.5億円	45.7億円	46.6億円	47.4億円	48.3億円	49.1億円	50.0億円
市費負担分	-	...	-	-	-	31.1億円	31.6億円	31.9億円	32.1億円	32.3億円	32.4億円	32.4億円	32.6億円	32.7億円	32.8億円	33.0億円	33.2億円	33.5億円	33.9億円	34.4億円	34.6億円	35.2億円	35.8億円	36.5億円	37.1億円	37.8億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	10.1億円	10.2億円	10.3億円	10.4億円	10.4億円	10.5億円	10.5億円	10.5億円	10.6億円	10.6億円	10.7億円	10.7億円	10.8億円	10.9億円	11.1億円	11.2億円	11.4億円	11.6億円	11.8億円	12.0億円	12.2億円
市営地下鉄	17.9億円	...	16.0億円	13.8億円	24.7億円	55.7億円	56.5億円	57.1億円	57.4億円	57.8億円	58.0億円	58.0億円	58.2億円	58.4億円	58.7億円	59.0億円	59.4億円	59.9億円	60.6億円	61.5億円	61.8億円	62.9億円	64.0億円	65.2億円	66.4億円	67.6億円
市費負担分	-	...	-	-	-	46.8億円	47.5億円	48.0億円	48.3億円	48.5億円	48.7億円	48.8億円	48.9億円	49.1億円	49.4億円	49.6億円	49.9億円	50.4億円	50.9億円	51.7億円	51.9億円	52.9億円	53.8億円	54.8億円	55.8億円	56.8億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	8.9億円	9.0億円	9.1億円	9.2億円	9.2億円	9.2億円	9.3億円	9.3億円	9.3億円	9.4億円	9.4億円	9.5億円	9.6億円	9.7億円	9.8億円	9.9億円	10.0億円	10.2億円	10.4億円	10.6億円	10.8億円
シーサイド	3.9億円	...	4.6億円	5.2億円	5.3億円	10.7億円	10.9億円	11.0億円	11.0億円	11.1億円	11.1億円	11.2億円	11.2億円	11.3億円	11.3億円	11.4億円	11.5億円	11.6億円	11.8億円	11.9億円	12.1億円	12.3億円	12.5億円	12.8億円	13.0億円	
市費負担分	-	...	-	-	-	9.3億円	9.5億円	9.6億円	9.6億円	9.7億円	9.7億円	9.7億円	9.7億円	9.8億円	9.8億円	9.9億円	9.9億円	10.0億円	10.1億円	10.3億円	10.3億円	10.5億円	10.7億円	10.9億円	11.1億円	11.3億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.6億円	1.6億円	1.6億円	1.6億円	1.7億円	1.7億円	
事業費合計	103.4億円	...	114.8億円	119.6億円	133.6億円	164.6億円	167.2億円	168.9億円	169.9億円	170.8億円	171.4億円	171.6億円	172.2億円	172.9億円	173.7億円	174.5億円	175.7億円	177.3億円	179.2億円	182.0億円	182.8億円	186.2億円	189.4億円	193.0億円	196.5億円	200.0億円
市費負担	86.7億円	...	95.0億円	99.4億円	112.8億円	130.4億円	132.4億円	133.7億円	134.5億円	135.3億円	135.8億円	135.9億円	136.3億円	136.9億円	137.6億円	138.2億円	139.1億円	140.4億円	141.9億円	144.1億円	144.7億円	147.4億円	150.0億円	152.8億円	155.6億円	158.4億円
無料区分	-	...	-	-	-	32.8億円	33.3億円	33.6億円	33.8億円	34.0億円	34.1億円	34.1億円	34.3億円	34.4億円	34.6億円	34.7億円	35.0億円	35.3億円	35.7億円	36.2億円	36.4億円	37.0億円	37.7億円	38.4億円	39.1億円	39.8億円
有料区分	-	...	-	-	-	97.6億円	99.1億円	100.1億円	100.7億円	101.3億円	101.6億円	101.8億円	102.1億円	102.5億円	103.0億円	103.5億円	104.2億円	105.1億円	106.3億円	107.9億円	108.4億円	110.4億円	112.3億円	114.4億円	116.5億円	118.6億円
利用者負担	16.7億円	...	19.7億円	20.2億円	20.9億円	34.3億円	34.8億円	35.1億円	35.3億円	35.5億円	35.7億円	35.7億円	35.8億円	36.0億円	36.1億円	36.3億円	36.6億円	36.9億円	37.3億円	37.9億円	38.0億円	38.7億円	39.4億円	40.2億円	40.9億円	41.6億円
平均利用者負担	4,992円	...	4,878円	4,886円	4,894円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円

●負担割合推移

	2011			2018		2019																				
	H23	...	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
バス事業者	129.5億円	...	172.6億円	172.7億円	177.7億円	32.8億円	33.3億円	33.6億円	33.8億円	34.0億円	34.1億円	34.2億円	34.3億円	34.4億円	34.6億円	34.7億円	35.0億円	35.3億円	35.7億円	36.2億円	36.4億円	37.0億円	37.7億円	38.4億円	39.1億円	39.8億円
市費	68.4億円	...	78.0億円	83.7億円	87.4億円	74.3億円	75.4億円	76.2億円	76.6億円	77.1億円	77.3億円	77.4億円	77.7億円	78.0億円	78.3億円	78.8億円	79.3億円	80.0億円	80.9億円	82.1億円	82.5億円	84.0億円	85.5億円	87.1億円	88.6億円	90.2億円
利用者	13.2億円	...	16.2億円	17.0億円	16.2億円	24.0億円	24.4億円	24.6億円	24.8億円	24.9億円	25.0億円	25.0億円	25.1億円	25.2億円	25.3億円	25.5億円	25.6億円	25.8億円	26.1億円	26.5億円	26.7億円	27.2億円	27.6億円	28.1億円	28.6億円	29.1億円
バス事業者	61.3%	...	64.7%	63.2%	63.2%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	
市費	32.4%	...	29.2%	30.6%	31.1%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	
利用者	6.2%	...	6.1%	6.2%	5.8%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	

●(参考) 積算式

(民営・市営)バス	市営地下鉄	金沢シーサイドライン
<p>【利用者負担分】</p> <p>①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員</p> <p>②負担金算定人員×利用者負担単価(50円※)×月乗車想定回数×12月 = A</p> <p>※無料の人は0円</p> <p>【市費負担分】</p> <p>①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員</p> <p>②負担金算定人員×市費負担単価(115円※)×月乗車想定回数×12月 = B</p> <p>※無料の人は165円</p> <p>(合計) A + B = (民営・市営)バス負担金</p>	<p>【利用者負担分】</p> <p>想定交付者数×利用者負担単価(50円※)×月乗車想定回数×12月 = A</p> <p>※無料の人は0円</p> <p>【市費負担分】</p> <p>想定交付者数×市費負担単価(200円※)×月乗車想定回数×12月 = B</p> <p>※無料の人は250円</p> <p>(合計) A + B = 市営地下鉄負担金</p>	<p>【利用者負担分】</p> <p>想定交付者数×利用者負担単価(50円※)×月乗車想定回数×12月 = A</p> <p>※無料の人は0円</p> <p>【市費負担分】</p> <p>想定交付者数×市費負担単価(250円※)×月乗車想定回数×12月 = B</p> <p>※無料の人は300円</p> <p>(合計) A + B = 金沢シーサイドライン負担金</p>

⑥ 都度支払い方式（バス1乗車あたり負担：利用者50円・市費85円・事業者85円、全交通機関月乗車想定回数12回）

●前提条件

・R3年に制度改正

・1乗車ごとの利用者単価は50円とし、市費負担額は次のとおりとする。

- バス：利用者負担額50円、市費負担額85円、バス事業者負担85円
- 市営地下鉄：利用者負担額50円、市費負担額200円
- 金沢シーサイドライン：利用者負担額50円、市費負担額250円

ただし、現行無料区分の方には月29回上限の回数券を別途交付する（想定月利用回数はバス約20回、地下鉄約8回、シーサイド約1回）。

・無料区分以外の方の平均月乗車回数は12回を想定。各交通機関の内訳は次のとおり。

- バス：8.4回
- 市営地下鉄：3.1回
- 金沢シーサイドライン：0.5回

ただし、R1利用者アンケート（速報値：5万件分）を活用し、各交通機関で次のとおり分布すると試算。

回/月	バス	地下鉄	シーサイド
0	12.94%	48.11%	94.47%
2	3.36%	35.45%	2.34%
4	5.04%	3.48%	0.81%
6	5.68%	1.85%	0.40%
8	63.30%	3.44%	0.67%
16	2.89%	3.45%	0.55%
24	2.79%	2.14%	0.38%
32	1.64%	0.99%	0.20%
40	1.20%	0.62%	0.10%
48	0.60%	0.27%	0.04%
56	0.54%	0.21%	0.04%

・実際のバス月乗車回数はR2年以前25回、R3年以降は上記の分布のとおり仮定する。

・乗車の都度、正規運賃から割引引かれた金額を支払う方式となるため、交付者数が増加（R3年に交付率が58.43%から70%に増加すると仮定し、以降同じ交付率を使用）  
 （補足）交付率は他都市の状況から推計。

・事務費は除外

●事業費推移

	決算数値			制度改正																						
	2011	...	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	...	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
対象者数	564,756人	...	717,503人	708,846人	729,470人	744,704人	756,246人	763,851人	768,515人	772,782人	775,452人	776,389人	778,810人	782,029人	785,761人	789,408人	794,741人	801,806人	810,658人	823,151人	826,799人	842,114人	856,787人	872,897人	888,733人	904,704人
交付者数	335,127人	...	404,275人	414,179人	426,230人	521,293人	529,373人	534,696人	537,961人	540,948人	542,817人	543,473人	545,167人	547,421人	550,033人	552,586人	556,319人	561,265人	567,461人	576,206人	578,760人	589,480人	599,751人	611,028人	622,114人	633,293人
無料区分	-	...	-	-	-	45,539人	46,246人	46,710人	46,995人	47,256人	47,420人	47,477人	47,623人	47,822人	48,050人	48,271人	48,598人	49,032人	49,572人	50,335人	50,561人	51,495人	52,392人	53,378人	54,348人	55,323人
有料区分	-	...	-	-	-	475,754人	483,127人	487,986人	490,966人	493,692人	495,397人	495,996人	497,544人	499,599人	501,983人	504,315人	507,721人	512,233人	517,889人	525,871人	528,199人	537,985人	547,359人	557,650人	567,766人	577,970人
民営バス	44.9億円	...	55.6億円	58.7億円	60.2億円	46.7億円	47.4億円	47.9億円	48.2億円	48.5億円	48.6億円	48.7億円	48.9億円	49.1億円	49.3億円	49.5億円	49.9億円	50.3億円	50.9億円	51.6億円	51.9億円	52.8億円	53.7億円	54.8億円	55.8億円	56.8億円
市費負担分	-	...	-	-	-	32.8億円	33.3億円	33.6億円	33.8億円	34.0億円	34.1億円	34.2億円	34.3億円	34.4億円	34.6億円	34.7億円	35.0億円	35.3億円	35.7億円	36.2億円	36.4億円	37.1億円	37.7億円	38.4億円	39.1億円	39.8億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	13.9億円	14.2億円	14.3億円	14.4億円	14.5億円	14.5億円	14.5億円	14.6億円	14.6億円	14.7億円	14.8億円	14.9億円	15.0億円	15.2億円	15.4億円	15.5億円	15.8億円	16.0億円	16.3億円	16.6億円	16.9億円
市営バス	36.7億円	...	38.6億円	42.0億円	43.4億円	33.7億円	34.2億円	34.6億円	34.8億円	35.0億円	35.1億円	35.1億円	35.2億円	35.4億円	35.5億円	35.7億円	36.0億円	36.3億円	36.7億円	37.2億円	37.4億円	38.1億円	38.8億円	39.5億円	40.2億円	40.9億円
市費負担分	-	...	-	-	-	23.6億円	24.0億円	24.2億円	24.4億円	24.5億円	24.6億円	24.6億円	24.7億円	24.8億円	24.9億円	25.1億円	25.2億円	25.5億円	25.7億円	26.1億円	26.2億円	26.7億円	27.2億円	27.7億円	28.2億円	28.7億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	10.1億円	10.2億円	10.3億円	10.4億円	10.4億円	10.5億円	10.5億円	10.5億円	10.6億円	10.6億円	10.7億円	10.7億円	10.8億円	10.9億円	11.1億円	11.2億円	11.4億円	11.6億円	11.8億円	12.0億円	12.2億円
市営地下鉄	17.9億円	...	16.0億円	13.8億円	24.7億円	55.7億円	56.5億円	57.1億円	57.4億円	57.8億円	58.0億円	58.0億円	58.2億円	58.4億円	58.7億円	59.0億円	59.4億円	59.9億円	60.6億円	61.5億円	61.8億円	62.9億円	64.0億円	65.2億円	66.4億円	67.6億円
市費負担分	-	...	-	-	-	46.8億円	47.5億円	48.0億円	48.3億円	48.5億円	48.7億円	48.8億円	48.9億円	49.1億円	49.4億円	49.6億円	49.9億円	50.4億円	50.9億円	51.7億円	51.9億円	52.9億円	53.8億円	54.8億円	55.8億円	56.8億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	8.9億円	9.0億円	9.1億円	9.2億円	9.2億円	9.2億円	9.3億円	9.3億円	9.3億円	9.4億円	9.4億円	9.5億円	9.6億円	9.7億円	9.8億円	9.9億円	10.0億円	10.2億円	10.4億円	10.6億円	10.8億円
シーサイド	3.9億円	...	4.6億円	5.2億円	5.3億円	10.7億円	10.9億円	11.0億円	11.0億円	11.1億円	11.1億円	11.2億円	11.2億円	11.3億円	11.3億円	11.4億円	11.5億円	11.6億円	11.8億円	11.9億円	12.1億円	12.3億円	12.5億円	12.8億円	13.0億円	
市費負担分	-	...	-	-	-	9.3億円	9.5億円	9.6億円	9.6億円	9.7億円	9.7億円	9.7億円	9.7億円	9.8億円	9.8億円	9.9億円	9.9億円	10.0億円	10.1億円	10.3億円	10.3億円	10.5億円	10.7億円	10.9億円	11.1億円	11.3億円
利用者負担分	-	...	-	-	-	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.4億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	1.6億円	1.6億円	1.6億円	1.6億円	1.7億円	1.7億円	
事業費合計	103.4億円	...	114.8億円	119.6億円	133.6億円	146.8億円	149.0億円	150.5億円	151.5億円	152.3億円	152.8億円	153.0億円	153.5億円	154.1億円	154.8億円	155.6億円	156.6億円	158.0億円	159.8億円	162.2億円	162.9億円	166.0億円	168.8億円	172.0億円	175.1億円	178.3億円
市費負担	86.7億円	...	95.0億円	99.4億円	112.8億円	112.5億円	114.3億円	115.4億円	116.1億円	116.7億円	117.2億円	117.3億円	117.7億円	118.1億円	118.7億円	119.3億円	120.1億円	121.1億円	122.5億円	124.4億円	124.9億円	127.2億円	129.4億円	131.9億円	134.3億円	136.7億円
無料区分	-	...	-	-	-	29.3億円	29.7億円	30.0億円	30.2億円	30.4億円	30.5億円	30.5億円	30.6億円	30.7億円	30.9億円	31.0億円	31.2億円	31.5億円	31.9億円	32.4億円	32.5億円	33.1億円	33.7億円	34.3億円	34.9億円	35.6億円
有料区分	-	...	-	-	-	83.2億円	84.5億円	85.4億円	85.9億円	86.4億円	86.7億円	86.8億円	87.0億円	87.4億円	87.8億円	88.2億円	88.8億円	89.6億円	92.0億円	92.4億円	94.1億円	95.7億円	97.6億円	99.3億円	101.1億円	
利用者負担	16.7億円	...	19.7億円	20.2億円	20.9億円	34.3億円	34.8億円	35.1億円	35.3億円	35.5億円	35.7億円	35.7億円	35.8億円	36.0億円	36.1億円	36.3億円	36.6億円	36.9億円	37.3億円	37.9億円	38.0億円	38.7億円	39.4億円	40.2億円	40.9億円	41.6億円
平均利用者負担	4,992円	...	4,878円	4,886円	4,894円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円	6,571円

●負担割合推移

	2011	...	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
	H23	...	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
バス事業者	129.5億円	...	172.6億円	172.7億円	177.7億円	50.6億円	51.4億円	51.9億円	52.2億円	52.5億円	52.7億円	52.8億円	52.9億円	53.2億円	53.4億円	53.7億円	54.0億円	54.5億円	55.1億円	56.0億円	56.2億円	57.2億円	58.2億円	59.3億円	60.4億円	61.5億円
市費	68.4億円	...	78.0億円	83.7億円	87.4億円	56.4億円	57.3億円	57.8億円	58.2億円	58.5億円	58.7億円	58.8億円	59.0億円	59.2億円	59.5億円	59.8億円	60.2億円	60.8億円	61.4億円	62.3億円	62.6億円	63.8億円	64.9億円	66.1億円	67.3億円	68.5億円
利用者	13.2億円	...	16.2億円	17.0億円	16.2億円	24.0億円	24.4億円	24.6億円	24.8億円	24.9億円	25.0億円	25.0億円	25.1億円	25.2億円	25.3億円	25.5億円	25.6億円	25.8億円	26.1億円	26.5億円	26.7億円	27.2億円	27.6億円	28.1億円	28.6億円	29.1億円
バス事業者	61.3%	...	64.7%	63.2%	63.2%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%	38.6%
市費	32.4%	...	29.2%	30.6%	31.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%	43.1%
利用者	6.2%	...	6.1%	6.2%	5.8%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%	18.3%

●(参考) 積算式

(民営・市営)バス：	市営地下鉄：	金沢シーサイドライン：
R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照） <b>【利用者負担分】</b> ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員 ②負担金算定人員×利用者負担単価（50円※）×月乗車想定回数×12月 = A ※無料の人は0円 <b>【市費負担分】</b> ①想定交付者数×公民シェア率 = 負担金算定人員 ②負担金算定人員×市費負担単価（85円※）×月乗車想定回数×12月 = B ※無料の人は135円 (合計) A + B = (民営・市営)バス負担金	R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照） <b>【利用者負担分】</b> 想定交付者数×利用者負担単価（50円※）×月乗車想定回数×12月 = A ※無料の人は0円 <b>【市費負担分】</b> 想定交付者数×市費負担単価（200円※）×月乗車想定回数×12月 = B ※無料の人は250円 (合計) A + B = 市営地下鉄負担金	R3年からの積算式（R2年以前の積算式はフリーバス方式を参照） <b>【利用者負担分】</b> 想定交付者数×利用者負担単価（50円※）×月乗車想定回数×12月 = A ※無料の人は0円 <b>【市費負担分】</b> 想定交付者数×市費負担単価（250円※）×月乗車想定回数×12月 = B ※無料の人は300円 (合計) A + B = 金沢シーサイドライン負担金